

令和7年度  
本校 高等部  
年間指導計画



令和7年度 高等部 時間割表

高等部1年 I 課程					
	月	火	水	木	金
1	体育	保健	体育	数学	音楽
2	美術	英語	理科	国語	総探
3	公共	情報	数学	体育	LHR
4	理科	情報	国語	英語	自活
5	数学	家庭	自活	音楽	公共
6	自活	家庭	総探	自活	美術

高等部3年 I 課程					
	月	火	水	木	金
1	体育	保健	体育	地理	音楽
2	美術	英語	理科	国語	総探
3	数学	情報	数学	体育	LHR
4	理科	情報	国語	英語	自活
5	地理	家庭	自活	音楽	数学
6	自活	家庭	総探	自活	美術

高等部1・2年 II 課程A					
	月	火	水	木	金
1	体育	国語	職業	英語	音楽
2	社会	情報	社会	数学	総探
3	美術	保健	音楽	体育	LHR
4	数学	英語	理科	理科	自活
5	家庭	職業	道德	国語	美術
6	自活	自活	総探	自活	自活

令和7年度 高等部1年（I課程） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年I課程		『新編 現代の国語』（第一学習社）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(学・人)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	9	(知及技) 常用漢字を文や文章の中で活用することができる。 (思判表力)筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 (学・人)ナマケモノの他の種類について積極的に調べ、「ミツユビ・ナマケモノ」と対比してまとめようすることができる。	(知・技) 常用漢字を文や文章の中で活用している。 (思・判・表)筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを書いている。 (主学)ナマケモノの他の種類について積極的に調べ、「ミツユビ・ナマケモノ」と対比してまとめようとしている。	辻信一「ナマケモノになる」	・常用漢字の学習 ・内容や構成、論理の展開を捉え、要旨を把握する。 ・対比、比喩表現の学習
	10	(知及技) 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 (思判表力)文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈することができる。 (学・人)積極的にオノマトペを使った短文を作り、筆者の主張を検証して報告しようとする態度をもつ。	(知・技) 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 (思・判・表)文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈している。 (主学)積極的にオノマトペを使った短文を作り、筆者の主張を検証して報告しようとしている。	清水由美「言葉の海のオノマトペ」	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・筆者の主張の検証
	9	(知及技) 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力)他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とすることができる。 (学・人)本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の体験や考えを書こうとすることができる。	(知・技) 語句の量を増やし、語彙を文に書いている。 (思・判・表)他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機としている。 (主学)本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の体験や考えを書こうとしている。	文月悠光「臆病な詩人、街へ出る」	・語句、語彙の学習 ・人生や生き方について述べた文章を読む ・本文を読み、自分の体験や考えを書く
	6	(思判表力)与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用することができる。 (学・人)異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする態度をもつ。	(思・判・表)与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用することができる。 (主学)異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。	図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	・資料と会話文を関連付けながら情報を読み取る
	10	(思判表力)情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 (学・人)今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとする態度をもつ。	(思・判・表)情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践している。 (主学)今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。	理想の修学旅行をプレゼンする	・プレゼンテーションの準備 ・アイデア、情報を集める ・プレゼンテーションの練習

2 学期	6	(思判表力)自分の経験の中から意見を導き出すことができる。 (学・人)目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとする態度をもつ。	(思・判・表)自分の経験の中から意見を導き出している。 (主学)目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	社会に対する意見文を書く	・意見文の書き方 ・自分の経験 ・意見文発表
	10	(知及技)主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 (思判表力)筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。 (学・人)本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとする態度をもつ。	(知・技)主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 (思・判・表)筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。 (主学)本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	岡田美智男「『弱いロボット』の誕生」	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・論述の仕方
3 学期	5	(知及技)常用漢字を文や文章の中で活用することができる。 (思判表力)イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察することができる。 (学・人)本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとする態度をもつ。	(知・技)常用漢字を文や文章の中で活用している。 (思・判・表)イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察している。 (主学)本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	鷲谷いづみ「イースター島になぜ森がないのか」	・常用漢字の学習 ・イースター島の歴史 ・人類と生態系のあり方
	5	(知及技)主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 (思判表力)文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。 (学・人)情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする態度をもつ。	(知・技)主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 (思・判・表)文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解している。 (主学)情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	論理分析【対比】「間」の感覚	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・対比構造を用いた論理の展開
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部3年（I課程） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3年		『新編 現代の国語』（第一学習社）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(学・人)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	9	(知及技) 常用漢字を文や文章の中で活用することができる。 (思判表力)筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 (学・人)ナマケモノの他の種類について積極的に調べ、「ミツユビ・ナマケモノ」と対比してまとめようすることができる。	(知・技) 常用漢字を文や文章の中で活用している。 (思・判・表)筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを書いている。 (主学)ナマケモノの他の種類について積極的に調べ、「ミツユビ・ナマケモノ」と対比してまとめようとしている。	辻信一「ナマケモノになる」	・常用漢字の学習 ・内容や構成、論理の展開を捉え、要旨を把握する。 ・対比、比喩表現の学習
	10	(知及技) 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 (思判表力)文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈することができる。 (学・人)積極的にオノマトペを使った短文を作り、筆者の主張を検証して報告しようとする態度をもつ。	(知・技) 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 (思・判・表)文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈している。 (主学)積極的にオノマトペを使った短文を作り、筆者の主張を検証して報告しようとしている。	清水由美「言葉の海のオノマトペ」	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・筆者の主張の検証
	9	(知及技) 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力)他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とすることができる。 (学・人)本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の体験や考えを書こうとすることができる。	(知・技) 語句の量を増やし、語彙を文に書いている。 (思・判・表)他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機としている。 (主学)本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の体験や考えを書こうとしている。	文月悠光「臆病な詩人、街へ出る」	・語句、語彙の学習 ・人生や生き方について述べた文章を読む ・本文を読み、自分の体験や考えを書く
	6	(思判表力)与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用することができる。 (学・人)異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする態度をもつ。	(思・判・表)与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用することができる。 (主学)異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。	図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	・資料と会話文を関連付けながら情報を読み取る
	10	(思判表力)情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 (学・人)今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとする態度をもつ。	(思・判・表)情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践している。 (主学)今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。	理想の修学旅行をプレゼンする	・プレゼンテーションの準備 ・アイデア、情報を集める ・プレゼンテーションの練習

2 学期	6	(思判表力)自分の経験の中から意見を導き出すことができる。 (学・人)目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとする態度をもつ。	(思・判・表)自分の経験の中から意見を導き出している。 (主学)目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	社会に対する意見文を書く	・意見文の書き方 ・自分の経験 ・意見文発表
	10	(知及技)主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 (思判表力)筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。 (学・人)本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとする態度をもつ。	(知・技)主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 (思・判・表)筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。 (主学)本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	岡田美智男「『弱いロボット』の誕生」	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・論述の仕方
3 学期	5	(知及技)常用漢字を文や文章の中で活用することができる。 (思判表力)イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察することができる。 (学・人)本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとする態度をもつ。	(知・技)常用漢字を文や文章の中で活用している。 (思・判・表)イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察している。 (主学)本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	鷲谷いづみ「イースター島になぜ森がないのか」	・常用漢字の学習 ・イースター島の歴史 ・人類と生態系のあり方
	5	(知及技)主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 (思判表力)文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。 (学・人)情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする態度をもつ。	(知・技)主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 (思・判・表)文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解している。 (主学)情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	論理分析【対比】「間」の感覚	・主張と論拠 ・個別と一般化 ・対比構造を用いた論理の展開
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 高等部 1 年 (I 課程) 公民科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1 学年		『新公共』 (第一学習社) /新公共ノート (第一学習社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技)                  選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力)                  現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(学・人)                  よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	<p>(知及技)                      公共的な空間における基本的原理について理解することができる。</p> <p>(思判表力)                      個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>(学・人)                      現代の諸課題を主体的に解決することができる。</p>	<p>(知・技)                      公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>(思・判・表)                      個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主学)                      現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	第 1 編 ・公共的な空間における基本的原理	①人間の尊厳と平等, 個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③日本国憲法に生きる基本的原理
		<p>(知及技)                      法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力)                      幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>(学・人)                      法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決することができる。</p>	<p>(知・技)                      法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>(思・判・表)                      幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主学)                      法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	第 2 編 第 1 章法的な主体となる私たち ・法の規範の意義と役割	①自由に生きる権利 ②平等に生きる権利 ③安全で豊かに生きる権利 ④法をよりよいものにするための権利
		<p>(知及技)                      ・司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力)                      現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。</p> <p>(学・人)                      ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする事ができる。</p>	<p>(知・技)                      ・司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を理解することができる。</p> <p>(思・判・表)                      現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>(主学)                      ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする事ができている。</p>	・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任  ①裁判所と司法 ②国民の司法参加
		<p>(知及技)                      政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力)                      これまで学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(学・人)                      政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決することができる。</p>	<p>(知・技)                      政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>(思・判・表)                      これまで学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主学)                      政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	第 2 章政治的な主体となる私たち ・政治参加と公正な世論形成	①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉

2 学期	27	<p>(知及技) 日本の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力) 日本国憲法の平和主義をふまえ、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>(学・人) 日本の安全保障と防衛について、現代の諸課題を主体的に解決することができる。</p>	<p>(知・技) 日本の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>(思・判・表) 日本国憲法の平和主義をふまえ、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主学) 日本の安全保障と防衛について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・国際社会と国家主権</p> <p>・日本の安全保障と防衛</p>	<p>①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題</p> <p>①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和</p>
		<p>(知及技) 国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力) これまで学んだ知識もふまえ、経済分野の国際機関の取り組みなどとも関連づけながら考え、表現することができる。</p> <p>(学・人) 国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決することができる。</p>	<p>(知・技) 国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>(思・判・表) これまで学んだ知識もふまえ、経済分野の国際機関の取り組みなどとも関連づけながら考え、表現している。</p> <p>(主学) 国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・国際社会の変化と日本の役割</p>	<p>①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割</p>
3 学期	18	<p>(知及技) 社会の変化と職業観に関わる現実社会の事柄や課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力) 諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。</p> <p>(学・人) 現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えることができる。</p>	<p>(知・技) 社会の変化と職業観に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>(思・判・表) 諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>(主学) 現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</p>	<p>第3章 ・雇用と労働問題</p> <p>・社会の変化と職業観</p> <p>・市場経済の機能と限界</p>	<p>①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題</p> <p>①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業</p> <p>①市場のしくみ ②経済発展と環境保全 ③経済成長と国民の福祉</p>
		<p>(知及技) 経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力) これまで学んだ知識もふまえ、政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連づけながら考え、表現することができる。</p> <p>(学・人) 現代の諸課題を主体的に解決することができる。</p>	<p>(知・技) 経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>(思・判・表) これまで学んだ知識もふまえ、政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連づけながら考え、表現している。</p> <p>(主学) 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・金融のはたらき</p> <p>・財政の役割と社会保障</p> <p>・経済のグローバル化</p>	<p>①金融の意義と役割 ②金融のいま</p> <p>①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障</p> <p>①国際社会における貧困や格差 ②地球環境問題 ③資源・エネルギー問題 ④国際社会のこれから</p>
留意点 引継ぎ等	<p>・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、単元テスト、ノート提出 ・生徒の興味関心を高められるように、資料や関連動画などを活用する。 * iPadなどを活用し、時事ニュース等を随時取り上げる。</p>				

令和 7 年度 高等部 3 年 (I 課程) 地理歴史科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
2/70	3 学年		『地理総合』 (第一学習社) / 地理総合ノート (第一学習社)

目標 : (知及技) 知識及び技能 (思判表力) 思考力、判断力、表現力等 (学・人) 学びに向かう力・人間性等  
 評価 : (知・技) 知識・技能 (思・判・表) 思考・判断・表現 (主学) 主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を高める。</p> <p>(思判表力) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して概念などを活用して考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を高める。</p> <p>(学・人) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとしている。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	<p>(知及技) 身の回りの地図の活用事例について調べることができる。</p> <p>(思判表力) 地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を考えることができる。</p> <p>(学・人) 時差の計算のワークに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。</p>	<p>(知・技) 身の回りの地図の活用事例について調べることができる。</p> <p>(思・判・表) 地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を考えることができる。</p> <p>(主学) 時差の計算のワークに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。</p>	第 1 編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1 章 地図や地理情報システムと現代世界 1 節 球面上の世界と地図	①世界の時差 ②世界地図の見方・使い方 ③地図から読み取る情報 ④デジタル化された地図 ⑤地理情報システムの活用
		<p>(知及技) 現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解することができる。</p> <p>(思判表力) 交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。</p> <p>(学・人) インターネットショッピングを事例に情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかかわってくることを実体験とともに考えることができる。</p>	<p>(知・技) 現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解している。</p> <p>(思・判・表) 交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。</p> <p>(主学) インターネットショッピングを事例に情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかかわってくることを実体験とともに考えている。</p>	2 節 国家の結びつきとグローバル化する社会	①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき
		<p>(知及技) 人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶことができる。</p> <p>(思判表力) 世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえることができる。</p> <p>(学・人) 世界の気候帯ごとにどのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習することができる。</p>	<p>(知・技) 人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶことができる。</p> <p>(思・判・表) 世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえることができる。</p> <p>(主学) 世界の気候帯ごとにどのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習することができる。</p>	第 2 編 国際理解と国際協力 1 章 生活・文化の多様性と国際理解	①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候

2 学 期	26	<p>(知及技) その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶことができる。</p> <p>(思判表力) 祭りやスポーツ、音楽などの伝統と現代社会の影響を受け、変化が見られる事例を学び、現代世界の諸事象を読み解く視点を身につけることができる。</p> <p>(学・人) 他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶことができる。</p>	<p>(知・技) その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶことができる。</p> <p>(思・判・表) 祭りやスポーツ、音楽などの伝統と現代社会の影響を受け、変化が見られる事例を学び、現代世界の諸事象を読み解く視点を身につけている。</p> <p>(主学) 他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶことができる。</p>	<p>第2編 国際理解と国際協力 1章 生活・文化の多様性と国際理解</p>	<p>③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生</p>
		<p>(知及技) 地球的課題に着目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 地球的課題の解決の困難さや地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解することができる。</p> <p>(学・人) SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。</p>	<p>(知・技) 地球的課題に着目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解している。</p> <p>(思・判・表) 地球的課題の解決の困難さや地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解している。</p> <p>(主学) SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。</p>	<p>第2編 国際理解と国際協力 2章 地球的課題と国際協力 1節 持続可能な社会を目指して 2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて</p>	<p>①持続可能な開発目標（SDGs） ②地球的課題の地理的な側面 ①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題</p>
		<p>(知及技) 持続可能なライフスタイルの実現には、さまざまな認証制度を活用した消費者としての行動が重要であることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 資源・エネルギー問題について、資源の限界性と偏在性を理解し、原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化と新エネルギー開発の必要性について考察することができる。</p> <p>(学・人) 身の回りの都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向け学習した内容を振り返ることができる。</p>	<p>(知・技) 持続可能なライフスタイルの実現には、さまざまな認証制度を活用した消費者としての行動が重要であることを理解することができる。</p> <p>(思・判・表) 資源・エネルギー問題について、資源の限界性と偏在性を理解し、原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化と新エネルギー開発の必要性について考察することができる。</p> <p>(主学) 身の回りの都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向け学習した内容を振り返ることができる。</p>	<p>3節 自然と調和した豊かな社会に向けて</p>	<p>①技術革新と持続可能な産業化 ②限りある資源 ③エネルギー問題 ④都市・居住問題</p>
3 学 期	20	<p>(知及技) 地球環境問題は、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 長い歴史をとおして育まれた民族性について理解した上で、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案することができる。</p> <p>(学・人) 国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、国際協力についてグローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につけることができる。</p>	<p>(知・技) 地球環境問題は、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解することができる。</p> <p>(思・判・表) 長い歴史をとおして育まれた民族性について理解した上で、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案することができる。</p> <p>(主学) 国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、国際協力についてグローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につけている。</p>	<p>4節 現役世代と将来世代のための地球 5節 平和で公正な社会に向けて</p>	<p>①地球温暖化問題 ②陸地の環境問題 ③海洋の環境問題 ①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ</p>
		<p>(知及技) 変動帯で見られる地震や火山の特徴を体系的に学び、その備えについて具体例を通して理解することができる。</p> <p>(思判表力) 写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害が多発する日本列島に、豊かな文化が築かれた背景を考察することができる。</p> <p>(学・人) 自らが住む地域のハザードマップを基に、最も起こりやすいと想定されている災害は何か、また避難時に障害となるところはどこか、など地域とそこに住む住民とともに減災に向けて意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 変動帯で見られる地震や火山の特徴を体系的に学び、その備えについて具体例を通して理解することができる。</p> <p>(思・判・表) 写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害が多発する日本列島に、豊かな文化が築かれた背景を考察することができる。</p> <p>(主学) 自らが住む地域のハザードマップを基に、最も起こりやすいと想定されている災害は何か、また避難時に障害となるところはどこか、など地域とそこに住む住民とともに減災に向けて意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災</p>	<p>①地球規模で見る地形の姿と自然災害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③変動帯の自然と防災 ④湿潤地域の自然と防災 ⑤私たちができる災害への備え</p>
留意点 引継ぎ等	<p>・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、単元テスト、ノート提出 ・生徒の興味関心を高められるように、資料や関連動画などを活用する。 * iPadなどを活用し、時事ニュース等を随時取り上げる。</p>				

令和 7 年度 高等学部 1年 (I課程) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	高等部1年		高校数学 I (実教出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 数量や図形についての基礎的・基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。</p> <p>(思判表力) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し考察する力、数学の用語、記号を用いて思考を深め、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。</p> <p>(学・人) 身近な生活の中にある数学の事象に触れ、数学への興味・関心を高め、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度や創造性を身に付ける。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知・技)落ち着いて、丁寧に計算する。 (思・判・表)多面的な見方、考え方ができるようにする。 (主学)まわりの意見を取り入れて、さらに自分の解答に自信をもつ。	(知・技)指数法則や分配法則を用いて、多項式の計算や因数分解ができる。 (思・判・表)文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようになることを見通せる。 (主学)今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。	第1章 数と式 第1節 整式 加法, 減法, 乗法 因数分解 第2節 実数 平方根とその計算 実数 第3節 方程式と不等式 1次不等式 連立不等式	日常で使われる場面を説明し、有用性を示してから、教科書の内容を進める。  例や例題はノートに書かさず、説明を聞くことに集中させる。  既習事項を確認し、各自で問題を解く。  生徒は黒板で解答し、他の生徒に説明する。  生徒が見つけた別解などは、タブレットで画面に映して、みんなに紹介する。
		(知・技)四則演算の定着 (思・判・表)図やグラフなどを正しく読み取る。 (主学)課題学習などに積極的に取り組む。	(知・技)平方完成を利用して、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 (思・判・表)日常における最大・最小の問題の解決に、2次関数を活用することができる。 (主学)日常の事象の中に関数を見つけようとする。	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ 1次関数のグラフ 2次関数のグラフ 第2節 関数の値の変化 最大値, 最小値	1次関数の復習を行い、2次関数を導入する。  グラフの平行移動などは、ICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。  生徒はグラフの概形をノートに書きながら問題を解く。
2 学期	42	(知・技)三角比の基本性質を用いて計算する。 (思・判・表)問題文から図を描き、値を求める。 (主学)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 (思・判・表)測量の問題に三角比を活用することができる。 (主学)直接測ることのできない距離を求めることに興味をもつ。	第3章 三角比 第1節 三角比 三角比の利用 相互関係 第2節 三角比の応用 三角形の面積 正弦定理 余弦定理	図形が多いので、生徒には書かさずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。  例や例題はノートに書かさず、説明を聞くことに集中させる。  生徒は三角形の簡略図をノートに書きながら問題を解く。
		(知・技)集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 (思・判・表)事象の考察に活用できるようにする。 (主学)筋道を立てて、物事を説明する。	(知・技)共通部分、和集合、空集合について理解している。 (思・判・表)ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 (主学)集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	第4章 集合と論証 第1節 集合と論証 集合と要素, 命題 いろいろな証明法	主にICT機器を用いて授業を進め、画面やスクリーンに映しだして、視覚的にわかりやすく説明する。  生徒は最低限の要点だけをノートに書きながら問題を解く。
3 学期	26	(知・技)データを自分なりに処理する。 (思・判・表)適切なグラフ、手法などを選択して分析する。 (主学)データの傾向を把握して事象の特徴をつかもうとする。	(知・技)階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。 (思・判・表)散布図をもとに、データの相関を考察することができる。 (主学)データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。	第5章 データの分析 第1節 データの分析 統計とグラフ 代表値 相関関係	表やグラフが多いので、生徒には書かさずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。  ワークシートを用いて、自分の身の回りの統計をとらせる。  調べたものを発表し、関心を高める。
留意点 引継ぎ等	ICTを機器を活用して、視覚的に理解できるような授業を行う。 単元を横断的に扱う課題も設定し、年間を通して学習指導要領の目標を達成できるようにする。				

令和 7 年度 高等学部 3年 (I課程) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	高等部3年		高校数学 I (実教出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 数量や図形についての基礎的・基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。</p> <p>(思判表力) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し考察する力、数学の用語、記号を用いて思考を深め、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。</p> <p>(学・人) 身近な生活の中にある数学の事象に触れ、数学への興味・関心を高め、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度や創造性を身に付ける。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知・技)落ち着いて、丁寧に計算する。 (思・判・表)多面的な見方、考え方ができるようにする。 (主学)まわりの意見を取り入れて、さらに自分の解答に自信をもつ。	(知・技)指数法則や分配法則を用いて、多項式の計算や因数分解ができる。 (思・判・表)文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようになることを見通せる。 (主学)今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。	第1章 数と式 第1節 整式 加法, 減法, 乗法 因数分解 第2節 実数 平方根とその計算 実数 第3節 方程式と不等式 1次不等式 連立不等式	<p>日常で使われる場面を説明し、有用性を示してから、教科書の内容を進める。</p> <p>例や例題はノートに書かさず、説明を聞くことに集中させる。</p> <p>既習事項を確認し、各自で問題を解く。</p> <p>生徒は黒板で解答し、他の生徒に説明する。</p> <p>生徒が見つけた別解などは、タブレットで画面に映して、みんなに紹介する。</p>
		(知・技)四則演算の定着 (思・判・表)図やグラフなどを正しく読み取る。 (主学)課題学習などに積極的に取り組む。	(知・技)平方完成を利用して、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 (思・判・表)日常における最大・最小の問題の解決に、2次関数を活用することができる。 (主学)日常の事象の中に関数を見つけようとする。	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ 1次関数のグラフ 2次関数のグラフ 第2節 関数の値の変化 最大値, 最小値	<p>1次関数の復習を行い、2次関数を導入する。</p> <p>グラフの平行移動などは、ICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。</p> <p>生徒はグラフの概形をノートに書きながら問題を解く。</p>
2 学期	41	(知・技)三角比の基本性質を用いて計算する。 (思・判・表)問題文から図を描き、値を求める。 (主学)自分なりの解法を身に付ける。	(知・技)直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 (思・判・表)測量の問題に三角比を活用することができる。 (主学)直接測ることのできない距離を求めることに興味をもつ。	第3章 三角比 第1節 三角比 三角比の利用 相互関係 第2節 三角比の応用 三角形の面積 正弦定理 余弦定理	<p>図形が多いので、生徒には書かさずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。</p> <p>例や例題はノートに書かさず、説明を聞くことに集中させる。</p> <p>生徒は三角形の簡略図をノートに書きながら問題を解く。</p>
		(知・技)集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 (思・判・表)事象の考察に活用できるようにする。 (主学)筋道を立てて、物事を説明する。	(知・技)共通部分、和集合、空集合について理解している。 (思・判・表)ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 (主学)集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	第4章 集合と論証 第1節 集合と論証 集合と要素, 命題 いろいろな証明法	<p>主にICT機器を用いて授業を進め、画面やスクリーンに映しだして、視覚的にわかりやすく説明する。</p> <p>生徒は最低限の要点だけをノートに書きながら問題を解く。</p>
3 学期	27	(知・技)データを自分なりに処理する。 (思・判・表)適切なグラフ、手法などを選択して分析する。 (主学)データの傾向を把握して事象の特徴をつかもうとする。	(知・技)階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。 (思・判・表)散布図をもとに、データの相関を考察することができる。 (主学)データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。	第5章 データの分析 第1節 データの分析 統計とグラフ 代表値 相関関係	<p>表やグラフが多いので、生徒には書かさずにICT機器を用いて画面やスクリーンに映し、視覚的にわかりやすく説明する。</p> <p>ワークシートを用いて、自分の身の回りの統計をとらせる。</p> <p>調べたものを発表し、関心を高める。</p>
留意点 引継ぎ等	ICTを機器を活用して、視覚的に理解できるような授業を行う。 単元を横断的に扱う課題も設定し、年間を通して学習指導要領の目標を達成できるようにする。				

令和 7 年度 高等部 1年 生物基礎 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1年		新生物基礎 (第一学習社) /新課程版 ネオパルノート生物 基礎 (第一学習社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：A(知・技)知識・技能 B(思・判・表)思考・判断・表現 C(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	23	<p>(知及技) 生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>(思判表力) 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>(学・人) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>(知・技) 地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解している。 ・すべての生物は共通した特徴をもつことを理解している。 ・顕微鏡の扱い方、観察材料に応じたプレパラートの作成法を習得している。</p> <p>(思判表) ・観察結果をレポートなどにまとめたり、仮説が正しいといえるか論理的に説明している。(観察1) ・すべての生物にみられる特徴について説明できる。</p> <p>(主学) ・藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを主体的に見いだそうとしている。(観察1) ・観察結果をレポートなどにまとめ、積極的に他の人に説明しようとしている。(観察1)</p>	<p>第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物にみられる共通性 ②生物の共通性の由来 ③細胞構造の共通性</p>	<p>1. 生物の共通性 ①生物にみられる共通性 観察1 さまざまな生物の観察 ②生物の共通性の由来 資料1 生物の共通性の由来を考えよう ③細胞構造の共通性</p>
		<p>(知及技) ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わることを理解する。 ・酵素の特徴や体内の複雑な反応は、酵素が存在することで円滑に進行することを理解する。 ・光合成と呼吸では、共にATPの合成が行われていることを理解する。 ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。</p> <p>(思判表力) ・代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる。 ・体内でATPがどのようにしてエネルギーの受け渡しを行っているか説明できる。 ・実験や資料から酵素の基本的な特徴を理解する。 ・エネルギーの移動に着目し、光合成と呼吸の共通点と相違点を説明できる。</p> <p>(学・人) ・生命活動にはエネルギーが必要であることを示す資料を積極的に読み取ろうとしている。 ・代謝におけるATPの役割について、資料からわかることを積極的に説明しようとしている。(資料2) ・実験に積極的に関わっている。(実験2)</p>	<p>(知・技) ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解している。 ・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わることを理解している。 ・体内でATPがどのようにしてエネルギーの受け渡しを行っているか説明できている。 ・酵素の特徴を説明できている。 ・エネルギーの移動に着目し、光合成と呼吸の共通点と相違点を説明できる。</p> <p>(思判表) ・代謝とは何か説明できている。 ・体内でATPがどのようにしてエネルギーの受け渡しを行っているか説明できている。 ・酵素の特徴を説明できている。 ・エネルギーの移動に着目し、光合成と呼吸の共通点と相違点を説明できる。</p> <p>(主学) ・生命活動にはエネルギーが必要であることを示す資料を積極的に読み取ろうとしている。 ・代謝におけるATPの役割について、資料からわかることを積極的に説明しようとしている。</p>	<p>2. 生物とエネルギー ①エネルギーと代謝 ②代謝とATP ③代謝と酵素 ④光合成と呼吸</p>	<p>2. 生物とエネルギー ①エネルギーと代謝 ②代謝とATP 資料2 ATPの役割について考えよう ③代謝と酵素 実験2 カタラーゼの働き ④光合成と呼吸</p>
		<p>(知及技) ・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 ・身近な材料を用いて、DNAを抽出することができる。 ・DNAの塩基の相補的な結合を示した資料から、DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。 ・細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。</p> <p>(思判表力) ・遺伝子とDNAと染色体の関係を説明できる。 ・資料から、DNAにみられる構造の特徴を読み取り、DNAの塩基の相補性とDNAの構造との関連について説明できる。(資料3) ・遺伝情報の違いはDNAの何に由来するかを説明できる。</p> <p>(学・人) ・タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察し、その結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。 ・DNAの分子モデルを用いた半保存的複製の再現に、積極的に取り組んでいる。(演習1) ・タマネギの根端を用いた細胞分裂の観察に積極的に取り組んでいる。(観察4)</p>	<p>(知・技) ・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解している。 ・身近な生物材料からDNAを抽出する方法を習得している。(実験3) ・二重らせん構造や、塩基の相補性などのDNAの構造の特徴を理解している。</p> <p>(思判表) ・遺伝子とDNAと染色体の関係を説明できる。 ・資料から、DNAにみられる構造の特徴を読み取り、DNAの塩基の相補性とDNAの構造との関連について説明できている。(資料3) ・遺伝情報の違いはDNAの何に由来するかを説明できている。</p> <p>(主学) ・タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察し、その結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。 ・DNAの複製について、資料から読み取れることを積極的に説明しようとしている。(資料4) ・DNAの分子モデルを用いた半保存的複製の再現に、積極的に取り組んでいる。(演習1) ・タマネギの根端を用いた細胞分裂の観察に積極的に取り組んでいる。(観察4)</p>	<p>1. 遺伝情報とDNA ①染色体・DNA・遺伝子 ②DNAの構造 ③DNAの複製 ④DNAの分配</p>	<p>1. 遺伝情報とDNA ①染色体・DNA・遺伝子 実験3 DNAの抽出 ②DNAの構造 資料3 DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴を考えよう ③DNAの複製 資料4 同じ塩基配列のDNAができるしくみを考えよう 演習1 DNAモデルを用いた半保存的複製の再現 ④DNAの分配 観察4 細胞周期の観察</p>

		<p>・ 生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。</p> <p>・ タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。</p> <p>・ DNAの塩基配列と、その配列で決定されるアミノ酸配列を示した資料から、この2つの配列の関係について考察し、3つの塩基の並び（コドン）が1つのアミノ酸に対応していることを理解する。</p> <p>・ DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ（転写）、これがアミノ酸配列に置き換えられる（翻訳）という流れを理解する。</p> <p>・ 遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。</p> <p>・ 遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。</p> <p>・ 全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。</p>	<p>タンパク質はアミノ酸が多数結合したものであることを理解している。</p> <p>・ RNAとDNAの構造の違いを理解している。</p> <p>・ 転写と翻訳の過程の概略を理解している。</p> <p>・ ゲノムの概念を理解している。(A)</p> <p>・ タンパク質の種類はアミノ酸の何によって決まるか説明できる。</p> <p>・ 資料から、3つの塩基の並び（コドン）が1つのアミノ酸に対応していることを読み取ることができる。(資料5)</p> <p>・ 遺伝子として働く部分のDNAの塩基配列と、アミノ酸配列の関係について説明できる。(B)</p> <p>・ 塩基配列とアミノ酸配列の関係を、資料から積極的に読み取ろうとしている。(資料5)</p> <p>・ 遺伝暗号表をもとに、例示されたmRNAが指定するアミノ酸配列を正確に読み取ろうとしている。(演習2)(C)</p>	<p>2. 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>①タンパク質の構造と働き</p> <p>②遺伝子の発現とタンパク質合成(1)</p> <p>③遺伝子の発現とタンパク質合成(2)</p> <p>④細胞と遺伝子の働き</p>	<p>2. 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>①タンパク質の構造と働き</p> <p>②遺伝子の発現とタンパク質合成(1) 資料5</p> <p>DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考えよう</p> <p>③遺伝子の発現とタンパク質合成(2) 演習2</p> <p>塩基配列からアミノ酸配列を読み取ろう</p> <p>④細胞と遺伝子の働き</p>
2 学期	25	<p>(知及技)</p> <p>・ 恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。</p> <p>・ 運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として伝達するしくみがあることを見だし、体内における情報の伝達の概要を理解する。</p> <p>・ 脳幹の働きと、脳死がどのような状態であるのかについて理解する。</p> <p>・ 自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。</p> <p>・ 心臓の拍動数が意思とは無関係に調節されていることを理解する。</p> <p>(思判表力)</p> <p>・ 運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として、組織や器官の間で受け渡すしくみがあることを見出すことができる。</p> <p>(学・人)</p> <p>・ 運動前後の心拍数の変化を測定する実験に積極的に取り組み、体内における情報伝達のしくみを理解しようとする。(実験5)</p>	<p>(知・技)</p> <p>・ 体液の種類と関係について理解している。</p> <p>・ 赤血球、白血球、血小板、血しょうの特徴や働きを理解している。</p> <p>・ ヒトの神経系の種類を理解している。</p> <p>・ 脳の各部位の働きと脳死・植物状態の関係について理解している。</p> <p>・ 交感神経と副交感神経の分布と働きを理解している。</p> <p>(思判表) (実験5)</p> <p>・ 運動を行うと、直接運動に関与しない心臓の拍動数が変化する理由を説明できている。</p> <p>・ 体内環境の調節において、中枢神経系と自律神経系がどのように働くかを説明できている。</p> <p>(主学)</p> <p>・ 運動前後の心拍数の変化を測定する実験に積極的に取り組み、体内における情報伝達のしくみを理解しようとする。(実験5)</p>	<p>1. からだの調節と情報の伝達</p> <p>①恒常性と情報の伝達</p> <p>②神経系</p> <p>③自律神経系の働き</p> <p>④ホルモンの働き</p> <p>⑤血糖濃度の調節</p> <p>⑥体温の調節</p> <p>⑦からだの調節と血液の働き</p>	<p>第3章 ヒトのからだの調節</p> <p>1. からだの調節と情報の伝達</p> <p>①恒常性と情報の伝達</p> <p>実験5 運動による心臓の拍動数の変化</p> <p>②神経系</p> <p>③自律神経系の働き</p> <p>④ホルモンの働き</p> <p>⑤血糖濃度の調節</p> <p>資料6 血糖濃度調節のしくみを考えよう</p> <p>⑥体温の調節</p> <p>⑦からだの調節と血液の働き</p>

		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>皮膚や粘膜による生体防御について理解する。</li> <li>好中球の存在下における細菌数の減少を示した資料や、好中球が細菌を取り込むようすを撮影した資料から、白血球が体内でどのような働きをしているかに気づき、白血球の役割について理解を深める。</li> <li>免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。</li> <li>自然免疫のしくみを理解する。</li> <li>抗体の特徴について理解する。</li> <li>獲得免疫が病原体にのみ反応を起こすしくみを理解する。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを見出すことができる。(資料7)</li> <li>白血球の食作用について説明できる。</li> <li>自然免疫によって炎症が起こる流れについて説明できる。</li> <li>獲得免疫の一次応答の過程を説明できる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを、2つの資料から積極的に読み取ることができる。(資料7)</li> <li>二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを資料から読み取り、積極的に説明することができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生体防御には、皮膚などによる防御と免疫があることを理解している。</li> <li>白血球の食作用について理解している。</li> <li>免疫には、さまざまな免疫細胞が関与することを理解している。</li> <li>自然免疫のしくみを理解している。</li> <li>抗体が特定の抗原と結合し、抗原抗体反応を起こすことを理解している。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを見出している。(資料7)</li> <li>白血球の食作用について説明できている。</li> <li>自然免疫によって炎症が起こる流れについて説明できている。</li> <li>獲得免疫の一次応答の過程を説明できている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを、2つの資料から積極的に読み取ろうとしている。(資料7)</li> <li>二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを資料から読み取り、積極的に説明しようとしている。</li> </ul>	<p>2. 免疫</p> <p>①病原体からからだを守るしくみ</p> <p>②自然免疫</p> <p>③獲得免疫のしくみ</p> <p>④獲得免疫の特徴</p> <p>⑤免疫と疾病</p> <p>⑥免疫と医療</p>	<p>2. 免疫</p> <p>①病原体からからだを守るしくみ</p> <p>資料7 資料から白血球の働きを考えよう</p> <p>②自然免疫</p> <p>③獲得免疫のしくみ</p> <p>④獲得免疫の特徴</p> <p>資料8 病原体の侵入と抗体をつくる量について考えよう</p> <p>⑤免疫と疾病</p> <p>⑥免疫と医療</p>
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植生は、相観によって森林・草原・荒原に大別されることを理解する。</li> <li>森林には階層構造がみられ、階層によって光などの環境が異なることを理解する。</li> <li>光の強さと光合成速度の関係を、グラフを通じて理解する。</li> <li>陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。</li> <li>森林の土壌の特徴を理解する。</li> <li>植生は不変ではなく、遷移していることを理解する。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上でみられる3つの相観の特徴について説明できる。</li> <li>伊豆大島で行われた、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに、遷移の進む要因を考察する。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆大島における、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果からわかることを見出し説明することができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植生、相観、優占種について理解している。</li> <li>森林は、いくつかの階層に分けられ、林冠、林床が存在することを理解している。</li> <li>光補償点、光飽和点がどのような光の強さであるか理解している。</li> <li>陽生植物や陰生植物、陽樹と陰樹の特徴を理解している。</li> <li>土壌の構造を理解している。</li> <li>植生は不変ではなく、遷移していることを理解している。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上でみられる3つの相観の特徴について説明できる。</li> <li>伊豆大島における、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに、遷移の進行が光環境と土壌の状態に左右されることを考察している。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆大島における、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果からわかることを読み取り、積極的に説明しようとしている。</li> </ul>	<p>第4章 生物の多様性と生態系</p> <p>1. 植生と遷移</p> <p>①さまざまな植生</p> <p>②植物と環境</p> <p>③植生の遷移と環境</p> <p>④植生の破壊と遷移</p>	<p>第4章 生物の多様性と生態系</p> <p>1. 植生と遷移</p> <p>①さまざまな植生</p> <p>②植物と環境</p> <p>③植生の遷移と環境</p> <p>資料9 遷移の要因を読み取ろう</p> <p>④植生の破壊と遷移</p>
3 学 期	13	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームの概念を理解し、陸上にはその地域に生育する植物を基盤としたさまざまなバイオームが成立することを理解する。</li> <li>地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解する。</li> <li>日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、世界でみられる草原や荒原が森林へ遷移することなく長期間維持されている要因として、その地域の年降水量や年平均気温などが関係していることを、読み取ることができる。(資料10、資料11)</li> <li>世界のバイオームと年降水量、年平均気温を示したグラフを読み取ることができる。</li> <li>世界各地で長期間維持されている荒原や草原が、森林まで遷移しない理由を、気候と関連づけて説明できる。</li> <li>日本において、水平分布と垂直分布にバイオームが変化する理由を説明できる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームの分布を決める要因を資料から読み取ることができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームの概念を理解している。</li> <li>年平均気温と年降水量は、それぞれの地域のバイオームを決める重要な要因となっていることを理解している。</li> <li>地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解している。</li> <li>日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解している。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界でみられる草原や荒原が森林へ遷移することなく長期間維持されている要因として、その地域の年降水量や年平均気温などが関係していることを、読み取ることができる。</li> <li>世界のバイオームと年降水量、年平均気温を示したグラフを読み取ることができる。</li> <li>世界各地で長期間維持されている荒原や草原が、森林まで遷移しない理由を、気候と関連づけて説明できている。</li> <li>日本において、水平分布と垂直分布にバイオームが変化する理由を説明できる。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームの分布を決める要因を資料から積極的に読み取ろうとしている。</li> </ul>	<p>⑤遷移とバイオーム</p> <p>⑥日本のバイオームと気候</p>	<p>⑤遷移とバイオーム</p> <p>資料10 バイオームの分布を決める要因を考えよう(1)</p> <p>資料11 バイオームの分布を決める要因を考えよう(2)</p> <p>⑥日本のバイオームと気候</p>
年 間 を と お し て	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄の自然について自ら調べる事ができる。</li> <li>器具を使い実物の観察・実験することができる。</li> <li>科学関係の時事的な事柄をいろいろなメディアを用いて知る事ができる)</li> <li>科学に関する疑問を解決する方法を知る事ができる</li> <li>個別進度学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄の自然について自ら調べる事ができる。</li> <li>器具を使い実物の観察・実験することができる。</li> <li>科学関係の時事的な事柄をいろいろなメディアを用いて知る事ができる)</li> <li>科学に関する疑問を解決する方法を知る事ができる</li> <li>個々に適した学習内容に取り組む</li> </ul>	<p>①沖縄の自然</p> <p>②科学のニュース</p> <p>③学びなおし</p>	<p>①沖縄の季節変化、沖縄の生き物(校外学習含む)</p> <p>②新聞・雑誌・インターネット等を用いた調べ学習</p> <p>③中学校の内容</p>
留 意 点 引 継 ぎ 等		<p>【評価方法】授業態度、発問評価、レポート、小テスト、定期考査</p> <p>・生徒の実態に応じて、実験実習を精選して行う。</p>			

令和 7 年度 高等部 3年 生物基礎 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	3年		新生物基礎 (第一学習社) /新課程版 ネオパルノート生物 基礎 (第一学習社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：A(知・技)知識・技能 B(思・判・表)思考・判断・表現 C(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	23	<p>(知及技) 生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>(思判表力) 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>(学・人) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>(知・技) 地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解している。 ・すべての生物は共通した特徴をもつことを理解している。 ・顕微鏡の扱い方、観察材料に応じたプレパラートの作成法を習得している。</p> <p>(思判表) ・観察結果をレポートなどにまとめたり、仮説が正しいといえるか論理的に説明している。(観察1) ・すべての生物にみられる特徴について説明できる。</p> <p>(主学) ・藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを主体的に見いだそうとしている。(観察1) ・観察結果をレポートなどにまとめ、積極的に他の人に説明しようとしている。(観察1)</p>	<p>第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物にみられる共通性 ②生物の共通性の由来 ③細胞構造の共通性</p>	<p>1. 生物の共通性 ①生物にみられる共通性 観察1 さまざまな生物の観察 ②生物の共通性の由来 資料1 生物の共通性の由来を考えよう ③細胞構造の共通性</p>
		<p>(知及技) ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わることを理解する。 ・酵素の特徴や体内の複雑な反応は、酵素が存在することで円滑に進行することを理解する。 ・光合成と呼吸では、共にATPの合成が行われていることを理解する。 ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。</p> <p>(思判表力) ・代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる。 ・体内でATPがどのようにしてエネルギーの受け渡しを行っているか説明できる。 ・実験や資料から酵素の基本的な特徴を理解する。 ・エネルギーの移動に着目し、光合成と呼吸の共通点と相違点を説明できる。</p> <p>(学・人) ・生命活動にはエネルギーが必要であることを示す資料を積極的に読み取ろうとしている。 ・代謝におけるATPの役割について、資料からわかることを積極的に説明しようとしている。(資料2) ・実験に積極的に関わっている。(実験2)</p>	<p>(知・技) ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解している。 ・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わることを理解している。 ・体内でATPがどのようにしてエネルギーの受け渡しを行っているか説明できている。 ・酵素の特徴を説明できている。 ・エネルギーの移動に着目し、光合成と呼吸の共通点と相違点を説明できる。</p> <p>(思判表) ・代謝とは何か説明できている。 ・体内でATPがどのようにしてエネルギーの受け渡しを行っているか説明できている。 ・酵素の特徴を説明できている。 ・エネルギーの移動に着目し、光合成と呼吸の共通点と相違点を説明できる。</p> <p>(主学) ・生命活動にはエネルギーが必要であることを示す資料を積極的に読み取ろうとしている。 ・代謝におけるATPの役割について、資料からわかることを積極的に説明しようとしている。</p>	<p>2. 生物とエネルギー ①エネルギーと代謝 ②代謝とATP ③代謝と酵素 ④光合成と呼吸</p>	<p>2. 生物とエネルギー ①エネルギーと代謝 ②代謝とATP 資料2 ATPの役割について考えよう ③代謝と酵素 実験2 カタラーゼの働き ④光合成と呼吸</p>
		<p>(知及技) ・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 ・身近な材料を用いて、DNAを抽出することができる。 ・DNAの塩基の相補的な結合を示した資料から、DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。 ・細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。</p> <p>(思判表力) ・遺伝子とDNAと染色体の関係を説明できる。 ・資料から、DNAにみられる構造の特徴を読み取り、DNAの塩基の相補性とDNAの構造との関連について説明できる。(資料3) ・遺伝情報の違いはDNAの何に由来するかを説明できる。</p> <p>(学・人) ・タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察し、その結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。 ・DNAの分子モデルを用いた半保存的複製の再現に、積極的に取り組んでいる。(演習1) ・タマネギの根端を用いた細胞分裂の観察に積極的に取り組んでいる。(観察4)</p>	<p>(知・技) ・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解している。 ・身近な生物材料からDNAを抽出する方法を習得している。(実験3) ・二重らせん構造や、塩基の相補性などのDNAの構造の特徴を理解している。</p> <p>(思判表) ・遺伝子とDNAと染色体の関係を説明できる。 ・資料から、DNAにみられる構造の特徴を読み取り、DNAの塩基の相補性とDNAの構造との関連について説明できている。(資料3) ・遺伝情報の違いはDNAの何に由来するかを説明できている。</p> <p>(主学) ・タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察し、その結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。 ・DNAの複製について、資料から読み取れることを積極的に説明しようとしている。(資料4) ・DNAの分子モデルを用いた半保存的複製の再現に、積極的に取り組んでいる。(演習1) ・タマネギの根端を用いた細胞分裂の観察に積極的に取り組んでいる。(観察4)</p>	<p>1. 遺伝情報とDNA ①染色体・DNA・遺伝子 ②DNAの構造 ③DNAの複製 ④DNAの分配</p>	<p>1. 遺伝情報とDNA ①染色体・DNA・遺伝子 実験3 DNAの抽出 ②DNAの構造 資料3 DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴を考えよう ③DNAの複製 資料4 同じ塩基配列のDNAができるしくみを考えよう 演習1 DNAモデルを用いた半保存的複製の再現 ④DNAの分配 観察4 細胞周期の観察</p>

		<p>・ 生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。</p> <p>・ タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。</p> <p>・ DNAの塩基配列と、その配列で決定されるアミノ酸配列を示した資料から、この2つの配列の関係について考察し、3つの塩基の並び（コドン）が1つのアミノ酸に対応していることを理解する。</p> <p>・ DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ（転写）、これがアミノ酸配列に置き換えられる（翻訳）という流れを理解する。</p> <p>・ 遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。</p> <p>・ 遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。</p> <p>・ 全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。</p>	<p>タンパク質はアミノ酸が多数結合したものであることを理解している。</p> <p>・ RNAとDNAの構造の違いを理解している。</p> <p>・ 転写と翻訳の過程の概略を理解している。</p> <p>・ ゲノムの概念を理解している。(A)</p> <p>・ タンパク質の種類はアミノ酸の何によって決まるか説明できる。</p> <p>・ 資料から、3つの塩基の並び（コドン）が1つのアミノ酸に対応していることを読み取ることができる。(資料5)</p> <p>・ 遺伝子として働く部分のDNAの塩基配列と、アミノ酸配列の関係について説明できる。(B)</p> <p>・ 塩基配列とアミノ酸配列の関係を、資料から積極的に読み取ろうとしている。(資料5)</p> <p>・ 遺伝暗号表をもとに、例示されたmRNAが指定するアミノ酸配列を正確に読み取ろうとしている。(演習2)(C)</p>	<p>2. 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>①タンパク質の構造と働き</p> <p>②遺伝子の発現とタンパク質合成(1)</p> <p>③遺伝子の発現とタンパク質合成(2)</p> <p>④細胞と遺伝子の働き</p>	<p>2. 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>①タンパク質の構造と働き</p> <p>②遺伝子の発現とタンパク質合成(1) 資料5</p> <p>DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考えよう</p> <p>③遺伝子の発現とタンパク質合成(2) 演習2</p> <p>塩基配列からアミノ酸配列を読み取ろう</p> <p>④細胞と遺伝子の働き</p>
2 学期	25	<p>(知及技)</p> <p>・ 恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。</p> <p>・ 運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として伝達するしくみがあることを見だし、体内における情報の伝達の概要を理解する。</p> <p>・ 脳幹の働きと、脳死がどのような状態であるのかについて理解する。</p> <p>・ 自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。</p> <p>・ 心臓の拍動数が意思とは無関係に調節されていることを理解する。</p> <p>(思判表力)</p> <p>・ 運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として、組織や器官の間で受け渡すしくみがあることを見出すことができる。</p> <p>(学・人)</p> <p>・ 運動前後の心拍数の変化を測定する実験に積極的に取り組み、体内における情報伝達のしくみを理解しようとする。(実験5)</p>	<p>(知・技)</p> <p>・ 体液の種類と関係について理解している。</p> <p>・ 赤血球、白血球、血小板、血しょうの特徴や働きを理解している。</p> <p>・ ヒトの神経系の種類を理解している。</p> <p>・ 脳の各部位の働きと脳死・植物状態の関係について理解している。</p> <p>・ 交感神経と副交感神経の分布と働きを理解している。</p> <p>(思判表) (実験5)</p> <p>・ 運動を行うと、直接運動に関与しない心臓の拍動数が変化する理由を説明できている。</p> <p>・ 体内環境の調節において、中枢神経系と自律神経系がどのように働くかを説明できている。</p> <p>(主学)</p> <p>・ 運動前後の心拍数の変化を測定する実験に積極的に取り組み、体内における情報伝達のしくみを理解しようとする。(実験5)</p>	<p>1. からだの調節と情報の伝達</p> <p>①恒常性と情報の伝達</p> <p>②神経系</p> <p>③自律神経系の働き</p> <p>④ホルモンの働き</p> <p>⑤血糖濃度の調節</p> <p>⑥体温の調節</p> <p>⑦からだの調節と血液の働き</p>	<p>第3章 ヒトのからだの調節</p> <p>1. からだの調節と情報の伝達</p> <p>①恒常性と情報の伝達</p> <p>実験5 運動による心臓の拍動数の変化</p> <p>②神経系</p> <p>③自律神経系の働き</p> <p>④ホルモンの働き</p> <p>⑤血糖濃度の調節</p> <p>資料6 血糖濃度調節のしくみを考えよう</p> <p>⑥体温の調節</p> <p>⑦からだの調節と血液の働き</p>

		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>皮膚や粘膜による生体防御について理解する。</li> <li>好中球の存在下における細菌数の減少を示した資料や、好中球が細菌を取り込むようすを撮影した資料から、白血球が体内でどのような働きをしているかに気づき、白血球の役割について理解を深める。</li> <li>免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。</li> <li>自然免疫のしくみを理解する。</li> <li>抗体の特徴について理解する。</li> <li>獲得免疫が病原体にのみ反応を起こすしくみを理解する。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを見出すことができる。(資料7)</li> <li>白血球の食作用について説明できる。</li> <li>自然免疫によって炎症が起こる流れについて説明できる。</li> <li>獲得免疫の一次応答の過程を説明できる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを、2つの資料から積極的に読み取ることができる。(資料7)</li> <li>二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを資料から読み取り、積極的に説明することができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生体防御には、皮膚などによる防御と免疫があることを理解している。</li> <li>白血球の食作用について理解している。</li> <li>免疫には、さまざまな免疫細胞が関与することを理解している。</li> <li>自然免疫のしくみを理解している。</li> <li>抗体が特定の抗原と結合し、抗原抗体反応を起こすことを理解している。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを見出している。(資料7)</li> <li>白血球の食作用について説明できている。</li> <li>自然免疫によって炎症が起こる流れについて説明できている。</li> <li>獲得免疫の一次応答の過程を説明できている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを、2つの資料から積極的に読み取ろうとしている。(資料7)</li> <li>二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを資料から読み取り、積極的に説明しようとしている。</li> </ul>	<p>2. 免疫</p> <p>①病原体からからだを守るしくみ</p> <p>②自然免疫</p> <p>③獲得免疫のしくみ</p> <p>④獲得免疫の特徴</p> <p>⑤免疫と疾病</p> <p>⑥免疫と医療</p>	<p>2. 免疫</p> <p>①病原体からからだを守るしくみ</p> <p>資料7 資料から白血球の働きを考えよう</p> <p>②自然免疫</p> <p>③獲得免疫のしくみ</p> <p>④獲得免疫の特徴</p> <p>資料8 病原体の侵入と抗体をつくる量について考えよう</p> <p>⑤免疫と疾病</p> <p>⑥免疫と医療</p>
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植生は、相観によって森林・草原・荒原に大別されることを理解する。</li> <li>森林には階層構造がみられ、階層によって光などの環境が異なることを理解する。</li> <li>光の強さと光合成速度の関係を、グラフを通じて理解する。</li> <li>陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。</li> <li>森林の土壌の特徴を理解する。</li> <li>植生は不変ではなく、遷移していることを理解する。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上でみられる3つの相観の特徴について説明できる。</li> <li>伊豆大島で行われた、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに、遷移の進む要因を考察する。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆大島における、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果からわかることを見出し説明することができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植生、相観、優占種について理解している。</li> <li>森林は、いくつかの階層に分けられ、林冠、林床が存在することを理解している。</li> <li>光補償点、光飽和点がどのような光の強さであるか理解している。</li> <li>陽生植物や陰生植物、陽樹と陰樹の特徴を理解している。</li> <li>土壌の構造を理解している。</li> <li>植生は不変ではなく、遷移していることを理解している。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上でみられる3つの相観の特徴について説明できる。</li> <li>伊豆大島における、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに、遷移の進行が光環境と土壌の状態に左右されることを考察している。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆大島における、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果からわかることを読み取り、積極的に説明しようとしている。</li> </ul>	<p>第4章 生物の多様性と生態系</p> <p>1. 植生と遷移</p> <p>①さまざまな植生</p> <p>②植物と環境</p> <p>③植生の遷移と環境</p> <p>④植生の破壊と遷移</p>	<p>第4章 生物の多様性と生態系</p> <p>1. 植生と遷移</p> <p>①さまざまな植生</p> <p>②植物と環境</p> <p>③植生の遷移と環境</p> <p>資料9 遷移の要因を読み取ろう</p> <p>④植生の破壊と遷移</p>
3 学 期	17	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームの概念を理解し、陸上にはその地域に生育する植物を基盤としたさまざまなバイオームが成立することを理解する。</li> <li>地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解する。</li> <li>日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、世界でみられる草原や荒原が森林へ遷移することなく長期間維持されている要因として、その地域の年降水量や年平均気温などが関係していることを、読み取ることができる。(資料10、資料11)</li> <li>世界のバイオームと年降水量、年平均気温を示したグラフを読み取ることができる。</li> <li>世界各地で長期間維持されている荒原や草原が、森林まで遷移しない理由を、気候と関連づけて説明できる。</li> <li>日本において、水平分布と垂直分布にバイオームが変化する理由を説明できる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームの分布を決める要因を資料から読み取ることができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームの概念を理解している。</li> <li>年平均気温と年降水量は、それぞれの地域のバイオームを決める重要な要因となっていることを理解している。</li> <li>地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解している。</li> <li>日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解している。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界でみられる草原や荒原が森林へ遷移することなく長期間維持されている要因として、その地域の年降水量や年平均気温などが関係していることを、読み取ることができる。</li> <li>世界のバイオームと年降水量、年平均気温を示したグラフを読み取ることができる。</li> <li>世界各地で長期間維持されている荒原や草原が、森林まで遷移しない理由を、気候と関連づけて説明できている。</li> <li>日本において、水平分布と垂直分布にバイオームが変化する理由を説明できる。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームの分布を決める要因を資料から積極的に読み取ろうとしている。</li> </ul>	<p>⑤遷移とバイオーム</p> <p>⑥日本のバイオームと気候</p>	<p>⑤遷移とバイオーム</p> <p>資料10 バイオームの分布を決める要因を考えよう(1)</p> <p>資料11 バイオームの分布を決める要因を考えよう(2)</p> <p>⑥日本のバイオームと気候</p>
年 間 を と お し て	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄の自然について自ら調べる事ができる。</li> <li>器具を使い実物の観察・実験することができる。</li> <li>科学関係の時事的な事柄をいろいろなメディアを用いて知る事ができる)</li> <li>科学に関する疑問を解決する方法を知る事ができる</li> <li>個別進度学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄の自然について自ら調べる事ができる。</li> <li>器具を使い実物の観察・実験することができる。</li> <li>科学関係の時事的な事柄をいろいろなメディアを用いて知る事ができる)</li> <li>科学に関する疑問を解決する方法を知る事ができる</li> <li>個々に適した学習内容に取り組む</li> </ul>	<p>①沖縄の自然</p> <p>②科学のニュース</p> <p>③学びなおし</p>	<p>①沖縄の季節変化、沖縄の生き物(校外学習含む)</p> <p>②新聞・雑誌・インターネット等を用いた調べ学習</p> <p>③中学校の内容</p>
留 意 点 引 継 ぎ 等		<p>【評価方法】授業態度、発問評価、レポート、小テスト、定期考査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じて、実験実習を精選して行う。</li> </ul>			

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1年 I 課程		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自己のイメージを個性豊かに音楽表現できるよう創意工夫をすることや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動を通して、自分なりの音楽表現方法をみつけ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (25)	2	(知及技) 年間の予定や、授業の取り組みを理解できる。色々な表現方法があることを理解できる。 (思判表力) 自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表すことができる。 (学・人) 年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 年間の予定や授業の取り組みを理解し、色々な表現方法があることを学ぼうとしている。 (思・判・表) 自分のやりたいこと、やってみたいことを考え、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表そうとしている。 (主学) 年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション ・授業の年間予定 ・自分は何に興味があるのか考えてみよう ・興味のあることや自分の得意な表現方法は何か探してみよう	・学期ごとの取り組みを知り、年間の目標と計画を立てる。 ・色々な表現方法の紹介。 (独唱、合唱、独奏、合奏、創作、ダンス、手話他) ・自分の興味はあることは何か、得意な表現方法は何か、やりたいことは何かを探す。
	7	(知及技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、講成を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、演奏することができる。 (学・人) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 (思・判・表) 音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、講成を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 (主学) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう	・ハンドクラップアンサンブル 「Espressivo」 ・ボディーパーカッション 「Plymouth Rock」 ・CUPS 「Clap, Tap with CUPS!」他
	8	(知及技) 個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組むことができる。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	自分で選択した表現方法に取り組んでみよう ・目標設定 ・練習 ・振り返り	生徒が個々が選択した表現活動を個別活動で取り組む。 [歌唱] ・発声や音程に気を付けて歌う ・練習 ・曲をどのように表現したらよいか探る他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・選曲、振り付けの創作 ・練習 他
	8	(知及技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かす。 (学・人) 集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたらよいかを考え演奏に生かそうとしている。 (主学) 集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。	皆で合わせて演奏しよう	個々が選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。
9	(知及技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。 (学・人) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとする思いを持っている。 (主学) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろなジャンルの音楽を知ろう	・鑑賞のルール ・曲の聴き方 ・色々なジャンルの曲を聴く ・ワークシート	

2 学期 (27)	9	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組む。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう①	新しい表現方法に、個々が選択しチャレンジする。 [歌唱] ・発声や音程に気をつけて歌う。 ・曲をどのように表現したらよいか探る 他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・選曲、ダンスの振り付け ・練習 他
	9	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表できる。 (思判表力) どの発表形態なら自分たちができるか考え、発表方法を工夫しながら、自分たちで表現できる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、積極的に皆の前で発表できる。	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 (思・判・表) どのように演奏するか、どの発表形態なら自分たちができるか等を考え、思いや意図をもって発表方法を工夫し表現できるようにしようとしている。 (主学) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、積極的に皆の前で発表しようとしている。	行事に向けた取り組みに参加しよう	皆で合わせたものを発表できるように準備、練習をする。 発表形態を考える。
3 学期 (18)	14	(知及技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的に練習へ取り組むことができる。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かそうとしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的に練習へ取り組もうとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう②	新しい表現方法について、皆で話し合い、決める。 今まで取り組んできたことから、皆でやりたいことを決め、練習、発表する。
	4	(知及技) 年間で取り組んだことを振り返ることができる。 (思判表力) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価できる。また、他者についてもどんなところがよかったのか等の他者評価もできる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ろうとしている。 (思・判・表) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価しようとしている。また、他者についてもどんなところがよかったのか等の他者評価をしようとしている。 (主学) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、振り返りを通して自己評価や他者評価に取り組もうとしている。	1年間を振り返ってみよう	年間を通して、取り組んだことを振り返り、自己評価、他者評価をする。
留意 点 引 継 ぎ 等		・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。			

tokushi2715

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部3年		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自己のイメージを個性豊かに音楽表現できるよう創意工夫をすることや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動を通して、自分なりの音楽表現方法を見つけ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (25)	2	(知及技) 年間の予定や、授業の取り組みを理解できる。色々な表現方法があることを理解できる。 (思判表力) 自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表すことができる。 (学・人) 年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 年間の予定や授業の取り組みを理解し、色々な表現方法があることを学ぼうとしている。 (思・判・表) 自分のやりたいこと、やってみたいことを考え、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表そうとしている。 (主学) 年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション ・授業の年間予定 ・自分は何に興味があるのか考えてみよう ・興味のあることや自分の得意な表現方法は何か探してみよう	・学期ごとの取り組みを知り、年間の目標と計画を立てる。 ・色々な表現方法の紹介。 (独唱、合唱、独奏、合奏、創作、ダンス、手話他) ・自分の興味はあることは何か、得意な表現方法は何か、やりたいことは何かを探す。
	7	(知及技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、講成を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、演奏することができる。 (学・人) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに興味を持ち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 (思・判・表) 音色、リズム、速度、テクスチャア、強弱、形式、講成を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 (主学) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに興味を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう	・ハンドクラップアンサンブル 「Espressivo」 ・ボディーパーカッション 「Plymouth Rock」 ・CUPS 「Clap, Tap with CUPS!」他
	8	(知及技) 個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組むことができる。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	自分で選択した表現方法に取り組んでみよう ・目標設定 ・練習 ・振り返り	生徒が個々が選択した表現活動を個別活動で取り組む。 [歌唱] ・発声や音程に気を付けて歌う ・練習 ・曲をどのように表現したらよいか探る他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・選曲、振り付けの創作 ・練習 他
	8	(知及技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かす。 (学・人) 集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたらよいかを考え演奏に生かそうとしている。 (主学) 集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。	皆で合わせて演奏しよう	個々が選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。
9	(知及技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。 (学・人) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとする思いを持っている。 (主学) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろなジャンルの音楽を知ろう	・鑑賞のルール ・曲の聴き方 ・色々なジャンルの曲を聴く ・ワークシート	

2 学期 (27)	9	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けることができる。 (思・判・表) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習へ取り組む。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう①	新しい表現方法に、個々に選択しチャレンジする。 [歌唱] ・発声や音程に気をつけて歌う。 ・曲をどのように表現したらよいか探る 他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・選曲、ダンスの振り付け ・練習 他
	9	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表できる。 (思・判・表) どの発表形態なら自分たちができるか考え、発表方法を工夫しながら、自分たちで発表できる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、積極的に皆の前で発表できる。	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 (思・判・表) どのように演奏するか、どの発表形態なら自分たちができるか等を考え、思いや意図をもって発表方法を工夫し表現できるようにしようとしている。 (主学) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、積極的に皆の前で発表しようとしている。	行事に向けた取り組みに参加しよう	皆で合わせたものを発表できるように準備、練習をする。 発表形態を考える。
3 学期 (18)	14	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けることができる。 (思・判・表) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的に練習へ取り組むことができる。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かそうとしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的に練習へ取り組もうとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう②	新しい表現方法について、皆で話し合い、決める。 今まで取り組んできたことから、皆でやりたいことを決め、練習、発表する。
	4	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ることができる。 (思・判・表) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価できる。また、他者についてもどんなところがよかったのか等の他者評価もできる。 (学・人) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ろうとしている。 (思・判・表) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価しようとしている。また、他者についてもどんなところがよかったのか等の他者評価をしようとしている。 (主学) 主体的・協働的に音楽活動に参加し、振り返りを通して自己評価や他者評価に取り組もうとしている。	1年間を振り返ってみよう	年間を通して、取り組んだことを振り返り、自己評価、他者評価をする。
留意 点 引 継 ぎ 等		・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。			

tokushi2715

令和7年度 高等部 1年( I 課程 ) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
2/70	高等部1年( I 課程)		高校生の美術 I (日本文教出版)/その他		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間 目標	(知及技)美術表現の基礎知識を習得し、発想や構想を基に創造的に表現する。 (思判表力)感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で創意工夫し表現する力を育てる。 (学・人)美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ●風景の中の空間、形や色の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことができる。A(1)ア(イ) (思判表力) ●身近な場所や風景を基に形や色彩、構図を練ることができる。A(1)ア(ア) (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。(3)・Bア(ア)	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。 (思・判・表) ○身近な場所や風景を基に自分の表したいものに合った色彩や形、構成を考えている。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、作品の造形的なよさや美しさを感じ取っている。	<b>絵や彫刻など</b> [描く活動] 『身近な風景を描く』	・身近な風景をよく見たて特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・水彩画の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(知及技) ●形や色彩、材料などの要素の働きについて理解することができる。A共通事項(1)イ (思判表力) ●形や色などの構成の効果を考え、使う目的や条件、表したいことを考えて構想を創意工夫することができる。A(2)ア(ア) (学・人) ●主体的に創作活動の取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。(3)	(知・技) ○形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに季節感のイメージをとらえることができるか (思・判・表) ○使用する季節や目的をもとに形や色などの構成の効果を考え、構想をすることができる。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<b>デザイン</b> [描く・つくる活動] 『季節感のある暮らしを楽しむ』	・日本人が昔から楽しんできた、衣食住の中にある季節を感じるデザインや工芸品について鑑賞する。 ・ガラスの内側あから彩色する江戸風鈴の技法について知る。 ・暑い夏に涼しさを感じられるような風鈴デザインを考え、アクリル絵の具で風鈴に描く。
		(知及技) ●映す角度や配置、拡大縮小、光と影などの効果や全体のイメージを捉え、カメラの特性を生かして表現方法を工夫して表すことができる。A(3)イ(ア) (思判表力) ●被写体の印象や瞬間の美しさやなどを基に、構図等の効果を考え構想を練ることができる。A(3)ア(ア) (学・人) ●写真表現の特性を生かして表す創造活動や鑑賞の活動に主体的に取り組むことができる。(3)・Bア(ウ)	(知・技) ○意図に応じてカメラの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、効果的に表している。 (思・判・表) ○写真表現の特性を生かして構図や光、シャッター速度などの表現の特質を生かし創意工夫して攻勢を練っている。 (主学) ○写真表現の特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	<b>映像メディア表現</b> 「写真で表す」	・タブレットのカメラアプリやデジタルカメラの基本的な操作方法を知る。 ・写真の構図や光と影などの効果に注目し、参考作品の鑑賞を行う。 ・学校での日常の印象的なひとコマを写真で表現する。

2 学期	<p>(知及技) ●自然物などの形や色の特徴の美しさ、全体のイメージなどを捉え材料や用具の特性を生かして計画的に表すことができる。A(2)イ(イ) (思判表力) ●自然物などの形や色の特徴の美しさ、用いる場面や条件などを基に形や色などの構成の効果を考え、構想を練ることができる。A(2)ア(ア) (学・人) ●自然物などの特徴や地域の自然や歴史、特産物などをヒントに生まれたデザインを鑑賞したり、創作する活動に主体的に取り組むことができる。(3)・Bア(イ)</p>	<p>(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について気づき、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の自然や歴史、特産物などをヒントに感じ取ったことや考えたこと、使う条件などを考えて文様を工夫してあらわそうとしている。 (主学) ○地域の土産物のパッケージやデザインの意図や工夫、美しさについて主体的に創作活動や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p>	<p>デザイン [つくる活動・鑑賞] 『地域の魅力をデザインにしよう』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末などを利用し、身近な地域の自然や歴史、産業などを調べ、デザインの手掛かりにする。</li> <li>・身近な地域から見つけた形を手がかり連続したパターンを構想</li> <li>・ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。</li> <li>・スタンプを使い、皿や一筆箋、布などへの模様の構成を考える。</li> <li>・完成した作品を実際に使ってみる。</li> </ul>
27	<p>(知及技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。Bア(ア) (思判表力) ●美術作品の鑑賞を通して、作品の良さなどに気づき、自分の見方や感じ方を深めることができる。Bア(イ) (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。(3)</p>	<p>(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などをとらえようとしている。 (思・判・表) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>鑑賞 [考える・描く活動] 『ゲルニカ・明日への願い』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピカソのゲルニカを鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合う。</li> <li>・タブレット端末やワークシートなどを活用し、調べたことを書き込んだり、作品が書かれた背景や作所について調べる。</li> <li>・ゲルニカの主題とは真逆の私たちの望む世界はどんなものかを話し合い共同制作で絵画に表す。</li> </ul>
	<p>(知及技) ●全体のイメージを捉え、線や面などの半による表現を生かし、堀や刷りを工夫して表すことができる。A(1)ア(イ) (思判表力) ●版画の表現の良さや特性を基に班による表現の効果を考え、構想を練ることができる。A(1)ア(ア) (学・人) ●版による表現の特性を生かした創作活動やさまざまな版画の作品の鑑賞に主体的に取り組む、見方や感じ方を深めることができる。(3)・Bア(ア)</p>	<p>(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>絵や彫刻など [描く活動] 『版で表す』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。</li> <li>・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。</li> </ul>
3 学期	<p>18 (知及技) ●構図や色彩なども効果、全体のイメージなどを捉え、や色の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことができる。A(1)ア(ア) (思判表力) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。Aア(ア) (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。(3)・Bア(ア)</p>	<p>(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、表現を工夫し、創造的に表そうとしている。 (思・判・表) ○気持ちなど見えないものから主題を生み出し、表現活動の特性を感じ取り、色彩や形状、組み合わせなどを基に効果的な構想を練っている。 (主学) ○心の中や気持ちを表現する創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>共同制作の魅力 [描く活動・鑑賞] 『気持ちをあらわす』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見直しをもって制作する。</li> <li>・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<p>※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。</p>			

令和7年度 高等部 3年( I 課程 ) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
2/70	高等部3年		高校生の美術 I (日本文教出版)/その他		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間 目標	(知及技)美術表現の基礎知識を習得し、発想や構想を基に創造的に表現する。 (思判表力)感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で創意工夫し表現する力を育てる。 (学・人)美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ●風景の中の空間、形や色の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことができる。A(1)ア(イ) (思判表力) ●身近な場所や風景を基に形や色彩、構図を練ることができる。A(1)ア(ア) (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。(3)・Bア(ア)	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。 (思・判・表) ○身近な場所や風景を基に自分の表したいものに合った色彩や形、構成を考えている。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、作品の造形的なよさや美しさを感じ取っている。	絵や彫刻など [描く活動] 『身近な風景を描く』	・身近な風景をよく見たて特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・水彩画の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(知及技) ●形や色彩、材料などの要素の働きについて理解することができる。A共通事項(1)イ (思判表力) ●形や色などの構成の効果を考え、使う目的や条件、表したいことを考えて構想を創意工夫することができる。A(2)ア(ア) (学・人) ●主体的に創作活動の取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。(3)	(知・技) ○形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに季節感のイメージをとらえることができるか (思・判・表) ○使用する季節や目的をもとに形や色などの構成の効果を考え、構想をすることができる。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザイン [描く・つくる活動] 『季節感のある暮らしを楽しむ』	・日本人が昔から楽しんできた、衣食住の中にある季節を感じるデザインや工芸品について鑑賞する。 ・ガラスの内側あから彩色する江戸風鈴の技法について知る。 ・暑い夏に涼しさを感じられるような風鈴デザインを考え、アクリル絵の具で風鈴に描く。
		(知及技) ●映す角度や配置、拡大縮小、光と影などの効果や全体のイメージを捉え、カメラの特性を生かして表現方法を工夫して表すことができる。A(3)イ(ア) (思判表力) ●被写体の印象や瞬間の美しさやなどを基に、構図等の効果を考え構想を練ることができる。A(3)ア(ア) (学・人) ●写真表現の特性を生かして表す創造活動や鑑賞の活動に主体的に取り組むことができる。(3)・Bア(ウ)	(知・技) ○意図に応じてカメラの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、効果的に表している。 (思・判・表) ○写真表現の特性を生かして構図や光、シャッター速度などの表現の特質を生かし創意工夫して攻勢を練っている。 (主学) ○写真表現の特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	映像メディア表現 「写真で表す」	・タブレットのカメラアプリやデジタルカメラの基本的な操作方法を知る。 ・写真の構図や光と影などの効果に注目し、参考作品の鑑賞を行う。 ・学校での日常の印象的なひとコマを写真で表現する。

2 学期	<p>(知及技) ●自然物などの形や色の特徴の美しさ、全体のイメージなどを捉え材料や用具の特性を生かして計画的に表すことができる。A(2)イ(イ) (思判表力) ●自然物などの形や色の特徴の美しさ、用いる場面や条件などを基に形や色などの構成の効果を考え、構想を練ることができる。A(2)ア(ア) (学・人) ●自然物などの特徴や地域の自然や歴史、特産物などをヒントに生まれたデザインを鑑賞したり、創作する活動に主体的に取り組むことができる。(3)・Bア(イ)</p>	<p>(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について気づき、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の自然や歴史、特産物などをヒントに感じ取ったことや考えたこと、使う条件などを考えて文様を工夫してあらわそうとしている。 (主学) ○地域の土産物のパッケージやデザインの意図や工夫、美しさについて主体的に創作活動や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p>	<p>デザイン [つくる活動・鑑賞] 『地域の魅力をデザインにしよう』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末などを利用し、身近な地域の自然や歴史、産業などを調べ、デザインの手掛かりにする。</li> <li>・身近な地域から見つけた形を手がかり連続したパターンを構想</li> <li>・ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。</li> <li>・スタンプを使い、皿や一筆箋、布などへの模様の構成を考える。</li> <li>・完成した作品を実際に使ってみる。</li> </ul>
27	<p>(知及技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。Bア(ア) (思判表力) ●美術作品の鑑賞を通して、作品の良さなどに気づき、自分の見方や感じ方を深めることができる。Bア(イ) (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。(3)</p>	<p>(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などをとらえようとしている。 (思・判・表) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>鑑賞 [考える・描く活動] 『ゲルニカ・明日への願い』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピカソのゲルニカを鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合う。</li> <li>・タブレット端末やワークシートなどを活用し、調べたことを書き込んだり、作品が書かれた背景や作所について調べる。</li> <li>・ゲルニカの主題とは真逆の私たちの望む世界はどんなものかを話し合い共同制作で絵画に表す。</li> </ul>
	<p>(知及技) ●全体のイメージを捉え、線や面などの半による表現を生かし、堀や刷りを工夫して表すことができる。A(1)ア(イ) (思判表力) ●版画の表現の良さや特性を基に班による表現の効果を考え、構想を練ることができる。A(1)ア(ア) (学・人) ●版による表現の特性を生かした創作活動やさまざまな版画の作品の鑑賞に主体的に取り組む、見方や感じ方を深めることができる。(3)・Bア(ア)</p>	<p>(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>絵や彫刻など [描く活動] 『版で表す』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。</li> <li>・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。</li> </ul>
3 学期	<p>18 (知及技) ●構図や色彩なども効果、全体のイメージなどを捉え、や色の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことができる。A(1)ア(ア) (思判表力) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。Aア(ア) (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。(3)・Bア(ア)</p>	<p>(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、表現を工夫し、創造的に表そうとしている。 (思・判・表) ○気持ちなど見えないものから主題を生み出し、表現活動の特性を感じ取り、色彩や形状、組み合わせなどを基に効果的な構想を練っている。 (主学) ○心の中や気持ちを表現する創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>共同制作の魅力 [描く活動・鑑賞] 『気持ちをあらわす』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見直しをもって制作する。</li> <li>・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<p>※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。</p>			

令和 7 年度 高等部 1年 (I 課程) 保健体育科 保健 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	高等部 1年		現代高等保健体育(大修館書店)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解することができる。 ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践が必要であることを知る。 (思判表力)現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断し、表現することができる。 (学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。	(知・技) ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 (思・判・表)・健康の考え方や、生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (主学)健康の考え方や、生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	1単元 現代社会と健康	1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康
2 学期	14	(知及技)・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になることや薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことを理解することができる。 ・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であることを知る。 ・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解することができる。 (思判表力)現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 (学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。	(知・技)・喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 (思・判・表)・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止や、精神疾患の予防と回復や、感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法について説明している。 (主学)喫煙、飲酒、薬物乱用の防止や、精神疾患の予防と回復や、感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	1単元 現代社会と健康	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防

3 学 期	9	<p>(知及技)・健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが大切であることを理解することができる。</p> <p>(思判表力)現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。</p> <p>(学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技)・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択が必要であることを伝えたり書いたりしている。</p> <p>・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。</p> <p>(思・判・表)・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて考え、生活の質の向上に向けた課題解決の方法を整理している。</p> <p>(主学)健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	1単元 現代社会と健康	<p>18 健康に関する意思決定・行動選択</p> <p>19 健康に関する環境づくり</p>
		<p>(知及技)</p> <p>・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解することができる。</p> <p>・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できることや応急手当には、正しい手順や方法があることを知る。</p> <p>(思判表力)</p> <p>安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。</p> <p>(学・人)</p> <p>安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	<p>(知・技)</p> <p>・事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。</p> <p>・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用が必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを伝えたり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組について答えている。</p> <p>(主学)</p> <p>安全な社会づくりや、応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	2単元 安全な社会生活	<p>1 事故の現状と発生要因</p> <p>2 安全な社会の形成</p> <p>3 交通における安全</p> <p>4 応急手当の意義とその基本</p> <p>5 日常的な応急手当</p> <p>6 心肺蘇生法</p>
	留意点 引継ぎ等				

令和 7 年度 高等部 3年 (I 課程) 保健体育科 保健 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	高等部 3年		現代高等保健体育(大修館書店)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解することができる。 ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践が必要であることを理解することができる。 (思判表力)現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断し、表現することができる。 (学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。	(知・技) ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 (思・判・表)・健康の考え方や、生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (主学)健康の考え方や、生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	1単元 現代社会と健康	1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康
2 学期	14	(知及技)・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になることや薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことを理解することができる。 ・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であることを理解することができる。 ・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解することができる。 (思判表力)現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 (学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。	(知・技)・喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 (思・判・表)・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止や、精神疾患の予防と回復や、感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法について説明している。 (主学)喫煙、飲酒、薬物乱用の防止や、精神疾患の予防と回復や、感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	1単元 現代社会と健康	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防

3 学 期	9	<p>(知及技)・健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが大切であることを理解することができる。</p> <p>(思判表力)現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。</p> <p>(学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技)・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択が必要であることを伝えたり書いたりしている。</p> <p>・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。</p> <p>(思・判・表)・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて考え、生活の質の向上に向けた課題解決の方法を整理している。</p> <p>(主学)健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	1単元 現代社会と健康	<p>18 健康に関する意思決定・行動選択</p> <p>19 健康に関する環境づくり</p>
		<p>(知及技)</p> <p>・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解することができる。</p> <p>・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できることや応急手当には、正しい手順や方法があることを知る。</p> <p>(思判表力)</p> <p>安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。</p> <p>(学・人)</p> <p>安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	<p>(知・技)</p> <p>・事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。</p> <p>・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用が必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを伝えたり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組について答えている。</p> <p>(主学)</p> <p>安全な社会づくりや、応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	2単元 安全な社会生活	<p>1 事故の現状と発生要因</p> <p>2 安全な社会の形成</p> <p>3 交通における安全</p> <p>4 応急手当の意義とその基本</p> <p>5 日常的な応急手当</p> <p>6 心肺蘇生法</p>
	留意点 引継ぎ等				

令和 7 年度 高等部 1 年 (I 課程) 保健体育科 体育 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材		
3/105	高等部 1 年		現代高等保健体育 (大修館書店)		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができる。 (思判表力) 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	(知・技) ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを言ったり書き出したりしている。 (思・判・表) ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 <実生活に生かす運動の計画の行い方の例> ○ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組む。
		(知及技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力) 生涯にわたり運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技) ・球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めている。・自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている。・サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表) 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学) 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行する。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つ。 ・ ボールを相手側のコートの手前の守備のない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込む。
		(知及技) 記録の向上や自己や仲間の課題を解決するなどの楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法で泳ぐことができる。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ルールやマナーを大切にしようとするなど、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保して水泳に取り組むことができる。	(知・技) ・水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習したことを挙げている。 (思・判・表) グループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 (主学) 水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15~50m程度 ・ 流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 イ 平泳ぎ 15~50m程度 ・ 手を前方に大きく伸ばした後に肘を曲げ、加速させながら内側にかき込み、抵抗を減らすために素早く手を前に戻すストロークの動きをすること。 ・ プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むこと。

		<p>(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について知ることができる。  (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。  (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。  (思・判・表) スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。  (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>体育理論 (スポーツの発祥と発展)</p>	<p>1 スポーツの始まりと変遷  ・スポーツがどのように始まったのかを説明する。  2 文化としてのスポーツ  ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明する。</p>
2 学期	41	<p>(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。  (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。  (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。  ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。  (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。  (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	<p>球技</p>	<p>○ゴール型  ・ゴールの枠内にシュートをコントロールする。  ・味方が操作しやすいパスを送る。  ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープする。</p>
		<p>(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けることができる。  (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたことを他者に伝えたり発表したりすることができる。  (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具、自己や他者の安全に留意したりしながら、運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きやマナーを身につけている。  (思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能や態度を見付けている。  (主学) 一人一人の違いに応じた動きや態度、役割を大切にしようとしている。</p>	<p>武道</p>	<p>○空手  ・上段突き、中段突き  ・正面蹴り、足刀蹴り  ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き  ・普及型Ⅰ、Ⅱ</p>
		<p>(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。  (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。  (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。  (思・判・表) スポーツの経済的効果が環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。  (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>体育理論 (スポーツの発祥と発展)</p>	<p>3 オリンピックとパラリンピックの意義  ・オリムピズムとオリンピックの価値について説明する。  4 スポーツが経済に及ぼす効果  ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明する。</p>
3 学期	26	<p>(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。  (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて考えたことを他者に伝えることができる。  (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。</p>	<p>(知・技) ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするために、自己観察や他者観察などを行っている。  ・ボールを相手側のコートに打ち返すことができる。  (思・判・表) 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。  (主学) 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	<p>球技</p>	<p>○ネット型  ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つ。  ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込む。  ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりする。</p>

	<p>(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について知ることができる。  (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。  (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。  (思・判・表) スポーツの高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。  (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>体育理論 (スポーツの発祥と発展)</p>	<p>5 スポーツの高潔さとドーピング  ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明する。  6 スポーツと環境  ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明する。</p>
<p>留意点  引継ぎ等</p>	<p>・体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り単元・題材の目標は(中3高1程度)と記載している。  ・体づくり運動は年間を通して行う。</p>			

令和 7 年度 高等部 3 年 (I 課程) 保健体育科 体育 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
3/105	高等部 3 年		現代高等保健体育(大修館書店)		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	38	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができる。 (思判表力) 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	(知・技)・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを言ったり書き出したりしている。 (思・判・表) ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 <実生活に生かす運動の計画の行い方の例> ○ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組む。
		(知及技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力) 生涯にわたり運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めている。・自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている。・サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表) 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学) 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行する。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つ。 ・ ボールを相手側のコートの手前の守備のない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込む。
		(知及技) 記録の向上や自己や仲間の課題を解決するなどの楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法で泳ぐことができる。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) ルールやマナーを大切にしようとするなど、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保して水泳に取り組むことができる。	(知・技)・水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習したことを挙げている。 (思・判・表) グループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 (主学) 水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15～50m程度 ・ 流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 イ 平泳ぎ 15～50m程度 ・ 手を前方に大きく伸ばした後に肘を曲げ、加速させながら内側にかき込み、抵抗を減らすために素早く手を前に戻すストロークの動きをすること。 ・ プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むこと。

		<p>(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について知ることができる。  (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。  (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。  (思・判・表) スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。  (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>体育理論 (スポーツの発祥と発展)</p>	<p>1 スポーツの始まりと変遷  ・スポーツがどのように始まったのかを説明する。  2 文化としてのスポーツ  ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明する。</p>
2 学期	43	<p>(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。  (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。  (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。  ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。  (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。  (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	<p>球技</p>	<p>○ゴール型  ・ゴールの枠内にシュートをコントロールする。  ・味方が操作しやすいパスを送る。  ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープする。</p>
		<p>(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けることができる。  (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたことを他者に伝えたり発表したりすることができる。  (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具、自己や他者の安全に留意したりしながら、運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きやマナーを身につけている。  (思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能や態度を見付けている。  (主学) 一人一人の違いに応じた動きや態度、役割を大切にしようとしている。</p>	<p>武道</p>	<p>○空手  ・上段突き、中段突き  ・正面蹴り、足刀蹴り  ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き  ・普及型Ⅰ、Ⅱ</p>
		<p>(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。  (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。  (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。  (思・判・表) スポーツの経済的効果が環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。  (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>体育理論 (スポーツの発祥と発展)</p>	<p>3 オリンピックとパラリンピックの意義  ・オリムピズムとオリンピックの価値について説明する。  4 スポーツが経済に及ぼす効果  ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明する。</p>
3 学期	24	<p>(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。  (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて考えたことを他者に伝えることができる。  (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。</p>	<p>(知・技) ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするために、自己観察や他者観察などを行っている。  ・ボールを相手側のコートに打ち返すことができる。  (思・判・表) 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。  (主学) 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	<p>球技</p>	<p>○ネット型  ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つ。  ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込む。  ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりする。</p>

	<p>(知及技) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について知ることができる。  (思判表力) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。  (学・人) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。  (思・判・表) スポーツの高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。  (主学) スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>体育理論 (スポーツの発祥と発展)</p>	<p>5 スポーツの高潔さとドーピング  ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明する。  6 スポーツと環境  ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明する。</p>
<p>留意点  引継ぎ等</p>	<p>・体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り単元・題材の目標は(中3高1程度)と記載している。  ・体づくり運動は年間を通して行う。</p>			

令和7年度 高等部1年（I 課程） 家庭科 家庭基礎 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部1学年		高等学校家庭基礎/第一学習社/他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。 (思判表力)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (学・人)様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	(知及技)「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解する。 (思判表力)自分の家庭生活にはどのような課題があるか日常生活の中で見つけたし、それを解決するために、知識・技能を活用することができる。 (学・人)生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決をはかる。	(知・技)「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解している。 (思・判・表)自分の家庭生活にはどのような課題があるか日常生活の中で見つけたし、それを解決するために、知識・技能を活用できる。 (主学)生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決しようとしている。 課題提出 (家庭基礎の授業全体を通じて行う)	家庭科の学び方-学習から実践へ ・ホームプロジェクトとは	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	21	(知及技)現代の食生活の実情を知り、健康で安全な食生活を営むための基本を理解する。 (思判表力)食事の役割を認識し、食が心身を育むうえで大切なものであることを理解するとともに、人間の体の生理的周期を知り、なぜ朝食をきちんととる必要があるかを考える。 (学・人)日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学が意欲を高める。	(知・技)今の食事の摂取の仕方が将来の健康に影響をおよぼすことが理解できている。 (思・判・表)自分の食生活を振り返り、課題を見出し、見直しをはかることができる。 (主学)日常生活と食事とのかわりについて関心を持ち、食事の働きとその重要性を理解しようとする姿勢を備えている。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート(活動) ・プリント学習 ・ノート提出	5章 食生活をつくる 第1節 人の一生と食事	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
2 学期	30	(知及技)食品の選択・計量・器具の扱い、および包丁の使い方、野菜の切り方など調理の基本技術を習得する。 (思判表力)ライフステージごとに、必要な栄養素や嗜好の違いを理解する。 (学・人)健康の維持・増進、体の成長のために必要な食事摂取基準について理解する。	(知・技)計量器の使い方、包丁の扱い方、野菜の切り方、調理器具の使い方など基本操作をこなすことができる。 (思・判・表)家族それぞれの栄養と嗜好を知り、家族の食事の工夫を考えることができる。 (主学)健康を維持し生活習慣病を予防するうえで、1日にどれくらいのエネルギーと栄養をとるのが適切か、日常から関心を持ち、心がけている。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート(活動) ・プリント学習 ・ノート提出	第4節 食生活をデザインする	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
		(知及技)主菜と主食をまとめてとれる、ごはんやめん類を主体とした単品料理の作り方を身につける。 (思判表力)栄養バランスの観点から、サラダなどの副菜を考える。 (学・人)食品の栄養的特性や加工・調理について関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	(知・技)献立作成や調理の基本を身につけ、食生活の充実・向上のための基本的技能を発揮することができる。 (思・判・表)課題意識を持って調理実習に臨み、栄養バランス、おいしさ、食べやすさの面で適切に思考・判断できる。 (主学)食品の栄養的特性や加工・調理について関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ・授業態度 ・発問評価 ・活動 ・プリント学習 ・ノート提出	調理実習	○安全に考慮しながら調理実習を行う。 ○栄養のバランスを考えた副菜を考える。

2 学 期	<p>(知及技) 食中毒にはどのような種類があるかを知り、食品の取り扱い、手の清潔、台所や調理器具の衛生などの面での注意事項を理解する。 (思判表力) 食品表示、栄養表示を通して内容を読みとり、身体状況に応じた食品を選択できるようにする。 (学・人) 健康な生活を送るうえで必要な栄養素とそのおもな働きについて理解する。</p>	<p>(知・技) 食中毒の原因と予防法など、食品の安全・衛生にかかわる基本的な知識が身につける。 (思・判・表) 実際に食品についてのマークを探して、意味を確認し、今後の食品の選択に活かすことができる。 (主学) 私たちの生命と健康を維持するうえで必要な栄養素について理解しようとする意欲が見られる。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート (活動) ・プリント学習 ・ノート提出</p>	<p>第2節 栄養と食品 第3節 食生活の安全のために</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。</p>
3 学 期	<p>(知及技) 日本各地に見られる特徴的な住まいを比較し、住まいは、条件の異なる地域の気候や風土に応じてつくられたことを理解することができる。 (思判表力) 家族の生活行為と住空間とのかかわり、生活行為や動作に必要な広さ、動線などについて理解する。 (学・人) 自分が住んでいる自宅の部屋構成を平面図に書き、望ましい間取りを考えることができる。</p>	<p>(知・技) 家族の生活行為と住空間とのかかわり、生活行為や動作に必要な広さ、動線などについて理解している。 (思・判・表) 快適な住空間づくりについて、自分なりの課題を見つけ、その解決のために取り組んでいる。 (主学) 自宅の部屋構成や住空間での家具・用具の配置について関心を持ち、改善する意欲を持っている。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート (活動) ・プリント学習 ・ノート提出</p>	<p>7章 住生活をつくる 1節 人の一生と住まい ・平面図の活用</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。</p>
	<p>(知及技) 日照・採光・通風・温度・湿度・遮音などの住環境が、健康な生活に大きな影響を与えることを理解し、衛生的な室内環境を整備するためには、どのような工夫が必要か考える。 (学・人) 地震などの自然災害や、火災などの人的災害への対策について考える。 (思判表力) さまざまな生活条件を持った人びとが、安心して住めるよりよい住環境について考える。</p>	<p>(知・技) ダニ・カビの発生防止、ヒートショック対策など、住まいの衛生管理に関する基礎的知識、基本的技能を身につけている。 (主学) 住居内での災害防止・安全管理に関心を持ち、住まいの工夫、充実・向上に意欲的に取り組むことができる。 (思・判・表) 地域の住環境について住みやすさ、地域コミュニティの観点から充実・向上に取り組むことができる。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート (活動) ・プリント学習 ・ノート提出</p>	<p>7章 住生活をつくる 第1節 人の一生と住まい 第2節 住生活の計画と選択</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。</p>
	<p>(知及技) 財・サービスの購入はすべて契約であることを知り、契約の重要性を理解している。 (思判表力) 消費者は、生産者や行政に自分たちの意向を伝え、その実現に向けての義務と責任があることを理解する。 (学・人) 家庭経済と国民経済とのかかわり、経済社会の変化が家庭経済にさまざまな影響をおよぼしていることを理解し、家庭の経済計画、予算計画の必要性を認識する。</p>	<p>(知・技) 契約を解除するには、どうすればよいか、その具体的な方法や手順を身につけている。 (思・判・表) 被害にあったときや困ったときに、どのように解決すればよいか、相談先などを知っており、適切に思考・判断できる。 (主学) 自分の将来について関心を持ち、その充実・向上をめざして生活設計・経済設計を实践する態度を身につけている。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート (活動) ・プリント学習 ・ノート提出</p>	<p>2節 消費者問題を考える ・契約とは ・消費者問題はなぜ起こるのか ・多様化する支払い方法とリスク防止 ・消費者の自立と行政の支援</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。</p>
留意 点 引 継 ぎ 等	<p>生徒の実態や理解度に合わせ、内容を柔軟に対応する。 年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。</p>			

令和7年度 高等部3年（I 課程） 家庭科 家庭基礎 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部3学年		高等学校家庭基礎/第一学習社/他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。 (思判表力)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (学・人)様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	(知及技)「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解する。 (思判表力)自分の家庭生活にはどのような課題があるか日常生活の中で見つけたし、それを解決するために、知識・技能を活用することができる。 (学・人)生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決をはかる。	(知・技)「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解している。 (思・判・表)自分の家庭生活にはどのような課題があるか日常生活の中で見つけたし、それを解決するために、知識・技能を活用できる。 (主学)生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決しようとしている。 課題提出 (家庭基礎の授業全体を通じて行う)	家庭科の学び方-学習から実践へ ・ホームプロジェクトとは	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
	21	(知及技)現代の食生活の実情を知り、健康で安全な食生活を営むための基本を理解する。 (思判表力)食事の役割を認識し、食が心身を育むうえで大切なものであることを理解するとともに、人間の体の生理的周期を知り、なぜ朝食をきちんととる必要があるかを考える。 (学・人)日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学が意欲を高める。	(知・技)今の食事の摂取の仕方が将来の健康に影響をおよぼすことが理解できている。 (思・判・表)自分の食生活を振り返り、課題を見出し、見直しをはかることができる。 (主学)日常生活と食事とのかかわりについて関心を持ち、食事の働きとその重要性を理解しようとする姿勢を備えている。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート(活動) ・プリント学習 ・ノート提出	5章 食生活をつくる 第1節 人の一生と食事	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
2 学期	30	(知及技)食品の選択・計量・器具の扱い、および包丁の使い方、野菜の切り方など調理の基本技術を習得する。 (思判表力)ライフステージごとに、必要な栄養素や嗜好の違いを理解する。 (学・人)健康の維持・増進、体の成長のために必要な食事摂取基準について理解する。	(知・技)計量器の使い方、包丁の扱い方、野菜の切り方、調理器具の使い方など基本操作をこなすことができる。 (思・判・表)家族それぞれの栄養と嗜好を知り、家族の食事の工夫を考えることができる。 (主学)健康を維持し生活習慣病を予防するうえで、1日にどれくらいのエネルギーと栄養をとるのが適切か、日常から関心を持ち、心がけている。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート(活動) ・プリント学習 ・ノート提出	第4節 食生活をデザインする	○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。
		(知及技)主菜と主食をまとめてとれる、ごはんやめん類を主体とした単品料理の作り方を身につける。 (思判表力)栄養バランスの観点から、サラダなどの副菜を考える。 (学・人)食品の栄養的特性や加工・調理について関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	(知・技)献立作成や調理の基本を身につけ、食生活の充実・向上のための基本的技能を発揮することができる。 (思・判・表)課題意識を持って調理実習に臨み、栄養バランス、おいしさ、食べやすさの面で適切に思考・判断できる。 (主学)食品の栄養的特性や加工・調理について関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ・授業態度 ・発問評価 ・活動 ・プリント学習 ・ノート提出	調理実習	○安全に考慮しながら調理実習を行う。 ○栄養のバランスを考えた副菜を考える。

2 学 期	<p>(知及技) 食中毒にはどのような種類があるかを知り、食品の取り扱い、手の清潔、台所や調理器具の衛生などの面での注意事項を理解する。 (思判表力) 食品表示、栄養表示を通して内容を読みとり、身体状況に応じた食品を選択できるようにする。 (学・人) 健康な生活を送るうえで必要な栄養素とそのおもな働きについて理解する。</p>	<p>(知・技) 食中毒の原因と予防法など、食品の安全・衛生にかかわる基本的な知識が身につける。 (思・判・表) 実際に食品についてのマークを探して、意味を確認し、今後の食品の選択に活かすことができる。 (主学) 私たちの生命と健康を維持するうえで必要な栄養素について理解しようとする意欲が見られる。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート (活動) ・プリント学習 ・ノート提出</p>	<p>第2節 栄養と食品 第3節 食生活の安全のために</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。</p>
3 学 期	<p>(知及技) 日本各地に見られる特徴的な住まいを比較し、住まいは、条件の異なる地域の気候や風土に応じてつくられたことを理解することができる。 (思判表力) 家族の生活行為と住空間とのかかわり、生活行為や動作に必要な広さ、動線などについて理解する。 (学・人) 自分が住んでいる自宅の部屋構成を平面図に書き、望ましい間取りを考えることができる。</p>	<p>(知・技) 家族の生活行為と住空間とのかかわり、生活行為や動作に必要な広さ、動線などについて理解している。 (思・判・表) 快適な住空間づくりについて、自分なりの課題を見つけ、その解決のために取り組んでいる。 (主学) 自宅の部屋構成や住空間での家具・用具の配置について関心を持ち、改善する意欲を持っている。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート (活動) ・プリント学習 ・ノート提出</p>	<p>7章 住生活をつくる 1節 人の一生と住まい ・平面図の活用</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。</p>
	<p>(知及技) 日照・採光・通風・温度・湿度・遮音などの住環境が、健康な生活に大きな影響を与えることを理解し、衛生的な室内環境を整備するためには、どのような工夫が必要か考える。 (学・人) 地震などの自然災害や、火災などの人的災害への対策について考える。 (思判表力) さまざまな生活条件を持った人びとが、安心して住めるよりよい住環境について考える。</p>	<p>(知・技) ダニ・カビの発生防止、ヒートショック対策など、住まいの衛生管理に関する基礎的知識、基本的技能を身につけている。 (主学) 住居内での災害防止・安全管理に関心を持ち、住まいの工夫、充実・向上に意欲的に取り組むことができる。 (思・判・表) 地域の住環境について住みやすさ、地域コミュニティの観点から充実・向上に取り組むことができる。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート (活動) ・プリント学習 ・ノート提出</p>	<p>7章 住生活をつくる 第1節 人の一生と住まい 第2節 住生活の計画と選択</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。</p>
	<p>(知及技) 財・サービスの購入はすべて契約であることを知り、契約の重要性を理解している。 (思判表力) 消費者は、生産者や行政に自分たちの意向を伝え、その実現に向けての義務と責任があることを理解する。 (学・人) 家庭経済と国民経済とのかかわり、経済社会の変化が家庭経済にさまざまな影響をおよぼしていることを理解し、家庭の経済計画、予算計画の必要性を認識する。</p>	<p>(知・技) 契約を解除するには、どうすればよいか、その具体的な方法や手順を身につけている。 (思・判・表) 被害にあったときや困ったときに、どのように解決すればよいか、相談先などを知っており、適切に思考・判断できる。 (主学) 自分の将来について関心を持ち、その充実・向上をめざして生活設計・経済設計を实践する態度を身につけている。 ・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート (活動) ・プリント学習 ・ノート提出</p>	<p>2節 消費者問題を考える ・契約とは ・消費者問題はなぜ起こるのか ・多様化する支払い方法とリスク防止 ・消費者の自立と行政の支援</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、本時の内容を理解する。 ○気づいたことや自分の考えをワークシートを記入しながら学習を深める。</p>
留意 点 引 継 ぎ 等	<p>生徒の実態や理解度に合わせ、内容を柔軟に対応する。 年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。</p>			

令和7年度 高等学部1年 I課程 英語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
2/70	高等部1年 I課程			Amity English Communication I (開隆堂)	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技) 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) be動詞・一般動詞の現在形について理解できる (思判表力) お気に入りの場所について自身の考えや気持ちを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) be動詞・一般動詞の現在形を理解し、4技能において活用している (思・判・表) お気に入りの場所について、考えや気持ちを伝えている (主学) 本文の景色の説明を主体的に読み取ろうとし、自身のお気に入りの場所について伝えようとしている	Lesson 1 The Beautiful Senery (7h) be動詞・一般動詞の現在形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の現在形を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身のお気に入りの場所について紹介する
		(知及技) be動詞・一般動詞の過去形を理解できる (思判表力) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) be動詞・一般動詞の過去形を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えている。 (主学) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 2 My Best Friends (7h) be動詞・一般動詞の過去形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の過去形を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の友人について紹介する
		(知及技) 進行形や助動詞を理解できる (思判表力) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えることができる (主学)コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする	(知・技) 進行形や助動詞を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりしようとしている	Lesson 3 Love for Dance (7h) 進行形/助動詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④進行形・助動詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤お気に入りの写真を紹介したり、説明する
		(知及技) be動詞/一般動詞/進行形/助動詞について理解できる	(知・技) be動詞/一般動詞/進行形/助動詞を理解し、4技能において活用している	FOCUS+ 1 (1h) be動詞/一般動詞/進行形/助動詞	①ワークシートを用いて、be動詞/一般動詞/進行形/助動詞について理解する

2 学 期	27	(知及技) 不定詞を理解できる (思判表力) 好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 進行形や助動詞を理解できる (思判表力) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えることができる (主学) コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする	Lesson 4 Endangered Species (7h) 不定詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④不定詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の好きな動物について紹介・説明する
		(知及技) 動名詞を理解できる (思判表力) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 動名詞を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 5 The History of Chocolate (7h) 動名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④動名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の健康に関する取り組みについて紹介する
		(知及技) 比較表現を理解できる (思判表力) 学校での生活や好きな教科について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 比較を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 学校での生活や好きな教科について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	Lesson 6 Our School (7h) 比較(原級・比較級・最上級)	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④比較(比較級・最上級・原級)を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の学校について紹介する
		(知及技) 現在完了表現を理解できる (思判表力) セレンディピティや自身の発明について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 現在完了を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) セレンディピティや自身の発明について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 7 Serendipity(7h) 現在完了	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④現在完了を使い、会話したり、書いたりする ⑤自分で発明品を考え、簡単な説明することができる
3 学 期	18	(知及技) 受動態を理解できる (思判表力) 誰かからもらった大切なものやサプールのについて自身の考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 受動態を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) だれかからもらった大切なものやサプールのについて自身の考えや気持ちを話して伝えている (主学) だれかからもらった大切なものやサプールのについて自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 8 Sapeurs (7h) 受動態	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④受動態を使い、会話したり、書いたりする ⑤サプールのについて自身の意見をまとめる
		(知及技) 分詞の形容詞的用法を理解できる (思判表力) 自身の好きな映画について紹介できる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 分詞の形容詞的用法を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 9 Special Makeup Effects (7h) 分詞の形容詞的用法	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④分詞の形容詞的用法を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の好きな映画について紹介する

3 学 期	18	(知及技) 関係代名詞を理解できる (思判表力) 将来の夢や世界の平和に寄与した日本人について紹介することができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 関係代名詞を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 将来の夢や平和に寄与した日本人などについて、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 将来の夢や平和に寄与した日本人などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 10 Clean Water (7h) 関係代名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④関係代名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の将来の夢や世界の平和に寄与した日本人について紹介する
		(知及技) 不定詞/動名詞/比較表現を理解できる	(知・技) 不定詞/動名詞/比較を理解し、4技能において活用できる	FOCUS+ 2 (1h) 不定詞/動名詞/比較	①ワークシートを用いて、be動詞/一般動詞/進行形/助動詞について理解する
		(知及技) 買い物の表現を理解できる (思判表力) スキットを考え、行うことができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 買い物の表現を理解し、やりとりを実際に行うことができる (主学) スキット等に参加し、自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	COMMUNICATE+ 2 (1h) 買物の場面で、客と店員とのやり取り	①ワークシートを用いて、買い物の場面でのやりとりについて学習する ②店員役とお客さん役に分かれ、スキットを行う
		(知及技) 道案内の表現を理解できる (思判表力) スキットを考え、行うことができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 道案内の表現を理解し、やりとりを実際に行うことができる (主学) スキット等に参加し、自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	COMMUNICATE+ 1 (1h) 道案内	①ワークシートを用いて、道案内の場面でのやりとりについて学習する ②スキットを行う
留意点 引継ぎ等	年間を通して、ALTとのコミュニケーション活動を行う 英語検定の取り組み及び調べ学習においては、タブレット端末のアプリケーションを活用する				

令和7年度 高等学部3年（I課程） 英語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2/70	高等部3年			Amity English Communication I (開隆堂)	
<p>目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等                  評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度</p>					
年間目標	<p>(知及技)                  外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。                  (思判表力)                  コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。                  (学・人)                  外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) be動詞・一般動詞の現在形について理解できる (思判表力) お気に入りの場所について自身の考えや気持ちを伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) be動詞・一般動詞の現在形を理解し、4技能において活用している (思・判・表) お気に入りの場所について、考えや気持ちを伝えている (主学) 本文の景色の説明を主体的に読み取ろうとし、自身のお気に入りの場所について伝えようとしている	Lesson 1 The Beautiful Senery (7h) be動詞・一般動詞の現在形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の現在形を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身のお気に入りの場所について紹介する
		(知及技) be動詞・一般動詞の過去形を理解できる (思判表力) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) be動詞・一般動詞の過去形を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えている。 (主学) 日常生活や自身の友人について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 2 My Best Friends (7h) be動詞・一般動詞の過去形	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④be動詞・一般動詞の過去形を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の友人について紹介する
		(知及技) 進行形や助動詞を理解できる (思判表力) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えることができる (主学)コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする	(知・技) 進行形や助動詞を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりしようとしている	Lesson 3 Love for Dance (7h) 進行形/助動詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④進行形・助動詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤お気に入りの写真を紹介したり、説明する
		(知及技) be動詞／一般動詞／進行形／助動詞について理解できる	(知・技) be動詞/一般動詞/進行形/助動詞を理解し、4技能において活用している	FOCUS+ 1 (1h) be動詞／一般動詞／進行形／助動詞	①ワークシートを用いて、be動詞／一般動詞／進行形／助動詞について理解する

2 学期	30	(知及技) 不定詞を理解できる (思判表力) 好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 進行形や助動詞を理解できる (思判表力) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えることができる (主学) コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする	Lesson 4 Endangered Species (7h) 不定詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④不定詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の好きな動物について紹介・説明する
		(知及技) 動名詞を理解できる (思判表力) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 動名詞を理解し、4技能において活用している (思・判・表) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 5 The History of Chocolate (7h) 動名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④動名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の健康に関する取り組みについて紹介する
		(知及技) 比較表現を理解できる (思判表力) 学校での生活や好きな教科について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 比較を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 学校での生活や好きな教科について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	Lesson 6 Our School (7h) 比較(原級・比較級・最上級)	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④比較(比較級・最上級・原級)を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の学校について紹介する
		(知及技) 現在完了表現を理解できる (思判表力) セレンディピティや自身の発明について、考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 現在完了を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) セレンディピティや自身の発明について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 7 Serendipity(7h) 現在完了	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④現在完了を使い、会話したり、書いたりする ⑤自分で発明品を考え、簡単な説明することができる
3 学期	18	(知及技) 受動態を理解できる (思判表力) 誰かからもらった大切なものやサプールのについて自身の考えや気持ちを話して伝えることができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 受動態を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) だれかからもらった大切なものやサプールのについて自身の考えや気持ちを話して伝えている (主学) だれかからもらった大切なものやサプールのについて自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 8 Sapeurs (7h) 受動態	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④受動態を使い、会話したり、書いたりする ⑤サプールのについて自身の意見をまとめる
		(知及技) 分詞の形容詞的用法を理解できる (思判表力) 自身の好きな映画について紹介できる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 分詞の形容詞的用法を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 9 Special Makeup Effects (7h) 分詞の形容詞的用法	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④分詞の形容詞的用法を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の好きな映画について紹介する

3 学 期	18	(知及技) 関係代名詞を理解できる (思判表力) 将来の夢や世界の平和に寄与した日本人について紹介することができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 関係代名詞を理解し、4技能において活用できる (思・判・表) 将来の夢や平和に寄与した日本人などについて、考えや気持ちを話して伝えている (主学) 将来の夢や平和に寄与した日本人などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている	Lesson 10 Clean Water (7h) 関係代名詞	①ワークシートを活用して、本文読解を行う ②本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出文法事項の意味・形・使い方を理解する ③本文の内容を捉え、文脈の中で既習・新出単語の意味・使い方を理解する ④関係代名詞を使い、会話したり、書いたりする ⑤自身の将来の夢や世界の平和に寄与した日本人について紹介する
		(知及技) 不定詞/動名詞/比較表現を理解できる	(知・技) 不定詞/動名詞/比較を理解し、4技能において活用できる	FOCUS+ 2 (1h) 不定詞/動名詞/比較	①ワークシートを用いて、be動詞/一般動詞/進行形/助動詞について理解する
		(知及技) 買い物の表現を理解できる (思判表力) スキットを考え、行うことができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 買い物の表現を理解し、やりとりを実際に行うことができる (主学) スキット等に参加し、自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	COMMUNICATE+ 2 (1h) 買物の場面で、客と店員とのやり取り	①ワークシートを用いて、買い物の場面でのやりとりについて学習する ②店員役とお客さん役に分かれ、スキットを行う
		(知及技) 道案内の表現を理解できる (思判表力) スキットを考え、行うことができる (学・人) 積極的に自身の考えや気持ちを伝えるなど、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 道案内の表現を理解し、やりとりを実際に行うことができる (主学) スキット等に参加し、自身の考えや気持ちを話して伝えようとしている	COMMUNICATE+ 1 (1h) 道案内	①ワークシートを用いて、道案内の場面でのやりとりについて学習する ②スキットを行う
留意点 引継ぎ等	年間を通して、ALTとのコミュニケーション活動を行う 英語検定の取り組み及び調べ学習においては、タブレット端末のアプリケーションを活用する				

令和7年度 高等部 1年 ( I 課程 ) 情報科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部 1年		高等学校 情報 I

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (思判表力) 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・SNSの利便性について具体的に理解できるようにする。 ・コミュニケーションにおけるインターネットの特性を理解できるようにする。 ・情報社会とは何かについて理解できるようにする。 ・メディアの種類と情報の特性を理解できるようにする。 ・情報セキュリティを高めるためにどのような方法があるか理解できるようにする。 ・個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解できるようにする。 ・個人情報や知的財産権、産業財産権は法律によって扱い方が定められていることを理解できるようにする。 ・著作物、著作権、著作者人格権、著作隣接権について理解できるようにする。 ・情報通信技術の発達による社会の変化や新たな課題について理解できるようにする。  (思判表力) ・SNSの長所・短所について例をあげて説明できるようにする。 ・スマートフォンやSNSの活用について考えることができるようにする。 ・情報の特性を観点に分けて説明することができるようにする。 ・どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断できるようにする。 ・リスクに備える方法を適切に表現できるようにする。 ・知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか、具体例とともに表現することができるようにする。 ・場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断することができるようにする。 ・情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え、表現することができるようにする。  (学・人) ・SNSの長所・短所について例をあげて説明できるようにする。 ・スマートフォンやSNSの活用について考えることができるようにする。 ・情報の特性を観点に分けて説明することができるようにする。 ・どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断できるようにする。 ・リスクに備える方法を適切に表現できるようにする。 ・知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか、具体例とともに表現することができるようにする。 ・場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断することができるようにする。 ・情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え、表現することができるようにする。	(知・技) ・SNSの利便性について具体的に理解しようとしている。 ・コミュニケーションにおけるインターネットの特性を理解している。 ・情報社会とは何かについて理解している。 ・メディアの種類と情報の特性を理解している。 ・情報セキュリティを高めるためにどのような方法があるか理解している。 ・個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解している。 ・個人情報や知的財産権、産業財産権は法律によって扱い方が定められていることを理解しようとしている。 ・著作物、著作権、著作者人格権、著作隣接権について理解しようとしている。 ・情報通信技術の発達による社会の変化や新たな課題について理解している。  (思・判・表) ・SNSの長所・短所について例をあげて説明している。 ・スマートフォンやSNSの活用について考えようとしている。 ・情報の特性を観点に分けて説明している。 ・どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断しようとしている。 ・リスクに備える方法を適切に表現している。 ・知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか、具体例とともに表現している。 ・場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断しようとしている。 ・情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え、表現している。	【単元1】 情報社会とわたしたち  「情報社会を見渡してみよう」  ①SNSの普及と情報モラル ②情報社会とは ③大切な情報を守るために ④情報社会を支える法律 ⑤著作権に関する法律 ⑥情報通信技術で変わる社会	【単元1】 情報社会とわたしたち  「情報社会を見渡してみよう」  ・ワークシート ・実習 ・検索・話し合い ・ペーパーテスト、ワークシート ・ブレインストーミングとKJ法で問題を発見しよう  ・情報の整理・分析を通して解決策を検討し、問題解決に向けた提案をプレゼンする  ・発表したことをレポートにまとめる

	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのメディアの特徴について理解できるようにする。</li> <li>ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解できるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアの活用方法と注意点を理解できるようにする。</li> <li>情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解できるようにする。</li> <li>情報を伝える手段であるポスター、Webによる表現の特徴を理解できるようにする。</li> <li>色についての基礎知識を理解できるようにする。</li> <li>情報デザインが人や社会に果たす役割を理解できるようにする。</li> <li>問題の発見、解決のための情報収集の手法について理解できるようにする。</li> <li>相互評価・自己評価・改善の方法について理解できるようにする。</li> </ul>	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのメディアの特徴について理解している。</li> <li>ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解している。</li> <li>ソーシャルメディアの活用方法と注意点を理解している。</li> <li>情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解している。</li> <li>情報を伝える手段であるポスター、Webによる表現の特徴を理解している。</li> <li>色についての基礎知識を理解している。</li> <li>情報デザインが人や社会に果たす役割を理解している。</li> <li>問題の発見、解決のための情報収集の手法について理解している。</li> <li>相互評価・自己評価・改善の方法について理解している。</li> </ul>	<p>【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」</p> <p>第1節 メディアとコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コミュニケーションとメディアの変遷</li> <li>②コミュニケーション手段の多様化</li> <li>③インターネット上のコミュニケーションの特性</li> <li>④ソーシャルメディアの活用と注意点</li> </ul> <p>第2節 情報デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デザインの基本を見てみよう</li> <li>②情報デザイン</li> <li>③情報を伝えるさまざまな手段</li> <li>④誰にとってもわかりやすい情報デザインの工夫</li> <li>⑤情報デザインの流れ</li> </ul>	<p>【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」</p> <p>第1節 メディアとコミュニケーション</p> <p>第2節 情報デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>実習</li> <li>検索・話し合い</li> <li>ペーパーテスト、ワークシート</li> <li>文化祭のポスター作り       <ol style="list-style-type: none"> <li>ポスターを研究しよう</li> <li>ポスターを企画しよう</li> <li>ポスターを制作しよう</li> <li>自己評価から改善につなげよう</li> <li>発表し、相互評価をしよう</li> </ol> </li> </ul>
	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集計表の作成に必要な処理について考察できるようにする。</li> <li>収集した情報から、解決策を考えることができるようにする。</li> <li>調査の結果と分析をもとに、提案の内容を考察できるようにする。</li> <li>効果的なスライドの表現を考察することができるようにする。</li> <li>他の発表を適切に評価し改善案を考察することができるようにする。</li> <li>コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明できるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアが社会に与える影響を考察することができるようにする。</li> <li>実際の場面で、どのようなコミュニケーション手段を用いればよいかを判断することができるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアの活用法について、発信者・受信者の双方の立場に立って考えることができるようにする。</li> <li>身近にあるポスターを使って情報を伝えるためのデザインの工夫について考えることができるようにする。</li> <li>ユニバーサルデザイン、ユーザビリティの視点から、改善案を提案し、表現することができるようにする。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットの登場によるコミュニケーションのあり方の変化について、主体的に自分の考えを深めることができるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアが社会に与える影響について調べ、考えを深めることができるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し、よりよい活用法を探ろうとすることができるようにする。</li> <li>表現の違いによってどのように印象が変わるかについて考えようとすることができるようにする。</li> <li>身近なポスターやWebサイトから、情報を伝えるための工夫を見つけようとすることができるようにする。</li> <li>ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとすることができるようにする。</li> <li>評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとすることができるようにする。</li> </ul>	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集計表の作成に必要な処理について考察している。</li> <li>収集した情報から、解決策を考察することができる。</li> <li>調査の結果と分析をもとに、提案の内容を考察している。</li> <li>効果的なスライドの表現を考察することができる。</li> <li>他の発表を適切に評価し改善案を考察することができる。</li> <li>コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明することができる。</li> <li>ソーシャルメディアが社会に与える影響を考察することができる。</li> <li>実際の場面で、どのようなコミュニケーション手段を用いればよいかを判断することができる。</li> <li>ソーシャルメディアの活用法について、発信者・受信者の双方の立場に立って考えることができる。</li> <li>身近にあるポスターを使って情報を伝えるためのデザインの工夫について考えることができる。</li> <li>ユニバーサルデザイン、ユーザビリティの視点から、改善案を提案し、表現することができる。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットの登場によるコミュニケーションのあり方の変化について、主体的に自分の考えを深めることができる。</li> <li>ソーシャルメディアが社会に与える影響について調べ、考えを深めることができる。</li> <li>ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し、よりよい活用法を探ろうとすることができる。</li> <li>表現の違いによってどのように印象が変わるかについて考えようとすることができる。</li> <li>身近なポスターやWebサイトから、情報を伝えるための工夫を見つけようとすることができる。</li> <li>ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとすることができる。</li> <li>評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとすることができる。</li> </ul>		
	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログとデジタルの特徴を理解できるようにする。</li> <li>2進法による表現と情報量の単位について理解できるようにする。</li> <li>文字や音をデジタル化する手順を標準化、量子化、符号化を含めて理解できるようにする。</li> <li>動画のデータ量を計算する方法を理解できるようにする。</li> <li>データを圧縮する方法と特徴を理解できるようにする。</li> </ul>	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログとデジタルの特徴を理解している。</li> <li>2進法による表現と情報量の単位について理解している。</li> <li>文字や音をデジタル化する手順を標準化、量子化、符号化を含めて理解している。</li> <li>動画のデータ量を計算する方法を理解している。</li> <li>データを圧縮する方法と特徴を理解している。</li> </ul>	<p>【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」</p> <p>第3節 情報のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルデータと2進法</li> <li>②文字・音のデジタル化のしくみ</li> <li>③画像のデジタル化のしくみ</li> <li>④動画のデジタル化のしくみ</li> <li>⑤圧縮のしくみ</li> </ul>	<p>【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」</p> <p>第3節 情報のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>実習</li> <li>検索・話し合い</li> <li>ペーパーテスト、ワークシート</li> <li>実習 コンピュータを使わずに情報科学を学んでみよう</li> <li>1 文字を数であらわしてみよう</li> </ul>

<p>2 学期</p>	<p>27</p> <p>(思判表力) ・数を2進法, 10進法, 16進法で表現することができるようにする。 ・デジタル化された画像のファイルサイズを色, 解像度, 階調の観点から考察できるようにする。 ・動画を圧縮する方法について考察できるようにする。 ・目的に応じた適切な圧縮方法を考え, 表現することができるようにする。</p> <p>(学・人) ・データの種類を主体的に区別できるようにする。 ・デジタル化や2進法に関心を持てるようにする。 ・動画のデジタル化のしくみに関心を持ち, 実習に主体的に取り組めるようにする。 ・画像を別々のファイル形式で保存したときのファイルサイズを比較できるようにする。</p> <p>(知及技) ・コンピュータのしくみについて理解できるようにする。 ・ハードウェアの役割について理解できるようにする。 ・プログラムが実行される流れを理解できるようにする。 ・CPUで行われる計算の特徴について理解できるようにする。 ・コンピュータは決められたアルゴリズムの通りに命令を実行していることを理解できるようにする。 ・コンピュータ内蔵の機器にプログラムが組み込まれていることを理解できるようにする。 ・Scratchを用いたプログラムの基本構造やプログラムの変数と処理の流れについて理解できるようにする。 ・効率のよいプログラミングの考え方, 構造化とオブジェクト指向の考え方について理解できるようにする。</p> <p>(思判表力) ・作業効率が上がる方法について考えることができるようにする。 ・プログラム処理のようすを表現することができるようにする。 ・効率よく結果を出すために, 条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察できるようにする。 ・アルゴリズムをフローチャートでわかりやすく表現できるようにする。 ・プログラムとデータの関係について考察できるようにする。</p> <p>(学・人) ・話し合いに主体的に参加できるようにする。 ・コンピュータについての知識を深める。 ・CPUの機能を主体的に調べることができるようにする。 ・普段の生活の中から, フローチャートであらわす手順やアルゴリズムを表現する図法について調べることができるようにする。 ・さまざまなプログラミング言語について関心を持ち, その特徴について調べることができるようにする。 ・Scratchでプログラムを組むことに主体的に取り組もうとしている。 ・プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えることができるようにする。</p>	<p>(思判表力) ・数を2進法, 10進法, 16進法で表現することができる。 ・デジタル化された画像のファイルサイズを色, 解像度, 階調の観点から考察している。 ・動画を圧縮する方法について考察している。 ・目的に応じた適切な圧縮方法を考え, 表現することができる。</p> <p>(主学) ・データの種類を主体的に区別しようとしている。 ・デジタル化や2進法に関心を持とうとしている。 ・動画のデジタル化のしくみに関心を持ち, 実習に主体的に取り組もうとしている。 ・画像を別々のファイル形式で保存したときのファイルサイズを比較しようとしている。</p> <p>(知及技) ・コンピュータのしくみについて理解している。 ・ハードウェアの役割について理解している。 ・プログラムが実行される流れを理解している。 ・CPUで行われる計算の特徴について理解している。 ・コンピュータは決められたアルゴリズムの通りに命令を実行していることを理解している。 ・コンピュータ内蔵の機器にプログラムが組み込まれていることを理解している。 ・Scratchを用いたプログラムの基本構造やプログラムの変数と処理の流れについて理解している。 ・効率のよいプログラミングの考え方, 構造化とオブジェクト指向の考え方について理解している。</p> <p>(思判表力) ・作業効率が上がる方法について考えている。 ・プログラム処理のようすを表現することができる。 ・効率よく結果を出すために, 条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察している。 ・アルゴリズムをフローチャートでわかりやすく表現することができる。 ・プログラムとデータの関係について考察している。</p> <p>(主学) ・話し合いに主体的に参加しようとしている。 ・コンピュータについての知識を深めようとしている。 ・CPUの機能を主体的に調べようとしている。 ・普段の生活の中から, フローチャートであらわす手順やアルゴリズムを表現する図法について調べようとしている。 ・さまざまなプログラミング言語について関心を持ち, その特徴について調べようとしている。 ・Scratchでプログラムを組むことに主体的に取り組もうとしている。 ・プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えようとしている。</p>	<p>【単元3】コンピュータとプログラミング</p> <p>第1節 コンピュータのしくみ</p> <p>① コンピュータの基本的な構成</p> <p>② CPUとメインメモリ</p> <p>③ CPUの演算のしくみ</p> <p>第2節 アルゴリズムとプログラム</p> <p>① ものごとの手順とアルゴリズム</p> <p>② アルゴリズムを図式化してみよう</p> <p>③ プログラムとプログラミング言語</p> <p>④ プログラムの構造</p> <p>⑤ プログラムを改善するときの考え方</p> <p>⑥ プログラミングスタイルの変化</p> <p>第2節 アルゴリズムとプログラム</p> <p>① ものごとの手順とアルゴリズム</p> <p>② アルゴリズムを図式化してみよう</p> <p>③ プログラムとプログラミング言語</p> <p>④ プログラムの構造</p> <p>⑤ プログラムを改善するときの考え方</p> <p>⑥ プログラミングスタイルの変化</p>	<p>2 絵を数であらわしてみよう</p> <p>3 身近な題材でデータ圧縮をしてみよう</p> <p>【単元3】コンピュータとプログラミング</p> <p>第1節 コンピュータのしくみ</p> <p>第2節 アルゴリズムとプログラム</p> <p>・ワークシート</p> <p>・実習</p> <p>・検索・話し合い</p> <p>・ペーパーテスト, ワークシート</p> <p>実習</p> <p>・アルゴリズムでプログラミングの基礎を体験しよう</p> <p>・身近な手順をフローチャートであらわそう</p> <p>・Scratchでプログラミングをしてみよう</p>
	<p>(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な構成について理解できるようにする。 ・IPアドレス, ドメイン名, プロトコルのしくみやはたらきについて理解できるようにする。 ・サイバー犯罪の種類や被害にあわないためのセキュリティ対策について理解できるようにする。 ・ネットワーク環境について, 機器の接続やセキュリティの確認すべきポイントについて理解できるようにする。 ・情報サービスの実例を理解できるようにする。 ・情報システムにデータベースが欠かせないことを理解できるようにする。</p>	<p>(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な構成について理解している。 ・IPアドレス, ドメイン名, プロトコルのしくみやはたらきについて理解している。 ・サイバー犯罪の種類や被害にあわないためのセキュリティ対策について理解している。 ・ネットワーク環境について, 機器の接続やセキュリティの確認すべきポイントについて理解している。 ・情報サービスの実例を理解している。 ・情報システムにデータベースが欠かせないことを理解している。</p>	<p>【単元4】情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>第1節 情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>①情報通信ネットワーク</p> <p>②データ伝送のしくみ～IPアドレスとプロトコル～</p> <p>③データ伝送のしくみ～WWWと電子メール～</p> <p>④情報セキュリティの重要性～個人認証～</p> <p>⑤情報セキュリティの重要性～暗号化～</p> <p>第2節 情報システムとデータベース</p>	<p>【単元4】情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>第1節 情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>第2節 情報システムとデータベース</p> <p>・ワークシート</p> <p>・実習</p> <p>・検索・話し合い</p> <p>・ペーパーテスト, ワークシート</p> <p>実習</p> <p>・データベースを操作してみよう</p>

3 学期	18	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの基本的な構成について説明できるようにする。</li> <li>・サイバー犯罪に対する個人と組織としてのセキュリティ対策について説明できるようにする。</li> <li>・LANの接続に必要な機器を正しく選ぶことができるようにする。</li> <li>・情報サービスにはどのような情報システムが必要か考えることができるようにする。</li> <li>・実例に応じてどのようなデータベースをつくり、どのように操作してデータを取り出すか考えることができるようにする。</li> </ul> <p>(主・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身のまわりにあるネットワーク用の機器について関心を持つことができるようにする。</li> <li>・サイバー犯罪にあわないようにするためにどのような対策をとればよいのか考えることができるようにする。</li> <li>・情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用することができるようにする。</li> <li>・家庭内LANの利用に関する問題点について主体的に自分の考えを深めることができるようにする。</li> <li>・情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めることができるようにする。</li> <li>・データベースが必要となる場面やその構築例について自分の考えを深めることができるようにする。</li> </ul>	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの基本的な構成について説明することができる。</li> <li>・サイバー犯罪に対する個人と組織としてのセキュリティ対策について説明することができる。</li> <li>・LANの接続に必要な機器を正しく選ぶことができる。</li> <li>・情報サービスにはどのような情報システムが必要か考えている。</li> <li>・実例に応じてどのようなデータベースをつくり、どのように操作してデータを取り出すか考えている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身のまわりにあるネットワーク用の機器について関心を持っている。</li> <li>・サイバー犯罪にあわないようにするためにどのような対策をとればよいのか考えようとしている。</li> <li>・情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用しようとしている。</li> <li>・家庭内LANの利用に関する問題点について主体的に自分の考えを深めようとしている。</li> <li>・情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めようとしている。</li> <li>・データベースが必要となる場面やその構築例について自分の考えを深めようとしている。</li> </ul>	<p>データベース</p> <p>①情報サービスとそれを支える情報システム</p> <p>②データベース</p> <p>③データの形式とデータモデル</p>
留意点 引継ぎ等	<p>教育課程で情報Ⅰが、1～3年に設定されており、3年間で実施することになっている      令和4年度は3単位（1～3年各1単位）、令和5年度は3単位（1～3年各1単位）、令和6年度6単位（1～3年各2単位）      令和6年度は、2年Ⅰ課程とⅡ課程Aを合同で実施 令和7年度は6単位（1～3年各2単位）      ※標準単位2単位（70時間）で実施する内容を記載している</p>			

令和7年度 高等部 3年 ( I 課程 ) 情報科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部 3年		高等学校 情報 I

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (思判表力) 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの利便性について具体的に理解できるようにする。</li> <li>コミュニケーションにおけるインターネットの特性を理解できるようにする。</li> <li>情報社会とは何かについて理解できるようにする。</li> <li>メディアの種類と情報の特性を理解できるようにする。</li> <li>情報セキュリティを高めるためにどのような方法があるか理解できるようにする。</li> <li>個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解できるようにする。</li> <li>個人情報や知的財産権、産業財産権は法律によって扱い方が定められていることを理解できるようにする。</li> <li>著作物、著作権、著作者人格権、著作隣接権について理解できるようにする。</li> <li>情報通信技術の発達による社会の変化や新たな課題について理解できるようにする。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの長所・短所について例をあげて説明できるようにする。</li> <li>スマートフォンやSNSの活用について考えることができるようにする。</li> <li>情報の特性を観点に分けて説明することができるようにする。</li> <li>どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断できるようにする。</li> <li>リスクに備える方法を適切に表現できるようにする。</li> <li>知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか、具体例とともに表現することができるようにする。</li> <li>場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断することができるようにする。</li> <li>情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え、表現することができるようにする。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの長所・短所について例をあげて説明できるようにする。</li> <li>スマートフォンやSNSの活用について考えることができるようにする。</li> <li>情報の特性を観点に分けて説明することができるようにする。</li> <li>どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断できるようにする。</li> <li>リスクに備える方法を適切に表現できるようにする。</li> <li>知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか、具体例とともに表現することができるようにする。</li> <li>場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断することができるようにする。</li> <li>情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え、表現することができるようにする。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの利便性について具体的に理解しようとしている。</li> <li>コミュニケーションにおけるインターネットの特性を理解している。</li> <li>情報社会とは何かについて理解している。</li> <li>メディアの種類と情報の特性を理解している。</li> <li>情報セキュリティを高めるためにどのような方法があるか理解している。</li> <li>個人で取り組む情報セキュリティ対策について理解している。</li> <li>個人情報や知的財産権、産業財産権は法律によって扱い方が定められていることを理解しようとしている。</li> <li>著作物、著作権、著作者人格権、著作隣接権について理解しようとしている。</li> <li>情報通信技術の発達による社会の変化や新たな課題について理解している。</li> </ul> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの長所・短所について例をあげて説明している。</li> <li>スマートフォンやSNSの活用について考えようとしている。</li> <li>情報の特性を観点に分けて説明している。</li> <li>どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断しようとしている。</li> <li>リスクに備える方法を適切に表現している。</li> <li>知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか、具体例とともに表現している。</li> <li>場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断しようとしている。</li> <li>情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え、表現している。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの長所・短所について例をあげて説明している。</li> <li>スマートフォンやSNSの活用について考えようとしている。</li> <li>情報の特性を観点に分けて説明している。</li> <li>どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断しようとしている。</li> <li>リスクに備える方法を適切に表現している。</li> <li>知的財産権や産業財産権に含まれる権利にはどのようなものがあるか、具体例とともに表現している。</li> <li>場面に応じて著作物をどのように活用できるか判断している。</li> <li>情報通信技術によって豊かになった社会を持続するためにどうすればよいか考え、表現している。</li> </ul>	<p>【単元1】 情報社会とわたしたち</p> <p>「情報社会を見渡してみよう」</p> <p>①SNSの普及と情報モラル ②情報社会とは ③大切な情報を守るために ④情報社会を支える法律 ⑤著作権に関する法律 ⑥情報通信技術で変わる社会</p>	<p>【単元1】 情報社会とわたしたち</p> <p>「情報社会を見渡してみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>実習</li> <li>検索・話し合い</li> <li>ペーパーテスト、ワークシート</li> <li>ブレインストーミングとKJ法で問題を発見しよう</li> <li>情報の整理・分析を通して解決策を検討し、問題解決に向けた提案をプレゼンする</li> <li>発表したことをレポートにまとめる</li> </ul>

	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのメディアの特徴について理解できるようにする。</li> <li>ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解できるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアの活用方法と注意点を理解できるようにする。</li> <li>情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解できるようにする。</li> <li>情報を伝える手段であるポスター、Webによる表現の特徴を理解できるようにする。</li> <li>色についての基礎知識を理解できるようにする。</li> <li>情報デザインが人や社会に果たす役割を理解できるようにする。</li> <li>問題の発見、解決のための情報収集の手法について理解できるようにする。</li> <li>相互評価・自己評価・改善の方法について理解できるようにする。</li> </ul>	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのメディアの特徴について理解している。</li> <li>ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解している。</li> <li>ソーシャルメディアの活用方法と注意点を理解している。</li> <li>情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解している。</li> <li>情報を伝える手段であるポスター、Webによる表現の特徴を理解している。</li> <li>色についての基礎知識を理解している。</li> <li>情報デザインが人や社会に果たす役割を理解している。</li> <li>問題の発見、解決のための情報収集の手法について理解している。</li> <li>相互評価・自己評価・改善の方法について理解している。</li> </ul>	<p>【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」</p> <p>第1節 メディアとコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コミュニケーションとメディアの変遷</li> <li>②コミュニケーション手段の多様化</li> <li>③インターネット上のコミュニケーションの特性</li> <li>④ソーシャルメディアの活用と注意点</li> </ul> <p>第2節 情報デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デザインの基本を見てみよう</li> <li>②情報デザイン</li> <li>③情報を伝えるさまざまな手段</li> <li>④誰にとってもわかりやすい情報デザインの工夫</li> <li>⑤情報デザインの流れ</li> </ul>	<p>【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」</p> <p>第1節 メディアとコミュニケーション</p> <p>第2節 情報デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>実習</li> <li>検索・話し合い</li> <li>ペーパーテスト、ワークシート</li> <li>文化祭のポスター作り       <ol style="list-style-type: none"> <li>ポスターを研究しよう</li> <li>ポスターを企画しよう</li> <li>ポスターを制作しよう</li> <li>自己評価から改善につなげよう</li> <li>発表し、相互評価をしよう</li> </ol> </li> </ul>
	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集計表の作成に必要な処理について考察できるようにする。</li> <li>収集した情報から、解決策を考えることができるようにする。</li> <li>調査の結果と分析をもとに、提案の内容を考察できるようにする。</li> <li>効果的なスライドの表現を考察することができるようにする。</li> <li>他の発表を適切に評価し改善案を考察することができるようにする。</li> <li>コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明できるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアが社会に与える影響を考察することができるようにする。</li> <li>実際の場面で、どのようなコミュニケーション手段を用いればよいかを判断することができるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアの活用法について、発信者・受信者の双方の立場に立って考えることができるようにする。</li> <li>身近にあるポスターを使って情報を伝えるためのデザインの工夫について考えることができるようにする。</li> <li>ユニバーサルデザイン、ユーザビリティの視点から、改善案を提案し、表現することができるようにする。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットの登場によるコミュニケーションのあり方の変化について、主体的に自分の考えを深めることができるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアが社会に与える影響について調べ、考えを深めることができるようにする。</li> <li>ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し、よりよい活用法を探ろうとすることができるようにする。</li> <li>表現の違いによってどのように印象が変わるかについて考えようとすることができるようにする。</li> <li>身近なポスターやWebサイトから、情報を伝えるための工夫を見つけようとするようにする。</li> <li>ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとするようにする。</li> <li>評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとするようにする。</li> </ul>	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集計表の作成に必要な処理について考察している。</li> <li>収集した情報から、解決策を考察することができる。</li> <li>調査の結果と分析をもとに、提案の内容を考察している。</li> <li>効果的なスライドの表現を考察することができる。</li> <li>他の発表を適切に評価し改善案を考察することができる。</li> <li>コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明することができる。</li> <li>ソーシャルメディアが社会に与える影響を考察することができる。</li> <li>実際の場面で、どのようなコミュニケーション手段を用いればよいかを判断することができる。</li> <li>ソーシャルメディアの活用法について、発信者・受信者の双方の立場に立って考えることができる。</li> <li>身近にあるポスターを使って情報を伝えるためのデザインの工夫について考えることができる。</li> <li>ユニバーサルデザイン、ユーザビリティの視点から、改善案を提案し、表現することができる。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットの登場によるコミュニケーションのあり方の変化について、主体的に自分の考えを深めることができる。</li> <li>ソーシャルメディアが社会に与える影響について調べ、考えを深めることができる。</li> <li>ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し、よりよい活用法を探ろうとすることができる。</li> <li>表現の違いによってどのように印象が変わるかについて考えようとすることができる。</li> <li>身近なポスターやWebサイトから、情報を伝えるための工夫を見つけようとするようにする。</li> <li>ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとするようにする。</li> <li>評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとするようにする。</li> </ul>		
	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログとデジタルの特徴を理解できるようにする。</li> <li>2進法による表現と情報量の単位について理解できるようにする。</li> <li>文字や音をデジタル化する手順を標準化、量子化、符号化を含めて理解できるようにする。</li> <li>動画のデータ量を計算する方法を理解できるようにする。</li> <li>データを圧縮する方法と特徴を理解できるようにする。</li> </ul>	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログとデジタルの特徴を理解している。</li> <li>2進法による表現と情報量の単位について理解している。</li> <li>文字や音をデジタル化する手順を標準化、量子化、符号化を含めて理解している。</li> <li>動画のデータ量を計算する方法を理解している。</li> <li>データを圧縮する方法と特徴を理解している。</li> </ul>	<p>【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」</p> <p>第3節 情報のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルデータと2進法</li> <li>②文字・音のデジタル化のしくみ</li> <li>③画像のデジタル化のしくみ</li> <li>④動画のデジタル化のしくみ</li> <li>⑤圧縮のしくみ</li> </ul>	<p>【単元2】「コミュニケーションと情報デザイン」</p> <p>第3節 情報のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>実習</li> <li>検索・話し合い</li> <li>ペーパーテスト、ワークシート</li> <li>実習 コンピュータを使わずに情報科学を学んでみよう</li> <li>1 文字を数であらわしてみよう</li> </ul>

<p>2 学期</p>	<p>27</p> <p>(思判表力)          ・数を2進法, 10進法, 16進法で表現することができるようにする。          ・デジタル化された画像のファイルサイズを色, 解像度, 階調の観点から考察できるようにする。          ・動画を圧縮する方法について考察できるようにする。          ・目的に応じた適切な圧縮方法を考え, 表現することができるようにする。</p> <p>(学・人)          ・データの種類を主体的に区別できるようにする。          ・デジタル化や2進法に関心を持てるようにする。          ・動画のデジタル化のしくみに関心を持ち, 実習に主体的に取り組めるようにする。          ・画像を別々のファイル形式で保存したときのファイルサイズを比較できるようにする。</p>	<p>(思判表力)          ・数を2進法, 10進法, 16進法で表現することができる。          ・デジタル化された画像のファイルサイズを色, 解像度, 階調の観点から考察している。          ・動画を圧縮する方法について考察している。          ・目的に応じた適切な圧縮方法を考え, 表現することができる。</p> <p>(主学)          ・データの種類を主体的に区別しようとしている。          ・デジタル化や2進法に関心を持とうとしている。          ・動画のデジタル化のしくみに関心を持ち, 実習に主体的に取り組もうとしている。          ・画像を別々のファイル形式で保存したときのファイルサイズを比較しようとしている。</p>		<p>1 身近な題材でデータ圧縮をしてみよう</p> <p>2 絵を数であらわしてみよう</p> <p>3 身近な題材でデータ圧縮をしてみよう</p>
	<p>(知及技)          ・コンピュータのしくみについて理解できるようにする。          ・ハードウェアの役割について理解できるようにする。          ・プログラムが実行される流れを理解できるようにする。          ・CPUで行われる計算の特徴について理解できるようにする。          ・コンピュータは決められたアルゴリズムの通りに命令を実行していることを理解できるようにする。          ・コンピュータ内蔵の機器にプログラムが組み込まれていることを理解できるようにする。          ・Scratchを用いたプログラムの基本構造やプログラムの変数と処理の流れについて理解できるようにする。          ・効率のよいプログラミングの考え方, 構造化とオブジェクト指向の考え方について理解できるようにする。</p> <p>(思判表力)          ・作業効率が上がる方法について考えることができるようにする。          ・プログラム処理のようすを表現することができるようにする。          ・効率よく結果を出すために, 条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察できるようにする。          ・アルゴリズムをフローチャートでわかりやすく表現できるようにする。          ・プログラムとデータの関係について考察できるようにする。</p> <p>(学・人)          ・話し合いに主体的に参加できるようにする。          ・コンピュータについての知識を深める。          ・CPUの機能を主体的に調べることができるようにする。          ・普段の生活の中から, フローチャートであらわす手順やアルゴリズムを表現する図法について調べることができるようにする。          ・さまざまなプログラミング言語について関心を持ち, その特徴について調べることができるようにする。          ・Scratchでプログラムを組むことに主体的に取り組もうとしている。          ・プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えることができるようにする。</p>	<p>(知及技)          ・コンピュータのしくみについて理解している。          ・ハードウェアの役割について理解している。          ・プログラムが実行される流れを理解している。          ・CPUで行われる計算の特徴について理解している。          ・コンピュータは決められたアルゴリズムの通りに命令を実行していることを理解している。          ・コンピュータ内蔵の機器にプログラムが組み込まれていることを理解している。          ・Scratchを用いたプログラムの基本構造やプログラムの変数と処理の流れについて理解している。          ・効率のよいプログラミングの考え方, 構造化とオブジェクト指向の考え方について理解している。</p> <p>(思判表力)          ・作業効率が上がる方法について考えている。          ・プログラム処理のようすを表現することができる。          ・効率よく結果を出すために, 条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察している。          ・アルゴリズムをフローチャートでわかりやすく表現することができる。          ・プログラムとデータの関係について考察している。</p> <p>(主学)          ・話し合いに主体的に参加しようとしている。          ・コンピュータについての知識を深めようとしている。          ・CPUの機能を主体的に調べようとしている。          ・普段の生活の中から, フローチャートであらわす手順やアルゴリズムを表現する図法について調べようとしている。          ・さまざまなプログラミング言語について関心を持ち, その特徴について調べようとしている。          ・Scratchでプログラムを組むことに主体的に取り組もうとしている。          ・プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えようとしている。</p>	<p>【単元3】コンピュータとプログラミング</p> <p>第1節 コンピュータのしくみ</p> <p>① コンピュータの基本的な構成</p> <p>② CPUとメインメモリ</p> <p>③ CPUの演算のしくみ</p> <p>第2節 アルゴリズムとプログラム</p> <p>① ものごとの手順とアルゴリズム</p> <p>② アルゴリズムを図式化してみよう</p> <p>③ プログラムとプログラミング言語</p> <p>④ プログラムの構造</p> <p>⑤ プログラムを改善するときの考え方</p> <p>⑥ プログラミングスタイルの変化</p> <p>第2節 アルゴリズムとプログラム</p> <p>① ものごとの手順とアルゴリズム</p> <p>② アルゴリズムを図式化してみよう</p> <p>③ プログラムとプログラミング言語</p> <p>④ プログラムの構造</p> <p>⑤ プログラムを改善するときの考え方</p> <p>⑥ プログラミングスタイルの変化</p>	<p>【単元3】コンピュータとプログラミング</p> <p>第1節 コンピュータのしくみ</p> <p>第2節 アルゴリズムとプログラム</p> <p>・ワークシート</p> <p>・実習</p> <p>・検索・話し合い</p> <p>・ペーパーテスト, ワークシート</p> <p>実習</p> <p>・アルゴリズムでプログラミングの基礎を体験しよう</p> <p>・身近な手順をフローチャートであらわそう</p> <p>・Scratchでプログラミングをしてみよう</p>
	<p>(知及技)          ・情報通信ネットワークの基本的な構成について理解できるようにする。          ・IPアドレス, ドメイン名, プロトコルのしくみやはたらきについて理解できるようにする。          ・サイバー犯罪の種類や被害にあわないためのセキュリティ対策について理解できるようにする。          ・ネットワーク環境について, 機器の接続やセキュリティの確認すべきポイントについて理解できるようにする。          ・情報サービスの実例を理解できるようにする。          ・情報システムにデータベースが欠かせないことを理解できるようにする。</p>	<p>(知及技)          ・情報通信ネットワークの基本的な構成について理解している。          ・IPアドレス, ドメイン名, プロトコルのしくみやはたらきについて理解している。          ・サイバー犯罪の種類や被害にあわないためのセキュリティ対策について理解している。          ・ネットワーク環境について, 機器の接続やセキュリティの確認すべきポイントについて理解している。          ・情報サービスの実例を理解している。          ・情報システムにデータベースが欠かせないことを理解している。</p>	<p>【単元4】情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>第1節 情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>①情報通信ネットワーク</p> <p>②データ伝送のしくみ～IPアドレスとプロトコル～</p> <p>③データ伝送のしくみ～WWWと電子メール～</p> <p>④情報セキュリティの重要性～個人認証～</p> <p>⑤情報セキュリティの重要性～暗号化～</p> <p>第2節 情報セキュリティ</p>	<p>【単元4】情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>第1節 情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>第2節 情報システムとデータベース</p> <p>・ワークシート</p> <p>・実習</p> <p>・検索・話し合い</p> <p>・ペーパーテスト, ワークシート</p> <p>実習</p> <p>・データベースを操作してみよう</p>

3 学期	18	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの基本的な構成について説明できるようにする。</li> <li>・サイバー犯罪に対する個人と組織としてのセキュリティ対策について説明できるようにする。</li> <li>・LANの接続に必要な機器を正しく選ぶことができるようにする。</li> <li>・情報サービスにはどのような情報システムが必要か考えることができるようにする。</li> <li>・実例に応じてどのようなデータベースをつくり、どのように操作してデータを取り出すか考えることができるようにする。</li> </ul> <p>(主・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身のまわりにあるネットワーク用の機器について関心を持つことができるようにする。</li> <li>・サイバー犯罪にあわないようにするためにどのような対策をとればよいのか考えることができるようにする。</li> <li>・情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用することができるようにする。</li> <li>・家庭内LANの利用に関する問題点について主体的に自分の考えを深めることができるようにする。</li> <li>・情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めることができるようにする。</li> <li>・データベースが必要となる場面やその構築例について自分の考えを深めることができるようにする。</li> </ul>	<p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの基本的な構成について説明することができる。</li> <li>・サイバー犯罪に対する個人と組織としてのセキュリティ対策について説明することができる。</li> <li>・LANの接続に必要な機器を正しく選ぶことができる。</li> <li>・情報サービスにはどのような情報システムが必要か考えている。</li> <li>・実例に応じてどのようなデータベースをつくり、どのように操作してデータを取り出すか考えている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身のまわりにあるネットワーク用の機器について関心を持っている。</li> <li>・サイバー犯罪にあわないようにするためにどのような対策をとればよいのか考えようとしている。</li> <li>・情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用しようとしている。</li> <li>・家庭内LANの利用に関する問題点について主体的に自分の考えを深めようとしている。</li> <li>・情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めようとしている。</li> <li>・データベースが必要となる場面やその構築例について自分の考えを深めようとしている。</li> </ul>	<p>データベース</p> <p>①情報サービスとそれを支える情報システム</p> <p>②データベース</p> <p>③データの形式とデータモデル</p>
留意点 引継ぎ等	<p>教育課程で情報Ⅰが、1～3年に設定されており、3年間で実施することになっている      令和4年度は3単位（1～3年各1単位）、令和5年度は3単位（1～3年各1単位）、令和6年度6単位（1～3年各2単位）      令和6年度は、2年Ⅰ課程とⅡ課程Aを合同で実施 令和7年度は6単位（1～3年各2単位）      ※標準単位2単位（70時間）で実施する内容を記載している</p>			

令和7年度 高等部1年（I課程） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2/70	1学年			自主教材	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・事前に学んだことを実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力) ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 (学・人) ・積極的に就業体験に参加しようとする態度をもつことができる。	(知・技) ・就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解している。 (思・判・表) ・まわりの状況を判断し、自らの課題を見つけている。 ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとることができる。 (主学) ・就業体験の事前学習に積極的に取り組もうとしている。 ・就業体験において、担当者からの指導・助言を受け止め行動しようとしている。	・就業体験 ・キャリア教育推進週間 ・キャリアパスポート見直し ・自分の事を知ろう ・私のトリセツ ・自分の夢希望	・就業体験事前・事後学習 ・名刺、名札作り ・マナー指導 ・キャリア週間の取り組み
		(知及技) ・校外学習の意義を理解する。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 (学・人) ・実践的な集団行動をしようすることができる。	(知・技) ・他者の立場を考え、集団で行動することの意味を理解している。 ・校外学習に向けた準備をしている。 (思・判・表) ・意見を出し合っよりよい方法を導き出している。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート振り返り	・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する。
2 学期	27	(知及技) ・様々な分野の本に触れるなかで、多様な価値観を学ぶことができる。 (思判表力) ・好きな本の良さを伝えることができる。 (学・人) ・紹介された作品に興味を示して読書しようとする態度をもつ。	(知・技) ・図書館の活用方法について理解している。 ・おすすめ本の紹介等、様々な読書の楽しみ方を理解している。 (思・判・表) ・好きな本の良さを他者に伝えるように話したり書きまとめている。 (主学) ・紹介された作品に共感しようとしている。	・読書週間 ・キャリアパスポート見直し	・図書館から1人1冊以上借り、本の紹介や作品に関する感想を述べる。
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合っ決めていく。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス	・森川フェス事前、事後学習 ・森川フェス参加
		(知及技) ・生徒会の活動を理解することができる。 (思判表力) ・学校をより良くするための課題をまわりが理解できるように発言することができる。 (学・人) ・自分たちで進んで話し合い、環境をより良くしようすることができる。	(知・技) ・役員としての自覚と責任について理解している。 ・選挙の方法を理解している。 (思・判・表) ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもっている。 ・人の話をしっかり聞いて自分なりの意見をもっている。 (主学) ・投票することで自らの問題として考えようとしている。	・生徒会役員選挙 ・児童生徒会新旧役員交付式 ・キャリアパスポート振り返り	・生徒会役員選挙の企画、実施、開票を行う。 ・学校をより良くするための意見を記入する。
3 学	18	(知及技) ・各教科や行事で身に付けた知識及び技能を活用応用できる。 (思判表力) ・情報を集めながら、校外学習の計画を立てることができる。 (学・人) ・規律や社会とのつながりを感じることができる。	(知・技) ・様々な余暇の過ごし方があることを理解している。 (思・判・表) ・インターネット等を活用し、余暇活動に関する情報を調べている。 (主学) ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート見直し ・おもてなし ・くらしとお金(消費者教育)	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。(外部人材の活用)

期	<p>(知及技)          ・卒業式の意義を理解することができる。          (思判表力)          ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。          (学・人)          ・卒業式にふさわしい身なり、態度で参加しようとする事ができる。</p>	<p>(知・技)          ・卒業式や卒業することの意味を理解している。          (思・判・表)          ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。          (主学)          ・卒業式にふさわしい身なり、態度で参加しようとしている。</p>	<p>・キャリアパスポート          振り返り          ・卒業式</p>	<p>・卒業式に関する取り組み</p>
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 高等部3年（I課程） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2/70	3学年			自主教材	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・事前に学んだことを実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力) ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 (学・人) ・積極的に就業体験に参加しようとする態度をもつ。	(知・技) ・就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解している。 (思・判・表) ・まわりの状況を判断し、自らの課題を見つけている。 ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとっている。 (主学) ・就業体験の事前学習に積極的に取り組もうとしている。 ・就業体験において、担当者からの指導・助言を受け止め行動しようとしている。	・就業体験 ・キャリア教育推進週間 ・キャリアパスポート見直し ・自分の事を知ろう ・私のトリセツ ・自分の夢希望	・就業体験事前・事後学習 ・名刺、名札作り ・マナー指導 ・キャリア週間の取り組み
		(知及技) ・校外学習の意義を理解する。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 (学・人) ・実践的な集団行動をしようすることができる。	(知・技) ・他者の立場を考え、集団で行動することの意味を理解している。 ・校外学習に向けた準備をしている。 (思・判・表) ・意見を出し合っよりよい方法を導き出している。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート振り返り	・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する。
2 学期	27	(知及技) ・様々な分野の本に触れるなかで、多様な価値観を学ぶことができる。 (思判表力) ・好きな本の良さを伝えることができる。 (学・人) ・紹介された作品に興味を示して読書しようとする態度をもつ。	(知・技) ・図書館の活用方法について理解している。 ・おすすめ本の紹介等、様々な読書の楽しみ方を理解している。 (思・判・表) ・好きな本の良さを他者に伝えるように話したり書きまとめている。 (主学) ・紹介された作品に共感しようとしている。	・読書週間 ・キャリアパスポート見直し	・図書館から1人1冊以上借り、本の紹介や作品に関する感想を述べる。
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合っ決めていく。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス	・森川フェス事前、事後学習 ・森川フェス参加
		(知及技) ・生徒会の活動を理解することができる。 (思判表力) ・学校をより良くするための課題をまわりが理解できるように発言することができる。 (学・人) ・自分たちで進んで話し合い、環境をより良くしようすることができる。	(知・技) ・役員としての自覚と責任について理解している。 ・選挙の方法を理解している。 (思・判・表) ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもっている。 ・人の話をしっかり聞いて自分なりの意見をもっている。 (主学) ・投票することで自らの問題として考えようとしている。	・生徒会役員選挙 ・児童生徒会新旧役員交付式 ・キャリアパスポート振り返り	・生徒会役員選挙の企画、実施、開票を行う。 ・学校をより良くするための意見を記入する。
3 学	18	(知及技) ・各教科や行事で身に付けた知識及び技能を活用応用できる。 (思判表力) ・情報を集めながら、校外学習の計画をたてることことができる。 (学・人) ・規律や社会とのつながりを感じることができる。	(知・技) ・様々な余暇の過ごし方があることを理解している。 (思・判・表) ・インターネット等を活用し、余暇活動に関する情報を調べている。 (主学) ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート見直し ・おもてなし ・くらしとお金（消費者教育）	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。（外部人材の活用）

期	<p>(知及技)          ・卒業式の意義を理解することができる。          (思判表力)          ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。          (学・人)          ・卒業式にふさわしい身なり、態度で参加しようとする事ができる。</p>	<p>(知・技)          ・卒業式や卒業することの意味を理解している。          (思・判・表)          ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。          (主学)          ・卒業式にふさわしい身なり、態度で参加しようとしている。</p>	<p>・キャリアパスポート          振り返り          ・卒業式</p>	<p>・卒業式に関する取り組み</p>
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 高等部 1年（I課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
1/35	高等部1年		無し		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思判表力) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生との交流
		(知及技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思判表力) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知及技) ・平和について考えることができる。 (思判表力) ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 (学・人) ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	(知・技) ・ニュース等から平和について学ぼうとしている。 (思・判・表) ・自分ができていることを考えようとしている。 (主学) ・他人事ではなく、自分の事として行動しようとする。	・平和集会 ・平和祈念資料館、ひめゆりの塔見学	・ニュースや新聞、インターネットを通して、世界中で起こっている争いについて調べる。
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・那覇文化芸術劇場「なは一と」、国立劇場おきなわ見学 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・校外学習事前学習 ・学期末反省
2 学期	14	(知及技) ・行事に向けて役割を把握することができる。 (思判表力) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・行事に向けて協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
		(知及技) ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 ・学期を振り返り自己評価できる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 ・しっかり学期の振り返りをしようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・校外学習 ・JICA見学 ・終業式	・校外学習事前学習 ・学期末反省
3 学期	9	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・キャリア教育を振り返ることができる。 ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・客観的に自己評価をすることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・次年度にむけた課題を見つけることができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・キャリアパスポートで振り返ろうとする。 ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・まわりの意見を聞きながらを自己分析をする。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりの意見などを参考にして目標を見つける。 ・周りを意識した行動をしようとする。	・キャリアパスポート振り返り ・校外学習 ・沖縄県立博物館、美術館見学	・ファイルをまとめ、整理する。 ・校外学習事前学習

	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生への門出の言葉を考える事ができる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を祝福する気持ちで式に参加することができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。</li> </ul> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生への門出の言葉を考えようとしている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を祝福する気持ちで参加しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の会場設営、歌の練習。</li> <li>・卒業する先輩への門出の言葉や感謝の思いを伝える。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 高等部 3年（I課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
1/35	高等部3年		無し		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思判表力) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生との交流
		(知及技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思判表力) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知及技) ・平和について考えることができる。 (思判表力) ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 (学・人) ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	(知・技) ・ニュース等から平和について学ぼうとしている。 (思・判・表) ・自分ができていることを考えようとしている。 (主学) ・他人事ではなく、自分の事として行動しようとする。	・平和集会 ・平和祈念資料館、ひめゆりの塔見学	・ニュースや新聞、インターネットを通して、世界中で起こっている争いについて調べる。
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・那覇文化芸術劇場「なは一と」、国立劇場おきなわ見学 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・校外学習事前学習 ・学期末反省
2 学期	14	(知及技) ・行事に向けて役割を把握することができる。 (思判表力) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・行事に向けて協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
3 学期	9	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・キャリア教育を振り返ることができる。 ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・客観的に自己評価をすることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・次年度にむけた課題を見つけることができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・キャリアパスポートで振り返ろうとする。 ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・まわりの意見を聞きながらを自己分析をする。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりの意見などを参考にして目標を見つける。 ・周りを意識した行動をしようとする。	・キャリアパスポート振り返り ・校外学習 ・沖縄県立博物館、美術館見学	・ファイルをまとめ、整理する。 ・校外学習事前学習

	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部3年間で自分自身の頑張ってきたことを振り返り、新しい進路先への新たな目標を考えることができる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や仲間との別れを通して、感謝の気持ちを感じることができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。</li> </ul> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの振りかえり、これからの自分の新しい目標を考えようとしている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの関わりを振り返り、自分の成長を感じることができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の会場設営、歌の練習。</li> <li>・お世話になった先生方へ感謝の思いを伝える。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 高等部 1年（Ⅱ課程Aグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年		ひとりだちするための国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思判表力)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことができる。 (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度をもつ。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	28	(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学・人)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとする態度をもつ。	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して自己紹介をしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話している。 (主学)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。	自分のことを伝えよう	・あいさつの仕方を覚えよう ・自分のことを伝えよう ・電話の使い方を覚えよう
		(知及技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 (思判表力)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 (学・人)接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとする態度をもつ。	(知・技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 (思・判・表)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 (主学)接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。	いろいろな物を読んでみよう	・折り込み広告を読んでみよう ・新聞を読んでみよう ・詩を読んでみよう ・本を読んでみよう
		(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。 (学・人)生活に身近なことわざや慣用句などを知らうとしたり、使おうとしたりする態度をもつ。	(知・技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使っている。 (主学)生活に身近なことわざや慣用句などを知らうとしたり、使おうとしたりしている。	言葉について学習しよう	・言葉について学習しよう ・辞書の使い方を知ろう ・日本語の楽しさにふれよう ・外来語を知ろう
2 学期	32	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学・人)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えようとする態度をもつ。	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打っている。 (思・判・表)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。 (主学)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えようとしている。	いろいろなことを書いてみよう	・日記を書こう ・作文を書こう ・手紙を書こう ・履歴書を書こう
		(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。 (思判表力)社会の中で関わる人の話など、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。 (学・人)社会の中で関わる人の話など、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えようとする態度をもつ。	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話など、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を書きまとめている。 (主学)社会の中で関わる人の話など、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。	インタビューをしよう	・インタビューの準備をしよう ・さあ、インタビューをしよう ・インタビューしたことをまとめよう ・お礼の手紙を書こう

3 学 期		(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思判表力)話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 (学・人)話の中心が明確になるよう話の構成を考えようとする態度をもつ。	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 (思・判・表)話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 (主学)話の中心が明確になるよう話の構成を考えようとしている。	読書発表会をしよう	・発表までの手順を考えよう ・発表の仕方を考えよう
	5	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解することができる。 (思判表力)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (学・人)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとする態度をもつ。	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解している。 (思・判・表)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (主学)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとしている。	日本のことを調べて発表しよう	・日本のことを知ろう ・調べたことを発表するときに気を付けること ・調査、発表メモを作ろう
	5	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解することができる。 (思判表力)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (学・人)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとする態度をもつ。	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解している。 (思・判・表)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (主学)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとしている。	世界のことを調べて発表しよう	・世界のことを知ろう ・調べたことを発表するときは（これまでの学習の振り返り） ・調査、発表メモを作ろう
	留意点 引継ぎ等				

令和7年度 高等部 2年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年		ひとりだちするための国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思判表力)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことができる。 (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度をもつ。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学・人)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとする態度をもつ。	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して自己紹介をしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話している。 (主学)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。	自分のことを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの仕方を覚えよう</li> <li>・自分のことを伝えよう</li> <li>・電話の使い方を覚えよう</li> </ul>
		(知及技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 (思判表力)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 (学・人)接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとする態度をもつ。	(知・技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 (思・判・表)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 (主学)接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。	いろいろな物を読んでみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・折り込み広告を読んでみよう</li> <li>・新聞を読んでみよう</li> <li>・詩を読んでみよう</li> <li>・本を読んでみよう</li> </ul>
		(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。 (学・人)生活に身近なことわざや慣用句などを知らうとしたり、使おうとしたりする態度をもつ。	(知・技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使っている。 (主学)生活に身近なことわざや慣用句などを知らうとしたり、使おうとしたりしている。	言葉について学習しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉について学習しよう</li> <li>・辞書の使い方を知らう</li> <li>・日本語の楽しさにふれよう</li> <li>・外来語を知らう</li> </ul>
2 学期	27	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学・人)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えようとする態度をもつ。	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打っている。 (思・判・表)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。 (主学)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えようとしている。	いろいろなことを書いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を書こう</li> <li>・作文を書こう</li> <li>・手紙を書こう</li> <li>・履歴書を書こう</li> </ul>
		(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。 (思判表力)社会の中で関わる人の話など、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。 (学・人)社会の中で関わる人の話など、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えようとする態度をもつ。	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話など、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を書きまとめている。 (主学)社会の中で関わる人の話など、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。	インタビューをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューの準備をしよう</li> <li>・さあ、インタビューをしよう</li> <li>・インタビューしたことをまとめよう</li> <li>・お礼の手紙を書こう</li> </ul>

3 学 期	10	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (思判表力)話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 (学・人)話の中心が明確になるよう話の構成を考えようとする態度をもつ。	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 (思・判・表)話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 (主学)話の中心が明確になるよう話の構成を考えようとしている。	読書発表会をしよう	・発表までの手順を考えよう ・発表の仕方を考えよう
	10	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解することができる。 (思判表力)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (学・人)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとする態度をもつ。	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解している。 (思・判・表)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (主学)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとしている。	日本のことを調べて発表しよう	・日本のことを知ろう ・調べたことを発表するときに気を付けること ・調査、発表メモを作ろう
	8	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解することができる。 (思判表力)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (学・人)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとする態度をもつ。	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解している。 (思・判・表)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (主学)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとしている。	世界のことを調べて発表しよう	・世界のことを知ろう ・調べたことを発表するときは（これまでの学習の振り返り） ・調査、発表メモを作ろう
	留意点 引継ぎ等				

令和7年度 高等部 1学年 ( II課程A ) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
2/70	高等部1年(II課程A)			「ひとりだちするための社会」(日本教育研究出版)/自作プリント	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、社会の仕組みや働き、歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解できるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、表現できる力を高める。 (学・人) 社会に主体的に関わることを学び、地域社会の一員としての自覚を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	21	(知及技) 社会の中で互いに協力することの大切さや社会生活に必要なきまりや情報を理解することができる。 (思判表力) 社会生活の中で状況を判断し、自分の役割と責任について考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 社会の中で互いに協力することの大切さや社会生活に必要なきまりや情報を理解している。 (思判表) 社会生活の中で状況を判断し、自分の役割と責任について考え、自分の言葉で表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	1 私たちの生活と情報 ①社会参加と決まり ・ 身の回りの地域の安全について ・成年 (大人)になってできること	○学校内外の危険な場所(安全が確保されている場所)の写真を撮り、スライドにまとめる。 ○パワーポイント等を使って、できないについて学び、クイズ形式で内容を理解する。 ○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用する。
		(知及技) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解することができる。 (思判表力) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解できている。 (思判表) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、自分の言葉で表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	2 私たちの国土 ① 世界の中の日本 ② 日本の国土 ③ 沖縄の位置と面積 ④ 自然災害を防ぐ	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
		(知及技) 歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる。 (思判表力) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、世の中の様子の変化を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解している。 (思判表) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、世の中の様子の変化を考え、自分の言葉で表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	3 日本・沖縄の歴史 ① 日本の歴史年表 ② 近代以降の沖縄 ③ 第二次世界大戦を経て ④ 平和な社会をめざす	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。 ●平和学習(沖縄戦の歴史)と関連づけながら、歴史を学ぶ意義や平和とは何か考え、表現することができるようにする。
2 学期	29	(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割について理解することができる。 (思判表力) 生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割について理解しようとしている。 (思判表) 生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、自分の言葉で表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	公共施設の役割 ① 役所 ② 公共の交通機関 ③ 警察と消防 ④ 銀行や郵便局 ⑤ 病院や保健所 ⑥ 仕事や生活の相談 ⑦ ライフイベント	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
		(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる。 (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解できている。 (思判表) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現できている。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	私たちと民主政治 ① 政治の仕組み ② 日本国憲法 ③ 税金 ④ 社会保障	

		<p>(知及技) 日本の食料生産は、自然条件を活かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が生活に果たす役割を考え、自分の言葉で表現することができる。</p> <p>(学・人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。</p>	<p>(知・技) 日本の食料生産は、自然条件を活かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。</p> <p>(思判表) 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が生活に果たす役割を考え、自分の言葉で表現している。</p> <p>(主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>	<p>経劑と生活</p> <p>① 経済活動</p> <p>② 日本の産業</p>	<p>○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。</p>
3 学期	20	<p>(知及技) 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、自分の言葉で表現することができる。</p> <p>(学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。</p>	<p>(知・技) 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。</p> <p>(思判表) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、自分の言葉で表現している。</p> <p>(主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>	<p>世界と日本のつながり</p> <p>① 世界の国々とのつながり</p> <p>② 世界の国々の特徴</p> <p>③ 他の国を調べてみよう</p> <p>④ 国際協力</p> <p>⑤ 環境保全</p> <p>⑥ サステイナブル (持続可能)な社会をめざして</p>	<p>○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。</p>
留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年生徒同士での学習となるため、既習事項が異なる。実態に応じた学習ができるよう配慮する。</li> <li>・教師が作成したスライドを参照したり、iPadやPCなどを使用して調べ学習や発表活動などを行う。</li> <li>・生徒の興味関心を高められるように、歴史資料や関連動画などを活用する。</li> <li>・学校行事や学部行事での学習活動と関連付けさせながら取り組む。</li> <li>・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、ファイル（ワークシート）提出</li> </ul>				

令和7年度 高等部 2 学年 ( II 課程 ) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
2/70	高等部2年		「ひとりだちするための社会」(日本教育研究出版)/自作プリント		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、社会の仕組みや働き、歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解できるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、表現できる力を高める。 (学・人) 社会に主体的に関わることを学び、地域社会の一員としての自覚を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	21	(知及技) 社会の中で互いに協力することの大切さや社会生活に必要なきまりや情報を理解することができる。 (思判表力) 社会生活の中で状況を判断し、自分の役割と責任について考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 社会の中で互いに協力することの大切さや社会生活に必要なきまりや情報を理解している。 (思判表) 社会生活の中で状況を判断し、自分の役割と責任について考え、自分の言葉で表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	1 私たちの生活と情報 ①社会参加と決まり ・ 身の回りの地域の安全について ・成年 (大人)になってできること	○学校内外の危険な場所(安全が確保されている場所)の写真を撮り、スライドにまとめる。 ○パワーポイント等を使って、できないについて学び、クイズ形式で内容を理解する。 ○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用する。
		(知及技) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解することができる。 (思判表力) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解できている。 (思判表) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、自分の言葉で表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	2 私たちの国土 ① 世界の中の日本 ② 日本の国土 ③ 沖縄の位置と面積 ④ 自然災害を防ぐ	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
		(知及技) 歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる。 (思判表力) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、世の中の様子の変化を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解している。 (思判表) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、世の中の様子の変化を考え、自分の言葉で表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	3 日本・沖縄の歴史 ① 日本の歴史年表 ② 近代以降の沖縄 ③ 第二次世界大戦を経て ④ 平和な社会をめざす	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。 ●平和学習(沖縄戦の歴史)と関連づけながら、歴史を学ぶ意義や平和とは何か考え、表現することができるようにする。
2 学期	29	(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割について理解することができる。 (思判表力) 生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割について理解しようとしている。 (思判表) 生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、自分の言葉で表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	公共施設の役割 ① 役所 ② 公共の交通機関 ③ 警察と消防 ④ 銀行や郵便局 ⑤ 病院や保健所 ⑥ 仕事や生活の相談 ⑦ ライフイベント	○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。
		(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができる。 (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現することができる。 (学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解できている。 (思判表) 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、自分の言葉で表現できている。 (主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	私たちと民主政治 ① 政治の仕組み ② 日本国憲法 ③ 税金 ④ 社会保障	

		<p>(知及技) 日本の食料生産は、自然条件を活かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が生活に果たす役割を考え、自分の言葉で表現することができる。</p> <p>(学・人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。</p>	<p>(知・技) 日本の食料生産は、自然条件を活かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。</p> <p>(思判表) 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が生活に果たす役割を考え、自分の言葉で表現している。</p> <p>(主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>	<p>経劑と生活</p> <p>① 経済活動</p> <p>② 日本の産業</p>	<p>○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。</p>
3 学期	20	<p>(知及技) 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、自分の言葉で表現することができる。</p> <p>(学人) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。</p>	<p>(知・技) 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。</p> <p>(思判表) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、自分の言葉で表現している。</p> <p>(主学) 社会に主体的に関わろうとし、学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>	<p>世界と日本のつながり</p> <p>① 世界の国々とのつながり</p> <p>② 世界の国々の特徴</p> <p>③ 他の国を調べてみよう</p> <p>④ 国際協力</p> <p>⑤ 環境保全</p> <p>⑥ サステイナブル (持続可能)な社会をめざして</p>	<p>○学習内容の関連動画教材やワークシートを活用し、本時の内容を理解する。</p>
留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年生徒同士での学習となるため、既習事項が異なる。実態に応じた学習ができるよう配慮する。</li> <li>・教師が作成したスライドを参照したり、iPadやPCなどを使用して調べ学習や発表活動などを行う。</li> <li>・生徒の興味関心を高められるように、歴史資料や関連動画などを活用する。</li> <li>・学校行事や学部行事での学習活動と関連付けさせながら取り組む。</li> <li>・評価方法：授業態度、発問評価、提出課題、ファイル(ワークシート)提出</li> </ul>				

令和 7 年度 高等部 1 年 (Ⅱ 課程A) 数学科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
2/70	高等部 1 年		ひとりだちするための算数・数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。(高等部) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を高める。(高等部) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことをふりかえり、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を高める。(高等部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・授業の流れが理解できる ・コグトレの問題の意味を理解できる ・四則演算ができる (思判表力) ・数え方や計算方法を工夫しミス減らす意識をしながら取り組む (学・人) ・授業の流れに慣れ安心して授業に参加できる	(知・技) ・授業の流れが分かっている ・問題の意味が分かり答えることができる ・四則演算ができています (思・判・表) ・数え方の工夫でミスを減らすよう考えている (主学) ・授業に慣れ、安心して授業参加している。	オリエンテーション ビジョントレーニング コグトレ 四則演算	・1年の大まかな内容の流れ ・1～35まで数える ・記号さがし(数える) ・たし算・引き算・かけ算
		(知及技) ・記号を数えることができる ・ものさしや手、ipadを使って長さを測ることができる ・お金の支払い方がわかる (思判表力) ・手やipadで測定するときにより正確な値に近づけるにはどうしたらよいか考える (学・人) ・正確な値を測定しようとする	(知・技) ・記号を数えることができる ・手やipadを使って長さを測定することができる ・不足なく支払いができています (思・判・表) ・手やipadで測定するとき、より正確な値に近づけるにはどうしたらよいか考える事ができる (主学) ・正確な値を測定しようとしている	ビジョントレーニング コグトレ 長さ① 金銭①	・1～35まで数える ・記号さがし(数える) ・長さの単位の変換 mmとcm ・ipadでの計測 ・お金の計算(合計金額とおつり)
		(知及技) ・あい算ができる ・おつりの小銭の枚数を減らす支払い方がわかる ・電子マネーの活用方法がわかる ・ポイントがどのように付くのかわかる ・消費者金融の注意すべき事がわかる (思判表力) ・おつりの小銭の枚数を減らす方法を考える事ができる ・電子マネーにはどのようなメリットデメリットがあるのか考える事ができる (学・人) ・おつりの小銭を減らそうとする ・電子マネーの活用方法と注意点を知らうとする ・消費者金融を利用しない方法を考えようとする	(知・技) ・あい算を答えることができる ・以前よりも小銭を減らした支払いができています(模擬小銭) ・電子マネーの活用方法が理解できている ・ポイントがどのように付くのか理解できている ・消費者金融の注意すべき事が理解できている (思・判・表) ・おつりの小銭をへらす方法を考えている ・電子マネーにはどのようなメリットデメリットがあるのか考える事ができている (主学) ・おつりの小銭の枚数を減らそうとしている ・電子マネーの活用方法と注意点をしろうとしている ・消費者金融を利用しない方法を考えようとしている	ビジョントレーニング コグトレ かさ① 金銭②	・1～35まで数える ・あい算(数える) ・お金の支払い方(小銭の出し方の工夫) ・電子マネーとポイ活と注意点について ・消費者金融について(お金を借りる大変さ)
		(知及技) ・与えられた図形見ながら同じ図形を模写できる ・学校にある丸・三角・四角の形をしたものを見るける (思判表力) ・形をグループ化してその形の特徴を捉える (学・人) ・いろんな形について知らうとする	(知・技) ・与えられた図形を見ながら同じ図形を模写することができる ・様々な形を見つけることができる (思・判・表) ・それぞれのグループの特徴を捉えることができる (主学) ・いろんな形について知らうとしている	コグトレ 図形	・点つなぎ(写す) ・いろんな図形を探そう ・立体集め
		(知及技) ・数字の場所を覚えて記入できる ・時刻がわかる ・時間の計算を知る (思判表力) ・アナログ時計を活用して時間について考える (学・人) ・何分前何分後をアナログ時計を活用してイメージしようとする	(知・技) ・数字の場所を覚えて記入できている ・時刻を答えることができる ・何分前何分後を答えられる (思・判・表) ・アナログ時計を使って時間を考える事ができる (主学) ・何分前何分後をアナログ時計を活用してイメージしようとしている	コグトレ 時計	・数字はどこ?(覚える) ・時計の読み方 ・時刻と時間

4 学期	27	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記号を数えることができる</li> <li>・バスの利用の仕方を知る</li> <li>(思判表力)</li> <li>・地図検索アプリを活用して学校から佐喜真美術館までのバスの乗り方を考える</li> <li>・自分にとってベストなバス賃の支払い方を考える(現金orオキカ)</li> <li>(学・人)</li> <li>・佐喜真美術館にバスで行く方法を知ろうとする</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記号を数えることができる</li> <li>・バスの利用の仕方を理解している</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・地図検索アプリを活用して学校から佐喜真美術館までのバスの乗り方を考える事ができる</li> <li>・自分にとってベストなバス賃の支払い方を考える事ができる</li> <li>(主学)</li> <li>・バスを利用する方法を知ろうとしている</li> </ul>	<p>コグトレ 公共交通機関の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記号さがし②(数える)</li> <li>・バス賃はいくら?</li> <li>・オキカの使い方</li> <li>・地図検索アプリを活用してバスで佐喜真美術館に行ってみよう(模擬)</li> </ul>
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の場所を覚えて記入できる</li> <li>・調べた物を表にする方法を知る</li> <li>・表からグラフを作成する</li> <li>・結果の大小関係がわかる</li> <li>(思判表力)</li> <li>・どのように表すことで結果がわかりやすいか考える</li> <li>・様々な項目の比較を考える</li> <li>(学・人)</li> <li>・他にどんなグラフの形があるか知ろうとする</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の場所を覚えて記入できている</li> <li>・調べた物を表にすることができている</li> <li>・表から棒グラフを作成することができている</li> <li>・結果の大小関係が理解できている</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・ぱっと見て結果がわかりやすいグラフを考える事ができている</li> <li>・項目の大小関係の比較を考える事ができている</li> <li>(主学)</li> <li>・他にどのようなグラフの形があるのか知ろうとしている</li> </ul>	<p>コグトレ 表とグラフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字はどこ?(覚える)</li> <li>・周りの生徒や先生の好きな物を聞いて、グラフを作ろう</li> </ul>
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた図形を見ながら同じ図形を模写できる</li> <li>・校外学習の予算について知る</li> <li>・予算内にどんなものが購入できるか知る</li> <li>(思判表力)</li> <li>・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるのか考える。</li> <li>・おつりの小銭を少なくする方法を考える</li> <li>(学・人)</li> <li>・お金の支払いをするための工夫をしようとしている</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた図形を見ながら同じ図形を模写できている</li> <li>・校外学習の予算について理解している</li> <li>・予算内にどんなものを購入できるか理解することができる</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるか考えることができる</li> <li>・おつりの小銭を少なくする方法を考える事ができる</li> <li>(主学)</li> <li>・お金の支払い方の工夫をしようとしている</li> </ul>	<p>コグトレ 予算を考えて買い物しよう (校外学習に向けて)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点つなぎ②(写す)</li> <li>・校外学習で何を購入するか考えよう</li> <li>・校外学習でのお金の支払い方について考えよう</li> </ul>
3 学期	18	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳で聞いた情報を覚えて記入できる</li> <li>・映画館まで行く方法を知る</li> <li>・映画を観るまでに必要な流れを知る</li> <li>・必要な予算を知る</li> <li>(思判表力)</li> <li>・移動方法を考える</li> <li>・映画館での飲食代を考える</li> <li>・自分にとってよりよいチケットの購入方法を考える</li> <li>(学・人)</li> <li>・映画館で映画を観る方法を知ろうとする</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳で聞いた情報を覚えて記入できている</li> <li>・映画館まで行く方法を理解できている</li> <li>・映画を観るまでに必要な流れを知ることができる</li> <li>・必要な予算を計算することができている</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・移動方法を考える事ができている</li> <li>・映画館での飲食代を考える事ができている</li> <li>・映画チケット購入方法を考える事ができている</li> <li>(主学)</li> <li>・映画館で映画を観る方法を知ろうとしている</li> </ul>	<p>コグトレ 休日に映画館に出かけよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初とボン(覚える)</li> <li>・見たい映画に間に合わせて移動しよう(模擬)</li> <li>・予算内に飲み物と食べ物を購入しよう(模擬)</li> </ul>
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じイラストを見つけることができる</li> <li>・クッキーを作るために必要な材料や予算を知る</li> <li>(思判表力)</li> <li>・どんな材料がどれだけの分量必要か考える</li> <li>(学・人)</li> <li>・おいしいクッキーを作るために分量をきちんと量ろうとする</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じイラストを見つけることができている</li> <li>・クッキー作成の材料・予算を知ることができている</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・どんな材料がどれだけの分量必要か考える事ができる</li> <li>(主学)</li> <li>・おいしいクッキーを作るため分量をきちんと量ろうとしている</li> </ul>	<p>コグトレ クッキーを作ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ絵はどれ(見つける)</li> <li>・予算から購入できるものを考える</li> <li>・調理実習</li> </ul>
		留意点 引継ぎ等	買い物学習		

令和 7 年度 高等部 2 年 (II 課程A) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部 2 年		ひとりだちするための算数・数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。(高等部) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を高める。(高等部) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことをふりかえり、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を高める。(高等部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・授業の流れが理解できる ・コグトレの問題の意味を理解できる ・四則演算ができる (思判表力) ・数え方や計算方法を工夫しミス減らす意識をしながら取り組む (学・人) ・授業の流れに慣れ安心して授業に参加できる	(知・技) ・授業の流れが分かっている ・問題の意味が分かり答えることができる。 ・四則演算ができています。 (思・判・表) ・数え方の工夫でミスを減らすよう考えている。 (主学) ・授業に慣れ、安心して授業参加している。	オリエンテーション ビジョントレーニング コグトレ 四則演算	・1年の大まかな内容の流れ ・1～35まで数える ・記号さがし(数える) ・たし算・引き算・かけ算
		(知及技) ・記号を数えることができる ・ものさしや手、ipadを使って長さを測ることができる ・お金の支払い方がわかる (思判表力) ・手やipadで測定するときにより正確な値に近づけるにはどうしたらよいか考える (学・人) ・正確な値を測定しようとする	(知・技) ・記号を数えることができる ・手やipadを使って長さを測定することができる ・不足なく支払いができています。 (思・判・表) ・手やipadで測定するとき、より正確な値に近づけるにはどうしたらよいか考える事ができる (主学) ・正確な値を測定しようとしている	ビジョントレーニング コグトレ 長さ① 金銭①	・1～35まで数える ・記号さがし(数える) ・長さの単位の変換 mmとcm ・ipadでの計測 ・お金の計算(合計金額とおつり)
		(知及技) ・あいう算ができる ・おつりの小銭の枚数を減らす支払い方がわかる ・電子マネーの活用方法がわかる ・ポイントがどのように付くのかわかる ・消費者金融の注意すべき事がわかる (思判表力) ・おつりの小銭の枚数を減らす方法を考える事ができる ・電子マネーにはどのようなメリットデメリットがあるのか考える事ができる (学・人) ・おつりの小銭を減らそうとする ・電子マネーの活用方法と注意点を知らうとする ・消費者金融を利用しない方法を考えようとする	(知・技) ・あいう算を答えることができる ・以前よりも小銭を減らした支払いができています(模擬小銭) ・電子マネーの活用方法が理解できている ・ポイントがどのように付くのか理解できている。 ・消費者金融の注意すべき事が理解できている (思・判・表) ・おつりの小銭をへらす方法を考えている ・電子マネーにはどのようなメリットデメリットがあるのか考える事ができている (主学) ・おつりの小銭の枚数を減らそうとしている ・電子マネーの活用方法と注意点をしろうとしている ・消費者金融を利用しない方法を考えようとしている	ビジョントレーニング コグトレ かさ① 金銭②	・1～35まで数える ・あいう算(数える) ・お金の支払い方(小銭の出し方の工夫) ・電子マネーとポイ活と注意点について ・消費者金融について(お金を借りる大変さ)
		(知及技) ・与えられた図形見ながら同じ図形を模写できる ・学校にある丸・三角・四角の形をしたものを見るける (思判表力) ・形をグループ化してその形の特徴を捉える (学・人) ・いろんな形について知らうとする	(知・技) ・与えられた図形を見ながら同じ図形を模写することができる ・様々な形を見つけることができる (思・判・表) ・それぞれのグループの特徴を捉えることができる (主学) ・いろんな形について知らうとしている	コグトレ 図形	・点つなぎ(写す) ・いろんな図形を探そう ・立体集め
		(知及技) ・数字の場所を覚えて記入できる ・時刻がわかる ・時間の計算を知る (思判表力) ・アナログ時計を活用して時間について考える (学・人) ・何分前何分後をアナログ時計を活用してイメージしようとする	(知・技) ・数字の場所を覚えて記入できている ・時刻を答えることができる ・何分前何分後を答えられる (思・判・表) ・アナログ時計を使って時間を考える事ができる (主学) ・何分前何分後をアナログ時計を活用してイメージしようとしている	コグトレ 時計	・数字はどこ?(覚える) ・時計の読み方 ・時刻と時間

4 学期	27	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記号を数えることができる</li> <li>・バスの利用の仕方を知る</li> <li>(思判表力)</li> <li>・地図検索アプリを活用して学校から佐喜真美術館までのバスの乗り方を考える</li> <li>・自分にとってベストなバス賃の支払い方を考える(現金orオキカ)</li> <li>(学・人)</li> <li>・佐喜真美術館にバスで行く方法を知ろうとする</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記号を数えることができる</li> <li>・バスの利用の仕方を理解している</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・地図検索アプリを活用して学校から佐喜真美術館までのバスの乗り方を考える事ができる</li> <li>・自分にとってベストなバス賃の支払い方を考える事ができる</li> <li>(主学)</li> <li>・バスを利用する方法を知ろうとしている</li> </ul>	<p>コグトレ 公共交通機関の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記号さがし②(数える)</li> <li>・バス賃はいくら?</li> <li>・オキカの使い方</li> <li>・地図検索アプリを活用してバスで佐喜真美術館に行ってみよう(模擬)</li> </ul>
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の場所を覚えて記入できる</li> <li>・調べた物を表にする方法を知る</li> <li>・表からグラフを作成する</li> <li>・結果の大小関係がわかる</li> <li>(思判表力)</li> <li>・どのように表すことで結果がわかりやすいか考える</li> <li>・様々な項目の比較を考える</li> <li>(学・人)</li> <li>・他にどんなグラフの形があるか知ろうとする</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の場所を覚えて記入できている</li> <li>・調べた物を表にすることができている</li> <li>・表から棒グラフを作成することができている</li> <li>・結果の大小関係が理解できている</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・ぱっと見て結果がわかりやすいグラフを考える事ができている</li> <li>・項目の大小関係の比較を考える事ができている</li> <li>(主学)</li> <li>・他にどのようなグラフの形があるのか知ろうとしている</li> </ul>	<p>コグトレ 表とグラフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字はどこ?(覚える)</li> <li>・周りの生徒や先生の好きな物を聞いて、グラフを作ろう</li> </ul>
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた図形を見ながら同じ図形を模写できる</li> <li>・校外学習の予算について知る</li> <li>・予算内にどんなものが購入できるか知る</li> <li>(思判表力)</li> <li>・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるのか考える。</li> <li>・おつりの小銭を少なくする方法を考える</li> <li>(学・人)</li> <li>・お金の支払いをするための工夫をしようとしている</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた図形を見ながら同じ図形を模写できている</li> <li>・校外学習の予算について理解している</li> <li>・予算内にどんなものを購入できるか理解することができる</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるか考えることができる</li> <li>・おつりの小銭を少なくする方法を考える事ができる</li> <li>(主学)</li> <li>・お金の支払い方の工夫をしようとしている</li> </ul>	<p>コグトレ 予算を考えて買い物しよう (校外学習に向けて)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点つなぎ②(写す)</li> <li>・校外学習で何を購入するか考えよう</li> <li>・校外学習でのお金の支払い方について考えよう</li> </ul>
3 学期	18	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳で聞いた情報を覚えて記入できる</li> <li>・映画館まで行く方法を知る</li> <li>・映画を観るまでに必要な流れを知る</li> <li>・必要な予算を知る</li> <li>(思判表力)</li> <li>・移動方法を考える</li> <li>・映画館での飲食代を考える</li> <li>・自分にとってよりよいチケットの購入方法を考える</li> <li>(学・人)</li> <li>・映画館で映画を観る方法を知ろうとする</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳で聞いた情報を覚え記入できている</li> <li>・映画館まで行く方法を理解できている</li> <li>・映画を観るまでに必要な流れを知ることができる</li> <li>・必要な予算を計算することができている</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・移動方法を考える事ができている</li> <li>・映画館での飲食代を考える事ができている</li> <li>・映画チケット購入方法を考える事ができている</li> <li>(主学)</li> <li>・映画館で映画を観る方法を知ろうとしている</li> </ul>	<p>コグトレ 休日に映画館に出かけよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初とボン(覚える)</li> <li>・見たい映画に間に合わせて移動しよう(模擬)</li> <li>・予算内に飲み物と食べ物を購入しよう(模擬)</li> </ul>
		<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じイラストを見つけることができる</li> <li>・クッキーを作るために必要な材料や予算を知る</li> <li>(思判表力)</li> <li>・どんな材料がどれだけの分量必要か考える</li> <li>(学・人)</li> <li>・おいしいクッキーを作るために分量をきちんと量ろうとする</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じイラストを見つけることができている</li> <li>・クッキー作成の材料・予算を知ることができている</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・どんな材料がどれだけの分量必要か考える事ができる</li> <li>(主学)</li> <li>・おいしいクッキーを作るため分量をきちんと量ろうとしている</li> </ul>	<p>コグトレ クッキーを作ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ絵はどれ(見つける)</li> <li>・予算から購入できるものを考える</li> <li>・調理実習</li> </ul>
		留意点 引継ぎ等	買い物学習		

令和 7年度 高等部1年（Ⅱ課程A） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2 / 70		高等部1年			くらしに役立つ理科（東洋館出版社）ほか
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 （知及技）天気の変化、動物の誕生、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み及び物の溶け方（均一性含）についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）天気の変化、動物の誕生、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み及び物の溶け方（均一性含）について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につける。（高1段階） （学・人）天気の変化、動物の誕生、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み及び物の溶け方（均一性含）について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につける。（高1段階）					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	（知及技） 気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1段階B4ア） （思判表力） 気象現象の規則性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高1段階B4イ） （学・人） 気象現象の規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高1段階B4ウ）	（知・技） ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解しようとしている。 ・天気の変化は、気象情報を用いて予想できることを理解しようとしている。 ・天気の変化の仕方について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 （思・判・表） ・天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主学） ・天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【天気の変化】 ・雲と天気の変化 ・天気の変化の予想	・時刻を変えて、雲の形や量、動きなどを観測する。 ・天気の変化の仕方を調べるための気象情報の集め方を考え、計画を立てる。 ・数日間の気象情報を集めて天気の変化を調べる。 ・天気を観測したり、気象情報をiPadを活用し集めたりして、明日の天気を予想する。
		（知及技） 動物の誕生についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1段階Aア） （思判表力） 動物の誕生について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高1段階Aイ） （学・人） 動物の誕生について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高1段階Aウ）	（知・技） ・魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子に変化してかえることを理解しようとしている。 ・卵の中の変化について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 ・人は、母体内で成長して生まれることを理解しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、調査などの目的に応じて、資料などを選択して調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 （思・判・表） ・卵の中の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・卵の中の変化について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、調査などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主学） ・卵の中の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・卵の中の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 ・胎児の母体内での成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【動物の誕生】 ・卵の中の成長 ・母体内の成長	・メダカの雌雄の見分け方を知る。 ・メダカの卵の育ち方を予想し、調べる方法を考える。 ・メダカの卵の育ち方について観察し、iPadを活用して記録する。 ・魚の卵の中の変化についてまとめる。 ・人の子どもの母体内での成長について予想し、iPadを活用して調べたことをまとめて発表する。
2 学期	27	月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階B4ア） （思判表力） 月の形の見え方と太陽との位置関係について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高2段階B4イ） （学・人） 月の形の見え方と太陽との位置関係について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高2段階B4ウ）	（知・技） ・月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること理解しようとしている。 ・月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 （思・判・表） ・月の形の見え方について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について、観察、実験などを行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主学） ・月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【月と太陽】 ・月の位置や形と太陽の位置	・月の表面の様子を観測したり、iPadで調べたりする。 ・月の形が日によって変わって見える理由をモデル実験で確かめる。 ・月の見え方と太陽の位置関係に学んだことをまとめる。
		（知及技） 電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1段階Cア） （思判表力） 電流の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身につけることができる。（高1段階Cイ） （学・人） 電流の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高1段階Cウ）	（知・技） ・乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること理解しようとしている。 ・電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録しようとしている。 （思・判・表） ・電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・電流の働きについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 （主学） ・電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【電流の働き】 ・乾電池の数とつなぎ方	・豆電球の明るさやモーターの回り方が何によって変わるのかについて、導入の活動や経験したことを基に予想する。 ・乾電池の数や向きを変えて、豆電球の明るさやモーターの回り方がどう変わるか調べる実験を行う。 ・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについてまとめる。 ・乾電池の向きと、電流の向き、モーターの回る向きとの関係についてまとめる。 ・乾電池2個のつなぎ方を考えて、豆電球の明るさやモーターの回る速さを調べる。 ・「直列つなぎ」と「並列つなぎ」という言葉を使って、乾電池2個のつなぎ方とモーターの回る速さとの関係をまとめる。 ・乾電池2個のつなぎ方によって、モーターが回る速さが違うのはなぜか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・乾電池2個を直列つなぎにしたときと並列つなぎにしたときの電流の大きさを調べる方法を考える。 ・乾電池の数やつなぎ方を変えて、モーターの回る速さと電流の大きさを調べる。 ・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについてまとめる。 ・電流の働きについて、学んだことをまとめる。 ・学んだことを生かして、プロペラカーを作り動かしてみる。

		<p>(知及技)          燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段階Cア)          (思判表力)          燃焼の仕組みについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。(高2段階Cイ)          (学・人)          燃焼の仕組みについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。(高2段階Cウ)</p>	<p>(知・技)          ・燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段階Cア)          (思・判・表)          ・燃焼の仕組みについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。(高2段階Cイ)          (主学)          ・燃焼の仕組みについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。(高2段階Cウ)</p>	<p>【燃焼の仕組み】          ・燃焼の仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集気瓶の中でろうそくを燃やし続けるにはどうすればよいか、調べる方法を考える。</li> <li>・集気瓶の中でろうそくを燃やし続ける方法を調べる。</li> <li>・実験結果を基に、物が燃え続けるにはどのようなことが必要といえるか考える。</li> <li>・物が燃え続けるには、空気が入れ替わる必要があることをまとめる。</li> <li>・空気の成分の変化について問題を見いだす。</li> <li>・物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について、気体検知管や石灰水で調べる。</li> <li>・実験結果を基に、物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について考える。</li> <li>・物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができることをまとめる。</li> <li>・物を燃やしたときの、物や空気の変化について調べる。</li> <li>・物が燃えるときの空気の働きについて、学んだことをまとめる。</li> </ul>
3 学期	18	<p>(知及技)          物の溶け方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高1段階Cア)          (思判表力)          物の溶け方について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。(高1段階Cイ)          (学・人)          物の溶け方について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。(高1段階Cウ)</p>	<p>(知・技)          ・物が水に溶けても、水と物をあわせた重さは変わらないことを理解しようとしている。          ・物が水に溶ける量には、限度があることを理解しようとしている。          ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解しようとしている。          ・物の溶け方について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。          (思・判・表)          ・物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。          ・物の溶け方について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。          (主学)          ・物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。          ・物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>【物の溶け方(均一性含)】          ・重さの保存          ・物が水に溶ける量の限度          ・物が水に溶ける量の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水に溶けて見えなくなった食塩の行方について調べまとめる。</li> <li>・水に物を入れて溶ける様子iPadで撮影し比較する。それらの気付いたことを話し合い、まとめる。</li> <li>・コーヒーシュガーや片栗粉を水に入れて、そのときの様子を観察する。</li> <li>・コーヒーシュガーを入れた液と片栗粉を入れた液を比べて、気づいたことを話し合う。</li> <li>・物が水に溶けることをまとめ、水溶液について知る。</li> <li>・食塩とミョウバンが水に溶ける量には限りがあるかを調べる。</li> <li>・物が水に溶ける量には限りがあることをまとめる。</li> <li>・食塩やミョウバンを更に水に溶かすことができるかについて問題を見だし、調べる方法を考える。</li> <li>・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、食塩とミョウバンの溶ける量を調べる。</li> <li>・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、物の溶ける量についてまとめる。</li> <li>・水溶液を冷やしたり、水溶液から水を蒸発させたりして、溶けている物を取り出すことができるか調べる。</li> <li>・水に溶けた物の取り出し方についてまとめる。</li> <li>・物の溶け方について、学んだことをまとめる。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等					

令和 7年度 高等部 2年（Ⅱ課程A） 理科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		高等部2年			くらしに役立つ理科（東洋館出版社）ほか
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技) 天気の変化、動物の誕生、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み及び物の溶け方（均一性含）についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力) 天気の変化、動物の誕生、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み及び物の溶け方（均一性含）について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につける。（高1段階） (学・人) 天気の変化、動物の誕生、月と太陽、電流の働き、燃焼の仕組み及び物の溶け方（均一性含）について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につける。（高1段階）					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1段階B4ア） (思判表力) 気象現象の規則性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につけることができる。（高1段階B4イ） (学・人) 気象現象の規則性について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高1段階B4ウ）	(知・技) ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解しようとしている。 ・天気の変化は、気象情報を用いて予想できることを理解しようとしている。 ・天気の変化の仕方について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思・判・表) ・天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を 発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【天気の変化】 ・雲と天気の変化 ・天気の変化の予想	・時刻を変えて、雲の形や量、動きなどを観測する。 ・天気の変化の仕方を調べるための気象情報の集め方を考え、計画を立てる。 ・数日間の気象情報を集めて天気の変化を調べる。 ・天気を観測したり、気象情報をiPadを活用し集めたりして、明日の天気を予想する。
		(知及技) 動物の誕生についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1段階Aア） (思判表力) 動物の誕生について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につけることができる。（高1段階Aイ） (学・人) 動物の誕生について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高1段階Aウ）	(知・技) ・魚には雌雄があり、生まれた卵は日を経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解しようとしている。 ・卵の中の変化について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 ・人は、母体内で成長して生まれることを理解しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、調査などの目的に応じて、資料などを選択して調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思・判・表) ・卵の中の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を 発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・卵の中の変化について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を 発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について、調査などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・卵の中の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・卵の中の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 ・胎児の母体内での成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・胎児の母体内での成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【動物の誕生】 ・卵の中の成長 ・母体内の成長	・メダカの雌雄の見分け方を知る。 ・メダカの卵の育ち方を予想し、調べる方法を考える。 ・メダカの卵の育ち方について観察し、iPadを活用して記録する。 ・魚の卵の中の変化についてまとめる。 ・人の子どもの母体内での成長について予想し、iPadを活用して調べたことをまとめて発表する。
2 学期	27	月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高2段階B4ア） (思判表力) 月の形の見え方と太陽との位置関係について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につけることができる。（高2段階B4イ） (学・人) 月の形の見え方と太陽との位置関係について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高2段階B4ウ）	(知・技) ・月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること理解しようとしている。 ・月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。 (思・判・表) ・月の形の見え方について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を 発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について、観察、実験などを行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【月と太陽】 ・月の位置や形と太陽の位置	・月の表面の様子を観測したり、iPadで調べたりする。 ・月の形が日によって変わって見える理由をモデル実験で確かめる。 ・月の見え方と太陽の位置関係に学んだことをまとめる。
		(知及技) 電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。（高1段階Cア） (思判表力) 電流の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につけることができる。（高1段階Cイ） (学・人) 電流の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身につけることができる。（高1段階Cウ）	(知・技) ・乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること理解しようとしている。 ・電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録しようとしている。 (思・判・表) ・電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を 発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。 ・電流の働きについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。 (主学) ・電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【電流の働き】 ・乾電池の数とつなぎ方	・豆電球の明るさやモーターの回り方が何によって変わるのかについて、導入の活動や経験したことを基に予想する。 ・乾電池の数や向きを変えて、豆電球の明るさやモーターの回り方がどう変わるか調べる実験を行う。 ・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについてまとめる。 ・乾電池の向きと、電流の向き、モーターの回る向きとの関係についてまとめる。 ・乾電池2個のつなぎ方を考えて、豆電球の明るさやモーターの回る速さを調べる。 ・「直列つなぎ」と「並列つなぎ」という言葉を使って、乾電池2個のつなぎ方とモーターの回る速さとの関係をまとめる。 ・乾電池2個のつなぎ方によって、モーターが回る速さが違うのはなぜか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・乾電池2個を直列つなぎにしたときと並列つなぎにしたときの電流の大きさを調べる方法を考える。 ・乾電池の数やつなぎ方を変えて、モーターの回る速さと電流の大きさを調べる。 ・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについてまとめる。 ・電流の働きについて、学んだことをまとめる。 ・学んだことを生かして、プロペラカーを作り動かしてみる。

		<p>(知及技)          燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段階Cア)          (思判表力)          燃焼の仕組みについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。(高2段階Cイ)          (学・人)          燃焼の仕組みについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。(高2段階Cウ)</p>	<p>(知・技)          ・燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高2段階Cア)          (思・判・表)          ・燃焼の仕組みについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。(高2段階Cイ)          (主学)          ・燃焼の仕組みについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。(高2段階Cウ)</p>	<p>【燃焼の仕組み】          ・燃焼の仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集気瓶の中でろうそくを燃やし続けるにはどうすればよいか、調べる方法を考える。</li> <li>・集気瓶の中でろうそくを燃やし続ける方法を調べる。</li> <li>・実験結果を基に、物が燃え続けるにはどのようなことが必要といえるか考える。</li> <li>・物が燃え続けるには、空気が入れ替わる必要があることをまとめる。</li> <li>・空気の成分の変化について問題を見いだす。</li> <li>・物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について、気体検知管や石灰水で調べる。</li> <li>・実験結果を基に、物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について考える。</li> <li>・物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができることをまとめる。</li> <li>・物を燃やしたときの、物や空気の変化について調べる。</li> <li>・物が燃えるときの空気の動きについて、学んだことをまとめる。</li> </ul>
3 学期	18	<p>(知及技)          物の溶け方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(高1段階Cア)          (思判表力)          物の溶け方について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付けることができる。(高1段階Cイ)          (学・人)          物の溶け方について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を身に付けることができる。(高1段階Cウ)</p>	<p>(知・技)          ・物が水に溶けても、水と物をあわせた重さは変わらないことを理解しようとしている。          ・物が水に溶ける量には、限度があることを理解しようとしている。          ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解しようとしている。          ・物の溶け方について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録しようとしている。          (思・判・表)          ・物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決しようとしている。          ・物の溶け方について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決しようとしている。          (主学)          ・物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。          ・物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>【物の溶け方(均一性含)】          ・重さの保存          ・物が水に溶ける量の限度          ・物が水に溶ける量の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水に溶けて見えなくなった食塩の行方について調べまとめる。</li> <li>・水に物を入れて溶ける様子iPadで撮影し比較する。それらの気付いたことを話し合い、まとめる。</li> <li>・コーヒーシュガーや片栗粉を水に入れて、そのときの様子を観察する。</li> <li>・コーヒーシュガーを入れた液と片栗粉を入れた液を比べて、気づいたことを話し合う。</li> <li>・物が水に溶けることをまとめ、水溶液について知る。</li> <li>・食塩とミョウバンが水に溶ける量には限りがあるかを調べる。</li> <li>・物が水に溶ける量には限りがあることをまとめる。</li> <li>・食塩やミョウバンを更に水に溶かすことができるかについて問題を見だし、調べる方法を考える。</li> <li>・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、食塩とミョウバンの溶ける量を調べる。</li> <li>・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、物の溶ける量についてまとめる。</li> <li>・水溶液を冷やしたり、水溶液から水を蒸発させたりして、溶けている物を取り出すことができるか調べる。</li> <li>・水に溶けた物の取り出し方についてまとめる。</li> <li>・物の溶け方について、学んだことをまとめる。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部1年 I 課程		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 自己のイメージを個性豊かに音楽表現できるよう創意工夫をすることや、音楽を評価しながらよきや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(学・人) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動を通して、自分なりの音楽表現方法を見つけ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (25)	2	<p>(知及技) 年間の予定や、授業の取り組みを理解できる。色々な表現方法があることを理解できる。</p> <p>(思判表力) 自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表すことができる。</p> <p>(学・人) 年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 年間の予定や授業の取り組みを理解し、色々な表現方法があることを学ぼうとしている。</p> <p>(思・判・表) 自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表そうとしている。</p> <p>(主学)年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の年間予定</li> <li>・自分は何に興味があるのか考えてみよう</li> <li>・興味のあることや自分の得意な表現方法は何か探してみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期ごとの取り組みを知り、年間の目標と計画を立てる。</li> <li>・色々な表現方法の紹介。 (独唱、合唱、独奏、合奏、創作、ダンス、手話他)</li> <li>・自分の興味のあることは何か、得意な表現方法は何か、やりたいことは何かを探す。</li> </ul>
	7	<p>(知及技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、講成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと知覚したこととの関わりについて考え、演奏することができる。</p> <p>(学・人) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に音楽の学習に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、音楽で表している。</p> <p>(思・判・表)音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、講成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと知覚したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>(主学) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう</p> <p>ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドクラップアンサンブル</li> <li>・「Espressivo」</li> <li>・ボディーパーカッション</li> <li>・「Plymouth Rock」</li> <li>・CUPS</li> <li>・「Clap, Tap with CUPS」他</li> </ul>
	8	<p>(知及技) 個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かすことができる。</p> <p>(学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。</p> <p>(主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。</p>	<p>自分で選択した表現方法に取り組んでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定</li> <li>・練習</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<p>生徒が個々が選択した表現活動を個別活動で取り組む。</p> <p>[歌唱] ・発声や音程に気を付けて歌う ・曲をどのように表現したらよいか探る他</p> <p>[器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他</p> <p>[創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他</p> <p>[ダンス] ・選曲、振り付けの創作 ・練習 他</p>
	8	<p>(知及技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かす。</p> <p>(学・人) 集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。</p>	<p>(知・技)他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたよいかを考え演奏に生かそうとしている。</p> <p>(主学) 集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。</p>	<p>皆で合わせて演奏しよう</p>	<p>個々が選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。</p>
9	<p>(知及技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。</p> <p>(思判表力)鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。</p> <p>(学・人) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとする思いを持っている。</p> <p>(主学) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>いろいろなジャンルの音楽を知ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞のルール</li> <li>・曲の聴き方</li> <li>・色々なジャンルの曲を聴く</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	

2 学期 (27)	9	(知及技) 個々人が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協動的に練習へ取り組みむ。	(知・技) 個々人が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協動的に音楽活動へ取り組みようとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう①	新しい表現方法に、個々で選択しチャレンジする。 [歌唱] ・発声や音程に気をつけて歌う。 ・曲をどのように表現したらよいか探る 他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・選曲、ダンスの振り付け ・練習 他
	9	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表できる。 (思判表力) どの発表形態なら自分たちができるか考え、発表方法を工夫しながら、自分たちで発表できる。 (学・人) 主体的・協動的に音楽活動に参加し、積極的に皆の前で発表できる。	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 (思・判・表) どのように演奏するか、どの発表形態なら自分たちができるか等を考え、思いや意図をもって発表方法を工夫し表現できるようにしようとしている。 (主学) 主体的・協動的に音楽活動に参加し、積極的に皆の前で発表しようとしている。	行事に向けた取り組みに参加しよう	皆で合わせたものを発表できるように準備、練習をする。 発表形態を考える。
3 学期 (18)	14	(知及技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的に練習へ取り組みむことができる。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かそうとしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的に練習へ取り組みもうとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう②	新しい表現方法について、皆で話し合い、決める。 今まで取り組んできたことから、皆でやりたいことを決め、練習、発表する。
	4	(知及技) 年間で取り組んだことを振り返ることができる。 (思判表力) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価できる。また、他者についてどのところがよかったのか等の他者評価もできる。 (学・人) 主体的・協動的に音楽活動に参加し、振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ろうとしている。 (思・判・表) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価しようとしている。また、他者についてどのところがよかったのか等の他者評価をしようとしている。 (主学) 主体的・協動的に音楽活動に参加し、振り返りを通して自己評価や他者評価に取り組みもうとしている。	1年間を振り返ってみよう	年間を通して、取り組んだことを振り返り、自己評価、他者評価をする。
留意 点 引継ぎ等		・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。			

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部3年I課程	佐久川智子	なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自己のイメージを個性豊かに音楽表現できるよう創意工夫をすることや、音楽を評価しながらよきや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動を通して、自分なりの音楽表現方法を見つけ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (25)	2	(知及技) 年間の予定や、授業の取り組みを理解できる。色々な表現方法があることを理解できる。 (思判表力) 自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表すことができる。 (学・人) 年間の予定を知り、自分の目標を決定し、意欲的に音楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 年間の予定や授業の取り組みを理解し、色々な表現方法があることを学ぼうとしている。 (思・判・表) 自分のやりたいこと、やってみたいこと、自分ができる表現方法は何かを考え、言葉で表そうとしている。 (主学) 年間の予定を理解し、自分の目標を決定し主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	オリエンテーション ・授業の年間予定 ・自分は何に興味があるのか考えてみよう ・興味のあることや自分の得意な表現方法は何か探してみよう	・学期ごとの取り組みを知り、年間の目標と計画を立てる。 ・色々な表現方法の紹介。 (独唱、合唱、独奏、合奏、創作、ダンス、手話他) ・自分の興味のあることは何か、得意な表現方法は何か、やりたいことは何かを探す。
	7	(知及技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした音楽表現をするための必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、講成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、演奏することができる。 (学・人) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に音楽の学習に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、音楽で表している。 (思・判・表) 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、講成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 (主学) 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	ハンドクラップアンサンブルに挑戦しよう ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう	・ハンドクラップアンサンブル 「Espressivo」 ・ボディーパーカッション 「Plymouth Rock」 ・CUPS 「Clap, Tap with CUPS」他
	8	(知及技) 個々が選択した表現方法で、演奏に必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に練習に取り組むことができる。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協働的に音楽活動へ取り組もうとしている。	自分で選択した表現方法に取り組んでみよう ・目標設定 ・練習 ・振り返り	生徒が個々が選択した表現活動を個別活動で取り組む。 [歌唱] ・発声や音程に気を付けて歌う ・曲をどのように表現したらよいか探る他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・選曲、振り付けの創作 ・練習 他
	8	(知及技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどうしたらよいかを考え演奏に生かす。 (学・人) 集団の中でも主体的・協働的に音楽活動に参加できる。	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 相手の演奏を聴きながら、自分の担当するパートを他者と合わせるためにどのようにしたよいかを考え演奏に生かそうとしている。 (主学) 集団の中でも、主体的・協働的に音楽活動に参加しようとしている。	皆で合わせて演奏しよう	個々が選択した表現方法を合わせて、集団活動へつなげる。
9	(知及技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。自分なりに感じたことを言葉等で表現できる。 (学・人) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとする思いを持っている。 (主学) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろなジャンルの音楽を知ろう	・鑑賞のルール ・曲の聴き方 ・色々なジャンルの曲を聴く ・ワークシート	

2 学期 (27)	9	(知及技) 個々人が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協動的に練習へ取り組みむ。	(知・技) 個々人が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるように、自分のよいところや課題は何かを知り、思いや意図をもって創意工夫をしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的・協動的に音楽活動へ取り組みようとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう①	新しい表現方法に、個々で選択しチャレンジする。 [歌唱] ・発声や音程に気をつけて歌う。 ・曲をどのように表現したらよいか探る 他 [器楽] [リズム] ・奏法について ・楽譜の読み方について ・練習 他 [創作] ・創作内容の選定、決定 ・創作活動 他 [ダンス] ・運曲、ダンスの振り付け ・練習 他
	9	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表できる。 (思判表力) どの発表形態なら自分たちができるか考え、発表方法を工夫しながら、自分たちで発表できる。 (学・人) 主体的・協動的に音楽活動に参加し、積極的に皆の前で発表できる。	(知・技) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、皆と一緒に発表しようとしている。 (思・判・表) どのように演奏するか、どの発表形態なら自分たちができるか等を考え、思いや意図をもって発表方法を工夫し表現できるようにしようとしている。 (主学) 主体的・協動的に音楽活動に参加し、積極的に皆の前で発表しようとしている。	行事に向けた取り組みに参加しよう	皆で合わせたものを発表できるように準備、練習をする。 発表形態を考える。
3 学期 (18)	14	(知及技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習にいかすことができる。 (学・人) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的に練習へ取り組みむことができる。	(知・技) 個々が選択した表現方法で、必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) よりよい表現ができるために創意工夫をし、自分のよいところ、課題は何かを知り、練習に生かそうとしている。 (主学) 自分のイメージしている表現ができるよう、主体的に練習へ取り組みもうとしている。	新しい表現方法にチャレンジしよう②	新しい表現方法について、皆で話し合い、決める。 今まで取り組んできたことから、皆でやりたいことを決め、練習、発表する。
	4	(知及技) 年間で取り組んだことを振り返ることができる。 (思判表力) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価できる。また、他者についてもどんなところがよかったのか等の他者評価もできる。 (学・人) 主体的・協動的に音楽活動に参加し、振り返りを通して、自己評価や他者評価を行うことができる。	(知・技) 年間で取り組んだことを振り返ろうとしている。 (思・判・表) 自分自身で振り返り、できたこと、継続的に取り組んだ方がいいことなどを考え、言葉で表し自己評価しようとしている。また、他者についてもどんなところがよかったのか等の他者評価をしようとしている。 (主学) 主体的・協動的に音楽活動に参加し、振り返りを通して自己評価や他者評価に取り組みもうとしている。	1年間を振り返ってみよう	年間を通して、取り組んだことを振り返り、自己評価、他者評価をする。
留意 点 引継ぎ等		・生徒の実態に応じて弾力的に教材を精選して取り組んでいく。			

tokushi2715

令和7年度 高等部 1年(Ⅱ課程A) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者		
2/70	高等部1年				
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間 目標	(知及技)生徒の実態に応じて、創造的な視点について理解し、発想や構想を工夫し、創造的に表すことができる。高等部(1段階) (思判表力)感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で工夫し表現することができる。高等部(1段階) (学・人)美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。高等部(1段階)□ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。高等部1段階Aア(イ) (思判表力) ●身近な風景を見つめ、感じ取った特徴、想像したことを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。高等部1段階Bア(ア)	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。  (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し構想を練っている。  (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取ることができている。	絵や彫刻など [描く活動] 『身近な風景を描く』	・身近な風景をよく見たて特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・水彩画の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(知及技) ●形や色彩材料などの働きについて理解することができる。高等部1段階A共通事項ア(ア) (思判表力) ●季節感や季節の風物などから、使う目的や条件、表したいことを考えて構想を創意工夫することができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み、創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。高等部1段階ウ	(知・技) ○形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに季節感のイメージをとらえることができているか (思・判・表) ○使用する季節や目的をもとに構想をすることができているか。  (主学) ○創造活動の喜びを味わい、主体的に創作や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など [描く・つくる活動] 『季節感のある暮らしを楽しむ』	・日本人が昔から楽しんできた、衣食住の中にある季節を感じるデザインや工芸品について鑑賞する。 ・ガラスの内側あから彩色する江戸風鈴の技法について知る。 ・暑い夏に涼しさを感じられるような風鈴デザインを考え、アクリル絵の具で風鈴に描く。
		(知及技) ●映す角度や配置、拡大縮小、光と影などの効果や全体のイメージを捉え、カメラの特性を生かして表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力)高等部1段階 ●被写体の美しさや面白さなど感じたことを基に、創意工夫して構想を練ることができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく創作活動に取り組み、創作活動の喜びを味わうことができる。高等部1段階	(知・技) ○意図に応じてカメラの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。  (思・判・表) ○感じたことや考えたことを基に、主題を生成し、写真表現の特性を生かして構図や光、シャッター速度などの表現の特質を生かし創意工夫して表現しようとしている。  (主学) ○写真表現の特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	映像メディア表現 「写真で表す」	・タブレットのカメラアプリやデジタルカメラの基本的な操作方法を知る。 ・写真の構図や光と影などの効果に注目し、参考作品の鑑賞を行う。 ・学校での日常の印象的なひとコマを写真で表現する。

2 学期	<p>(知及技) ●表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かし方を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫することができる。高等部1段階Aア(イ) (思判表力) ●伝えたり、使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し心豊かに表現する構想を練ることができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み、創作活動の喜びを味わい、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。高等部1段階ウ</p>	<p>(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について気付き、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の特産物や魅力から感じ取ったことや考えたこと、どのような場で使うかなどを考えて文様を工夫してあらわそうとしている。 (主学) ○地域の土産物のパッケージやデザインの意図や工夫、美しさについて主体的に創作活動や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p>	<p>デザインや工芸など [つくる活動・鑑賞] 『地域の魅力をデザインにしよう』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末などを利用し、身近な地域の自然や歴史、産業などを調べ、デザインの手掛かりにする。</li> <li>・身近な地域から見つけた形を手がかり連続したパターンを構想</li> <li>・ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。</li> <li>・スタンプを使い、皿や一筆箋、布などへの模様の構成を考える。</li> <li>・完成した作品を実際に使ってみる。</li> </ul>
27	<p>(知及技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。高等部1段階Bア (思判表力) ●美術作品の鑑賞を通して、作品の良さなどに気づき、自分の見方や感じ方を広げることができる。高等部1段階Bア(イ) (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。高等部1段階ウ</p>	<p>(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などをとらえようとしている。 (思・判・表) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>鑑賞 [考える・描く活動] 『ゲルニカ・明日への願い』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピカソのゲルニカを鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合う。</li> <li>・タブレット端末やワークシートなどを活用し、調べたことを書き込んだり、作品が書かれた背景や作所について調べる。</li> <li>・ゲルニカの主題とは真逆の私たちの望む世界はどんなものかを話し合い共同制作で絵画に表す。</li> </ul>
	<p>(知及技) ●材料や用具の特性や活かし方などを身につけ、表したいことに合わせて創意工夫して表すことができる。高等部1段階Aア(イ) (思判表力) ●身近なものを見つめ、感じ取ったことを基に主題を生み出し創意工夫して表現する構想を練ることができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取ることができる。高等部1段階(1)ア(ア)</p>	<p>(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>絵や彫刻など [描く活動] 『版で表す』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。</li> <li>・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。</li> </ul>
3 学期	<p>(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。高等部1段階Aア(イ) (思判表力) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。高等部1段階Bア(ア)</p>	<p>(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、表現を工夫しようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>共同制作の魅力 [描く活動・鑑賞] 『気持ちをあらわす』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。</li> <li>・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<p>※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。</p>			

令和7年度 高等部 2年(Ⅱ課程A) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者		
2/70	高等部2年				
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間 目標	(知及技)生徒の実態に応じて、創造的な視点について理解し、発想や構想を工夫し、創造的に表すことができる。高等部(1段階) (思判表力)感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを個に応じた方法で工夫し表現することができる。高等部(1段階) (学・人)美術について興味・関心を深め主体的に学習に取り組み、生活や社会に目を向け、美術を愛好する心情を育む。高等部(1段階)□ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。高等部1段階Aア(イ) (思判表力) ●身近な風景を見つめ、感じ取った特徴、想像したことを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。高等部1段階Bア(ア)	(知・技) ○材料や道具の扱いを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、表現を工夫して制作しようとしている。  (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し構想を練っている。  (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取ることができている。	絵や彫刻など [描く活動] 『身近な風景を描く』	・身近な風景をよく見たて特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・水彩画の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(知及技) ●形や色彩材料などの働きについて理解することができる。高等部1段階A共通事項ア(ア) (思判表力) ●季節感や季節の風物などから、使う目的や条件、表したいことを考えて構想を創意工夫することができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み、創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。高等部1段階ウ	(知・技) ○形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに季節感のイメージをとらえることができているか (思・判・表) ○使用する季節や目的をもとに構想をすることができているか。  (主学) ○創造活動の喜びを味わい、主体的に創作や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など [描く・つくる活動] 『季節感のある暮らしを楽しむ』	・日本人が昔から楽しんできた、衣食住の中にある季節を感じるデザインや工芸品について鑑賞する。 ・ガラスの内側あから彩色する江戸風鈴の技法について知る。 ・暑い夏に涼しさを感じられるような風鈴デザインを考え、アクリル絵の具で風鈴に描く。
		(知及技) ●映す角度や配置、拡大縮小、光と影などの効果や全体のイメージを捉え、カメラの特性を生かして表現方法を工夫して表すことができる。 (思判表力)高等部1段階 ●被写体の美しさや面白さなど感じたことを基に、創意工夫して構想を練ることができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく創作活動に取り組み、創作活動の喜びを味わうことができる。高等部1段階	(知・技) ○意図に応じてカメラの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。  (思・判・表) ○感じたことや考えたことを基に、主題を生成し、写真表現の特性を生かして構図や光、シャッター速度などの表現の特質を生かし創意工夫して表現しようとしている。  (主学) ○写真表現の特性を生かした創作活動や鑑賞の活動に主体的に取り組んでいる。	映像メディア表現 「写真で表す」	・タブレットのカメラアプリやデジタルカメラの基本的な操作方法を知る。 ・写真の構図や光と影などの効果に注目し、参考作品の鑑賞を行う。 ・学校での日常の印象的なひとコマを写真で表現する。

2 学期	<p>(知及技) ●表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かし方を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫することができる。高等部1段階Aア(イ) (思判表力) ●伝えたり、使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し心豊かに表現する構想を練ることができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み、創作活動の喜びを味わい、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。高等部1段階ウ</p>	<p>(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について気づき、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の特産物や魅力から感じ取ったことや考えたこと、どのような場で使うかなどを考えて文様を工夫してあらわそうとしている。 (主学) ○地域の土産物のパッケージやデザインの意図や工夫、美しさについて主体的に創作活動や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p>	<p>デザインや工芸など [つくる活動・鑑賞] 『地域の魅力をデザインにしよう』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末などを利用し、身近な地域の自然や歴史、産業などを調べ、デザインの手掛かりにする。</li> <li>・身近な地域から見つけた形を手がかり連続したパターンを構想</li> <li>・ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。</li> <li>・スタンプを使い、皿や一筆箋、布などへの模様の構成を考える。</li> <li>・完成した作品を実際に使ってみる。</li> </ul>
27	<p>(知及技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、作者の心情や表現の意図などについて考えることができる。高等部1段階Bア (思判表力) ●美術作品の鑑賞を通して、作品の良さなどに気づき、自分の見方や感じ方を広げることができる。高等部1段階Bア(イ) (学・人) ●楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。高等部1段階ウ</p>	<p>(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者の心情や表現の意図などをとらえようとしている。 (思・判・表) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>鑑賞 [考える・描く活動] 『ゲルニカ・明日への願い』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピカソのゲルニカを鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合う。</li> <li>・タブレット端末やワークシートなどを活用し、調べたことを書き込んだり、作品が書かれた背景や作所について調べる。</li> <li>・ゲルニカの主題とは真逆の私たちの望む世界はどんなものかを話し合い共同制作で絵画に表す。</li> </ul>
	<p>(知及技) ●材料や用具の特性や活かし方などを身につけ、表したいことに合わせて創意工夫して表すことができる。高等部1段階Aア(イ) (思判表力) ●身近なものを見つめ、感じ取ったことを基に主題を生み出し創意工夫して表現する構想を練ることができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取ることができる。高等部1段階(1)ア(ア)</p>	<p>(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して構想を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>絵や彫刻など [描く活動] 『版で表す』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。</li> <li>・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。</li> </ul>
3 学期	<p>18 (知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。高等部1段階Aア(イ) (思判表力) ●自分が表現したいことや想像したことなどを基に主題を生み出し、構想を創意工夫することができる。高等部1段階Aア(ア) (学・人) ●楽しく作品制作や鑑賞の活動に取り組み、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。高等部1段階Bア(ア)</p>	<p>(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、表現を工夫しようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>共同制作の魅力 [描く活動・鑑賞] 『気持ちをあらわす』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見直しをもって制作する。</li> <li>・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<p>※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。</p>			

令和 7 年度 高等部 1 年 (Ⅱ課程A) 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	高等部 1 年		現代高等保健体育(大修館書店) / その他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる効果があることを発言したり、書いたりしている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、関わり合うことができる。 (思・判・表) ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた運動強度や回数を考えている。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示> 体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 <実生活に生かす運動の計画の行い方の例> ○ 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、ターゲットに向かって投げられる力をコントロールしている。 (思・判・表) 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学) 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながらボールを投げること。 ・ 仲間と相談をしながら作戦を考えること。 ○ゴール型 ・ ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・ 味方が操作しやすいパスを送ること。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。
		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) ・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 (主学) 水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15～50m程度 ・ 水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすこと。 イ 平泳ぎ 15～50m程度 ・ 肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくこと。 ・ プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むこと。

		<p>(知及技) ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践が必要であることを知る。 (思判表力)現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全の課題についての解決方法を思考し判断し、表現することができる。 (学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	<p>(知・技) ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組みや健康診断、がん検診等の社会的な対策が必要であることについて、伝えたり書いたりしている。 (思・判・表)・健康の考え方や、生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わることについて整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 (主学)健康の考え方や、生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>保健分野 現代社会と健康</p>	<p>1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 運動、食事、休養・睡眠</p>
2 学期	42	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 (思・判・表)選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学)相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	球技	<p>○ゴール型 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・味方が操作しやすいパスを送ること。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。</p>
		<p>(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (中1段階ア) (思判表力)武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きを身につけている。 (思・判・表)武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能を見付けている。 (主学)一人一人の違いに応じた動きや役割を大切にしようとしている。</p>	武道	<p>○空手 ・突き、蹴り等の基本的な動き ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・普及型Ⅰ、Ⅱ</p>
		<p>(知及技) ・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になることや薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることを知るることができる。 ・感染症の予防には、個人の取組み及び社会的な対策が必要であることを知るることができる。 (思判表力) 健康や安全に関する自己の課題を発見し、解決の方法を思考して伝えることができる。 (学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	<p>(知・技) ・喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識や個人への働きかけが必要であることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 ・感染症は、自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 (思・判・表)・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止や感染症とその予防について、自他や社会の課題や解決方法について伝えている。 (主学)喫煙、飲酒、薬物乱用の防止や感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>保健分野 現代社会と健康</p>	<p>喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 現代の感染症と予防 13 性感染症・エイズとその予防</p>
3 学期	26	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) ボールを相手側のコート の空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 (思・判・表)球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 (主学)互いに練習相手になったり仲間と助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	球技	<p>○ネット型 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。</p>

	<p>(知及技)          ・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の行動が必要であることを知る。          ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できることや応急手当には、正しい手順や方法があることを知る。          (思判表力)          安全な社会生活について、安全に関する原則に着目して危険の予測やその回避の方法を考えて伝えることができる。          (学・人)          安全な社会生活について、課題を発見しようとすることができる。</p>	<p>(知・技)          ・事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、車両などの環境要因があることを理解している。          ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であることを理解している。          (思・判・表)          ・交通安全について、事故につながる危険を予測し回避するための方法について考たことを伝えている。          (主学)          安全な社会づくりや、応急手当について、課題の発見と解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>保健分野          安全な社会生活</p>	<p>1 事故の発生要因          2 安全な社会          3 交通における安全          4 応急手当          5 心肺蘇生法</p>
<p>留意点          引継ぎ等</p>	<p>・保健体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り目標を(中3高1程度)と記載している。          ・体づくり運動は年間を通して行う。</p>			

令和 7 年度 高等部 2年 (Ⅱ課程A) 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	高等部2年		現代高等保健体育(大修館書店) / その他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)・運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる効果があることを発言したり、書いたりしている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、関わり合うことができる。 (思・判・表)ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた運動強度や回数を考えている。 (主学)体づくり運動に自主的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 <実生活に生かす運動の計画の行い方の例> ○健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・ 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。
		(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)・技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり、ターゲットに向かって投げられる力をコントロールしている。 (思・判・表)選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学)相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ターゲットに向かって力をコントロールしながらボールを投げること。 ・仲間と相談をしながら作戦を考えること。 ○ゴール型 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・味方が操作しやすいパスを送ること。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。
		(知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 (思・判・表)自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 (主学)水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。	水泳	ア クロール 15~50m程度 ・水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすこと。 イ 平泳ぎ 15~50m程度 ・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくこと。 ・プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むこと。

		<p>(知及技) ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践が必要であることを知る。 (思判表力)現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全の課題についての解決方法を思考し判断し、表現することができる。 (学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	<p>(知・技) ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組みや健康診断、がん検診等の社会的な対策が必要であることについて、伝えたり書いたりしている。 (思・判・表)・健康の考え方や、生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わることについて整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 (主学)健康の考え方や、生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>保健分野 現代社会と健康</p>	<p>1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 運動、食事、休養・睡眠</p>
2 学期	42	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 (思・判・表)選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (主学)相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	球技	<p>○ゴール型 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。 ・味方が操作しやすいパスを送ること。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。</p>
		<p>(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (中1段階ア) (思判表力)武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きを身につけている。 (思・判・表)武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能を見付けている。 (主学)一人一人の違いに応じた動きや役割を大切にしようとしている。</p>	武道	<p>○空手 ・突き、蹴り等の基本的な動き ・上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・普及型Ⅰ、Ⅱ</p>
		<p>(知及技) ・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になることや薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることを知るることができる。 ・感染症の予防には、個人の取組み及び社会的な対策が必要であることを知るることができる。 (思判表力) 健康や安全に関する自己の課題を発見し、解決の方法を思考して伝えることができる。 (学・人)現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	<p>(知・技) ・喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識や個人への働きかけが必要であることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 ・感染症は、自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることについて、理解したことを伝えたり書いたりしている。 (思・判・表)・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止や感染症とその予防について、自他や社会の課題や解決方法について伝えている。 (主学)喫煙、飲酒、薬物乱用の防止や感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>保健分野 現代社会と健康</p>	<p>喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 現代の感染症と予防 13 性感染症・エイズとその予防</p>
3 学期	26	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) ボールを相手側のコート の空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 (思・判・表)球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 (主学)互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	球技	<p>○ネット型 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。</p>

	<p>(知及技)          ・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の行動が必要であることを知る。          ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できることや応急手当には、正しい手順や方法があることを知る。          (思判表力)          安全な社会生活について、安全に関する原則に着目して危険の予測やその回避の方法を考えて伝えることができる。          (学・人)          安全な社会生活について、課題を発見しようとするすることができる。</p>	<p>(知・技)          ・事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、車両などの環境要因があることを理解している。          ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であることを理解している。          (思・判・表)          ・交通安全について、事故につながる危険を予測し回避するための方法について考えたことを伝えている。          (主学)          安全な社会づくりや、応急手当について、課題の発見と解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>保健分野          安全な社会生活</p>	<p>1 事故の発生要因          2 安全な社会          3 交通における安全          4 応急手当          5 心肺蘇生法</p>
<p>留意点          引継ぎ等</p>	<p>・保健体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り目標を(中3高1程度)と記載している。          ・体づくり運動は年間を通して行う。</p>			

令和7年度 高等部1年（Ⅱ課程A）職業科年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部1年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・働くことの意義や、将来の職業生活に係る技能やマナーを身に付ける。 (思判表力) ・将来の進路について考え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 (関連教科)	単元・題材の活動内容
1 学期 3 学期	70	①～②作業 ・職業について理解を深めることができる。 ・仲間と協力して実習をおこない、お互いの気持ちを表現することができる。(思判表力) ③～⑤作業 ・作品作り(挿絵の枠型づくり) (知及知)(思判表力)(学・人) ⑥産業現場に等における実習・販売学習(学・人) ⑦季節毎の野菜や草花の栽培(技及知)(学・人) ※情報機器の基本操作学習(技及知)	①作業に必要な知識や技能について知ろうとしている。(知・技) ②自分の役割を理解し、協力して作業に取り組もうとしている。(思・判・表) ③作業工程が分かり、使用する道具の扱い方に慣れようとしている。(知・技) ④安全について気づき、工夫しようとしている。(知・技) ⑤作品の製作を通して達成感や働く喜びを感じることができる。(主学) ⑥進路に関わることについて関心を持ち、お金の取り扱いや、接客のマナーを学ぼうとしている。(主学) ⑦作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組もうとしている。(知・技)(主学) ※情報機器の基本的操作を学習しようとしている。(知・技)	①(木材加工)共通課題の作成 ②(木材加工)共通課題の作成 ③(木材加工)共通課題の作成 ④(木材加工)共通課題の作成 ⑤(木材加工)共通課題の作成 ⑥情報機器を使用してお金の計算 ⑦農業 ※情報	①服装、身だしなみについて確認する。報告・連絡・相談について確認し、適切な声の大きさできるよう練習する。毎時、木工室の約束を確認する。 ②役割分担を決め、協力して作業を行う。 ③作業前に作業内容の確認をする。機械や工具の使用方法を学び繰り返し練習する。 ④機械や工具の危険性を伝え、その都度安全確認を行う。 ⑤けがき、切断、磨き、組み立て、塗装、仕上げ等、一連の作業を通して達成感や働く喜びを享受する。 ⑥働くことの目的について知り、情報機器を使用して具体的な生活場面における計算を行うことができる。 ⑦農作業(土作り、畝立て、元肥)馬鈴薯、レタスなどの冬野菜の植え付け、花壇、ポットへの草花の定植。管理作業(灌水、追肥、摘心、摘花、収穫) ※PCの基本的操作、文字入力、各種ソフトウェア名取り扱い方のスキルの習得や情報モラル、情報セキュリティなどの光と影の学習を行う。
年間を通しての指導		・分担区清掃(学・人)	・協力して分担区の清掃作業に取り組もうとしている。(主学)	・校内整備	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等		※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。 ※機械・工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※評価資料・・・活動の記録、作品等など。 ※令和7年度は、ウリ科の植物の栽培は行わない。			

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程A）職業科年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	高等部2年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・働くことの意義や、将来の職業生活に係る技能やマナーを身に付ける。 (思判表力) ・将来の進路について考え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 (関連教科)	単元・題材の活動内容
1 学期 3 学期	70	①～②作業 ・職業について理解を深めることができる。 ・仲間と協力して実習をおこない、お互いの気持ちを表現することができる。(思判表力) ③～⑤作業 ・作品作り(挿絵の枠型づくり) (知及知)(思判表力)(学・人) ⑥産業現場に等における実習・販売学習(学・人) ⑦季節毎の野菜や草花の栽培(技及知)(学・人) ※情報機器の基本操作学習(技及知)	①作業に必要な知識や技能について知ろうとしている。(知・技) ②自分の役割を理解し、協力して作業に取り組もうとしている。(思・判・表) ③作業工程が分かり、使用する道具の扱い方に慣れようとしている。(知・技) ④安全について気づき、工夫しようとしている。(知・技) ⑤作品の製作を通して達成感や働く喜びを感じることができる。(主学) ⑥進路に関わることについて関心を持ち、お金の取り扱いや、接客のマナーを学ぼうとしている。(主学) ⑦作業内容や手順(作業場の準備、作業工程、片付け、清掃)を理解し取り組もうとしている。(知・技)(主学) ※情報機器の基本的操作を学習しようとしている。(知・技)	①(木材加工)共通課題の作成 ②(木材加工)共通課題の作成 ③(木材加工)共通課題の作成 ④(木材加工)共通課題の作成 ⑤(木材加工)共通課題の作成 ⑥情報機器を使用してお金の計算 ⑦農業 ※情報	①服装、身だしなみについて確認する。報告・連絡・相談について確認し、適切な声の大きさできるよう練習する。毎時、木工室の約束を確認する。 ②役割分担を決め、協力して作業を行う。 ③作業前に作業内容の確認をする。機械や工具の使用方法を学び繰り返し練習する。 ④機械や工具の危険性を伝え、その都度安全確認を行う。 ⑤けがき、切断、磨き、組み立て、塗装、仕上げ等、一連の作業を通して達成感や働く喜びを享受する。 ⑥働くことの目的について知り、情報機器を使用して具体的な生活場面における計算を行うことができる。 ⑦農作業(土作り、畝立て、元肥)馬鈴薯、レタスなどの冬野菜の植え付け、花壇、ポットへの草花の定植。管理作業(灌水、追肥、摘心、摘花、収穫) ※PCの基本的操作、文字入力、各種ソフトウェア名取り扱い方のスキルの習得や情報モラル、情報セキュリティなどの光と影の学習を行う。
年間を通しての指導		・分担区清掃(学・人)	・協力して分担区の清掃作業に取り組もうとしている。(主学)	・校内整備	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等	※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。 ※機械・工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※評価資料・・・活動の記録、作品等など。 ※令和7年度は、ウリ科の植物の栽培は行わない。				

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	高等部1学年		いちばんわかりやすい家事のきほん大辞典

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力, 判断力, 表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解する。 (思判表力) 健康によい食習慣について考え、工夫することができる。 (学・人) 食生活と健康について、課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる	(知・技) なぜ朝食をきちんととる必要があるのかを理解している。 (思・判・表) 自分の朝食習慣を振り返り、課題を見つけ、栄養を考えた献立を立てることができる。 (主学) 健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に活かそうとしている。  (評価資料) 授業の様子、ワークシート、自己評価シート	・食事の役割	食事が果たす役割について ・栄養素の種類と働きについて ・健康に良い食習慣について ・課題学習 (iPad・視覚教材・PowerPoint)
		(知及技) 調理実習の心構えについて知り、調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについて理解できる。 (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) 仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) 調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについてプリントにまとめ確認している。 (思・判・表) 毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (主学) 仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。	・オリエンテーション ・調理実習の心構え ・調理器具の取り扱いと保管 ・調理の基礎	・調理室利用の仕方 ・家庭科室のきまりや利用方法を確認する。 ・注意事項、マナー、調理実習態度について ・身支度 ・道具の準備 ・計量 ・調理 ・試食、後片付け  ・ワークシート (PowerPoint)
2 学期	14	(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解する。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。 (学・人) 安全で快適な住生活について、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えることができる。	(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解している。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、解決を目指している。 (主・学) 安全で快適な住生活について、家族の一員として何ができるか考え、学んだことを生活に活かそうとしている。  【評価資料】 行動観察、学習に向かう態度、完成作品、ワークシート等	住居の基本的な機能や快適で安全な住まい方に関する学習活動	・住まいの機能と役割 ・住まいの様式の変化 ・快適な住空間を考える ・家庭内事故への対策 ・自然災害等への対策 ・ワークシート (PowerPoint)
		(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解する。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。 (学・人) 安全で快適な住生活について、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えることができる。	(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解している。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、解決を目指している。 (主・学) 安全で快適な住生活について、家族の一員として何ができるか考え、学んだことを生活に活かそうとしている。  【評価資料】 行動観察、学習に向かう態度、完成作品、ワークシート等	住居の基本的な機能や快適で安全な住まい方に関する学習活動	・住まいの機能と役割 ・住まいの様式の変化 ・快適な住空間を考える ・家庭内事故への対策 ・自然災害等への対策 ・ワークシート (PowerPoint)

3 学 期	<p>(知及技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くことができる。  (思判表力) 消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。  (学・人) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること。</p>	<p>(知・技) 18歳からできる契約について学び、販売方法や支払い方法が多様化する中で、責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解している。  (思判表力) 悪徳商法を断るためのロールプレイングを通して意思を伝えることができ、消費者被害について周囲に相談する、相談機関に相談することが大切だということを理解する。  (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。  (主学) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入方法を選択することができる。</p>	消費者の基本的な権利と責任に関わる学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「インターネットを介した無店舗販売」</li> <li>・「クレジットカードによる三者間契約」</li> <li>・「悪徳商法」「クーリングオフ制度」</li> <li>・自分の消費行動（お小遣い管理）</li> <li>・3R(リデュース・リユース・リサイクル)</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<p>※基本的に、学期毎にテスト及び実技テストを行う。  ※調理実習については、年間を通して実施する。</p>			

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	高等部2学年		いちばんわかりやすい家事のきほん大辞典

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力, 判断力, 表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解する。 (思判表力) 健康によい食習慣について考え、工夫することができる。 (学・人) 食生活と健康について、課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる	(知・技) なぜ朝食をきちんととる必要があるのかを理解している。 (思・判・表) 自分の朝食習慣を振り返り、課題を見つけ、栄養を考えた献立を立てることができる。 (主学) 健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に活かそうとしている。  (評価資料) 授業の様子、ワークシート、自己評価シート	・食事の役割	食事が果たす役割について ・栄養素の種類と働きについて ・健康に良い食習慣について ・課題学習 (iPad・視覚教材・PowerPoint)
		(知及技) 調理実習の心構えについて知り、調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについて理解できる。 (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) 仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) 調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについてプリントにまとめ確認している。 (思・判・表) 毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (主学) 仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。	・オリエンテーション ・調理実習の心構え ・調理器具の取り扱いと保管 ・調理の基礎	・調理室利用の仕方 ・家庭科室のきまりや利用方法を確認する。 ・注意事項、マナー、調理実習態度について ・身支度 ・道具の準備 ・計量 ・調理 ・試食、後片付け  ・ワークシート (PowerPoint)
2 学期	14	(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解する。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。 (学・人) 安全で快適な住生活について、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えることができる。	(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解している。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、解決を目指している。 (主・学) 安全で快適な住生活について、家族の一員として何ができるか考え、学んだことを生活に活かそうとしている。  【評価資料】 行動観察、学習に向かう態度、完成作品、ワークシート等	住居の基本的な機能や快適で安全な住まい方に関する学習活動	・住まいの機能と役割 ・住まいの様式の変化 ・快適な住空間を考える ・家庭内事故への対策 ・自然災害等への対策 ・ワークシート (PowerPoint)
		(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解する。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。 (学・人) 安全で快適な住生活について、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えることができる。	(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について理解している。 (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、解決を目指している。 (主・学) 安全で快適な住生活について、家族の一員として何ができるか考え、学んだことを生活に活かそうとしている。  【評価資料】 行動観察、学習に向かう態度、完成作品、ワークシート等	住居の基本的な機能や快適で安全な住まい方に関する学習活動	・住まいの機能と役割 ・住まいの様式の変化 ・快適な住空間を考える ・家庭内事故への対策 ・自然災害等への対策 ・ワークシート (PowerPoint)

3 学 期	<p>(知及技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くことができる。  (思判表力) 消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。  (学・人) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること。</p>	<p>(知・技) 18歳からできる契約について学び、販売方法や支払い方法が多様化する中で、責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解している。  (思判表力) 悪徳商法を断るためのロールプレイングを通して意思を伝えることができ、消費者被害について周囲に相談する、相談機関に相談することが大切だということを理解する。  (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。  (主学) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入方法を選択することができる。</p>	消費者の基本的な権利と責任に関わる学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「インターネットを介した無店舗販売」</li> <li>・「クレジットカードによる三者間契約」</li> <li>・「悪徳商法」「クーリングオフ制度」</li> <li>・自分の消費行動（お小遣い管理）</li> <li>・3R(リデュース・リユース・リサイクル)</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<p>※基本的に、学期毎にテスト及び実技テストを行う。  ※調理実習については、年間を通して実施する。</p>			

令和7年度 高等部1年 II課程A 外国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部1年		ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 英語であいさつができる。 アルファベットが読める。 食べ物を英語で言うことができる。 (思判表力) 簡単な英語で自己紹介ができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) アルファベットを理解している英語で挨拶している 食べ物の英単語を理解している (思・判・表) 簡単な英語で自己紹介している (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	挨拶・自己紹介・年齢・家族に関する英語 レッスン1-8	歌やゲーム、カード・ワークシートを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。  ・Hello. How are you? ・My name is～. ・I'm from～. ・I'm ～years old. ・How old are you?
		(知及技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケー	(知・技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 自分の好きなことや将来のやりたい職業を表現している (主学) 外国語を通して、コミュニケー	趣味・食べ物・スポーツ・職業・教科に関する英語 レッスン9-14	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。  ・I like～. ・What is your hobby? ・I want to be～.
		(知及技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現が英語で言うことができる (思判表力) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う、単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケー	(知・技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を理解している (思・判・表) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を英語でしている (主学) 外国語を通して、コミュニケー	曜日、日付、天気、誕生日に関する英語 レッスン15-20	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。  ・Thank you for ～.You are welcome. ・Sorry for～. ・Could you please～? ・May I～? ・Let's～.
2 学期	30	(知及技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を言うことができる (思判表力) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケー	(知・技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を理解している (思・判・表) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現をすることができる (主学) 外国語を通して、コミュニケー	時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関する英語 レッスン21-27	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。  ・It's ten o'clock/Monday/April/sunny. ・I'm good/Tired. ・She is～/He is～.

2 学期	30	(知及技) 日常生活に関連する表現を言うことができる (思判表力) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現することができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 日常生活に関連する表現を理解している (思・判・表) 日常生活に関連する表現をすることができる (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	日常生活に関連する単語や表現 レッスン28-33	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティーを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・What's for breakfast? ・Wash the dishes. ・Brush your teeth. ・Take shower.
3 学期	18	(知及技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現ができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現 レッスン34-36	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティーを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I have piano lesson today. ・Take aright at the next light. ・I'll have a cheese burger and a midium orrange juice.
留意点 引継ぎ等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、ALTとの交流を図る。特に外国の文化を学ぶ際は、ALTを活用する。</li> <li>・カード等を用いて、口頭や文字以外での意思表示もできるようにする。</li> </ul>			

令和7年度 高等部2年 II課程A 外国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部2年		ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 英語であいさつができる。 アルファベットが読める。 食べ物を英語で言うことができる。 (思判表力) 簡単な英語で自己紹介ができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) アルファベットを理解している英語で挨拶している 食べ物の英単語を理解している (思・判・表) 簡単な英語で自己紹介している (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	挨拶・自己紹介・年齢・家族に関する英語 レッスン1-8	歌やゲーム、カード・ワークシートを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。  ・Hello. How are you? ・My name is～. ・I'm from～. ・I'm ～years old. ・How old are you?
		(知及技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 自分の好きなことや将来のやりたい職業を表現している (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	趣味・食べ物・スポーツ・職業・教科に関する英語 レッスン9-14	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。  ・I like～. ・What is your hobby? ・I want to be～.
		(知及技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現が英語で言うことができる (思判表力) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う、単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を理解している (思・判・表) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を英語でしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	曜日、日付、天気、誕生日に関する英語 レッスン15-20	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。  ・Thank you for ～.You are welcome. ・Sorry for～. ・Could you please～? ・May I～? ・Let's～.
2 学期	30	(知及技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を言うことができる (思判表力) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を理解している (思・判・表) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現をすることができる (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関する英語 レッスン21-27	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。  ・It's ten o'clock/Monday/April/sunny. ・I'm good/Tired. ・She is~/He is～.

2 学期	30	(知及技) 日常生活に関連する表現を言うことができる (思判表力) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現することができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 日常生活に関連する表現を理解している (思・判・表) 日常生活に関連する表現をすることができる (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	日常生活に関連する単語や表現 レッスン28-33	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティーを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・What's for breakfast? ・Wash the dishes. ・Brush your teeth. ・Take shower.
3 学期	18	(知及技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現ができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現 レッスン34-36	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティーを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I have piano lesson today. ・Take aright at the next light. ・I'll have a cheese burger and a midium orrange juice.
留意点 引継ぎ等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、ALTとの交流を図る。特に外国の文化を学ぶ際は、ALTを活用する。</li> <li>・カード等を用いて、口頭や文字以外での意思表示もできるようにする。</li> </ul>			

令和7年度 高等部 1年 ( II課程A ) 情報科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	高等部 1年		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] (思判表力) 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達する。[高1段階] (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 (思・判・表) 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達しようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 【単元2】 パソコンを利用した自己紹介	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 ・タイピング練習 ・Teamsログイン ・サーバーのデータについて ・フォルダ作成、データ量について  【単元2】 パソコンを利用した自己紹介 ・Teamsを使った自己紹介 ・canva 好きなものを集めたコラージュ作成
		(知及技) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けることができるようにする。[高1段階] (思判表力) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができるようにする。[高1段階] (学・人) 情報や情報技術を適切に活用することができるようにする。[高1段階]	(知・技) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直そうとしている。 (主学) 情報や情報技術を適切に活用しようとしている。	【単元3】文化祭のポスター・チラシなどの作成	【単元3】「文化祭のポスター・チラシなどの作成」 ・ポスターやチラシを作成・工夫(行事に合わせた取り組み) ・画像やフォント、レイアウトなどを工夫 ・作成 ・発表、評価、見直し
2 学期	14	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] (思判表力) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することができるようにする。[高1段階] (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 (思・判・表) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行しようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元4】身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう 【単元5】生活に密接なアプリの活用	【単元4】「身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう」 ・身近な生活に必要な支出など、年間に必要な金額や季節ごとによって変わってくる状況などを数値化し比較する ・電気料金を月毎に比較、生活の様子と必要な金額を想定 ・光熱費をグラフ化  【単元5】「生活に密接なアプリの活用」 ・日常生活に必要な情報を入手する手段と活用を進める。 ・ニュース、天気予報、スケジュールなどのアプリの定期的な活用 ・活動を記録するメモ、動画などの記録用アプリの活用と共有方法 ・タブレットとPCの使い分け ・情報の活用方法の理解 ・PCやタブレット端末の利用 ・マップアプリで現在地や希望する場所の検索
		(知及技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができるようにする。[高段階] (思・判・表) 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができるようにする。[高段階] (学・人) 情報社会に関わろうとする態度を養うことができるようにする。[高段階]	(知・技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 (思・判・表) 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 (主学) 情報社会に関わろうとする態度を養うとしている。	【単元6】生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用	【単元6】「生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用」 ・情報通信技術の進歩による購入方法の変化に対して適切に対応できるようにする。 ・クレジットカードについての基礎知識 ・電子マネーやキャッシュレス決済などの利用方法 ・安全に利用する方法とトラブル時の対応
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部 2年 ( II課程A ) 情報科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	高等部 2年		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] (思判表力) 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達する。[高1段階] (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 (思・判・表) 必要な情報が伝わるように効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図をもった情報を受け手に対して分かりやすく伝達しようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作  【単元2】 パソコンを利用した自己紹介	【単元1】 コンピュータ、iPadの基本的な操作 ・タイピング練習 ・Teamsログイン ・サーバーのデータについて ・フォルダ作成、データ量について  【単元2】 パソコンを利用した自己紹介 ・Teamsを使った自己紹介 ・canva 好きなものを集めたコラージュ作成
		(知及技) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けることができるようにする。[高1段階] (思判表力) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができるようにする。[高1段階] (学・人) 情報や情報技術を適切に活用することができるようにする。[高1段階]	(知・技) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができるようにする。 (主学) 情報や情報技術を適切に活用しようとしている。	【単元3】文化祭のポスター・チラシなどの作成	【単元3】「文化祭のポスター・チラシなどの作成」 ・ポスターやチラシを作成・工夫(行事に合わせた取り組み) ・画像やフォント、レイアウトなどを工夫 ・作成 ・発表、評価、見直し
2 学期	14	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができるようにする。[高1段階] (思判表力) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することができるようにする。[高1段階] (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用することができるようにする。[高1段階]	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 (思・判・表) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行しようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	【単元4】身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう  【単元5】生活に密接なアプリの活用	【単元4】「身近にあるデータをコンピュータで処理してみよう」 ・身近な生活に必要な支出など、年間に必要な金額や季節ごとによって変わってくる状況などを数値化し比較する ・電気料金を月毎に比較、生活の様子と必要な金額を想定 ・光熱費をグラフ化  【単元5】「生活に密接なアプリの活用」 ・日常生活に必要な情報を入力する手段と活用を進める。 ・ニュース、天気予報、スケジュールなどのアプリの定期的な活用 ・活動を記録するメモ、動画などの記録用アプリの活用と共有方法 ・タブレットとPCの使い分け ・情報の活用方法の理解 ・PCやタブレット端末の利用 ・マップアプリで現在地や希望する場所の検索
		(知及技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができるようにする。[高段階] (思・判・表) 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができるようにする。[高段階] (学・人) 情報社会に関わろうとする態度を養うことができるようにする。[高段階]	(知・技) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 (思・判・表) 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 (主学) 情報社会に関わろうとする態度を養うとしている。	【単元6】生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用	【単元6】「生活に関わるクレジットカード、電子マネー、キャッシュレス決済の活用」 ・情報通信技術の進歩による購入方法の変化に対して適切に対応できるようにする。 ・クレジットカードについての基礎知識 ・電子マネーやキャッシュレス決済などの利用方法 ・安全に利用する方法とトラブル時の対応
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
2/70	1学年			自主教材	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・事前に学んだことを実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力) ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 (学・人) ・積極的に就業体験に参加しようとする態度をもつ。	(知・技) ・就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解している。 (思・判・表) ・まわりの状況を判断し、自らの課題を見つけている。 ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとっている。 (主学) ・就業体験の事前学習に積極的に取り組もうとしている。 ・就業体験において、担当者からの指導・助言を受け止め行動しようとしている。	・就業体験 ・キャリア教育推進週間 ・キャリアパスポート見直し ・自分の事を知ろう ・私のトリセツ ・自分の夢希望	・就業体験事前・事後学習 ・名刺、名札作り ・マナー指導 ・キャリア週間の取り組み
		(知及技) ・校外学習の意義を理解する。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 (学・人) ・実践的な集団行動をしようすることができる。	(知・技) ・他者の立場を考え、集団で行動することの意味を理解している。 ・校外学習に向けた準備をしている。 (思・判・表) ・意見を出し合っよりよい方法を導き出している。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート振り返り	・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する。
2 学期	27	(知及技) ・様々な分野の本に触れるなかで、多様な価値観を学ぶことができる。 (思判表力) ・好きな本の良さを伝えることができる。 (学・人) ・紹介された作品に興味を示して読書しようとする態度をもつ。	(知・技) ・図書館の活用方法について理解している。 ・おすすめ本の紹介等、様々な読書の楽しみ方を理解している。 (思・判・表) ・好きな本の良さを他者に伝えるように話したり書きまとめている。 (主学) ・紹介された作品に共感しようとしている。	・読書週間 ・キャリアパスポート見直し	・図書館から1人1冊以上借り、本の紹介や作品に関する感想を述べる。
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合っ決めていく。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス	・森川フェス事前、事後学習 ・森川フェス参加
		(知及技) ・生徒会の活動を理解することができる。 (思判表力) ・学校をより良くするための課題をまわりが理解できるように発言することができる。 (学・人) ・自分たちで進んで話し合い、環境をより良くしようすることができる。	(知・技) ・役員としての自覚と責任について理解している。 ・選挙の方法を理解している。 (思・判・表) ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもっている。 ・人の話をしっかり聞いて自分なりの意見をもっている。 (主学) ・投票することで自らの問題として考えようとしている。	・生徒会役員選挙 ・児童生徒会新旧役員交付式 ・キャリアパスポート振り返り	・生徒会役員選挙の企画、実施、開票を行う。 ・学校をより良くするための意見を記入する。
3 学	18	(知及技) ・各教科や行事で身に付けた知識及び技能を活用応用できる。 (思判表力) ・情報を集めながら、校外学習の計画を立てることができる。 (学・人) ・規律や社会とのつながりを感じることができる。	(知・技) ・様々な余暇の過ごし方があることを理解している。 (思・判・表) ・インターネット等を活用し、余暇活動に関する情報を調べている。 (主学) ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート見直し ・おもてなし ・くらしとお金(消費者教育)	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。(外部人材の活用)

期	<p>(知及技)          ・卒業式の意義を理解することができる。          (思判表力)          ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。          (学・人)          ・卒業式にふさわしい身なり、態度で参加しようとする事ができる。</p>	<p>(知・技)          ・卒業式や卒業することの意味を理解している。          (思・判・表)          ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。          (主学)          ・卒業式にふさわしい身なり、態度で参加しようとしている。</p>	<p>・キャリアパスポート          振り返り          ・卒業式</p>	<p>・卒業式に関する取り組み</p>
留意点 引継ぎ等				

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
2/70	2学年			自主教材	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。 (思判表力)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、より良い社会を実現しようとする態度を身に付ける。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・事前に学んだことを実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力) ・まわりの状況に応じて適切な行動をとることができる。 (学・人) ・積極的に就業体験に参加しようとする態度をもつ。	(知・技) ・就業に対する理解を深めている。 ・キャリア週間の内容を理解している。 (思・判・表) ・まわりの状況を判断し、自らの課題を見つけている。 ・まわりの状況に応じて、適切な行動をとっている。 (主学) ・就業体験の事前学習に積極的に取り組もうとしている。 ・就業体験において、担当者からの指導・助言を受け止め行動しようとしている。	・就業体験 ・キャリア教育推進週間 ・キャリアパスポート見直し ・自分の事を知ろう ・私のトリセツ ・自分の夢希望	・就業体験事前・事後学習 ・名刺、名札作り ・マナー指導 ・キャリア週間の取り組み
		(知及技) ・校外学習の意義を理解する。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 (学・人) ・実践的な集団行動をしようすることができる。	(知・技) ・他者の立場を考え、集団で行動することの意味を理解している。 ・校外学習に向けた準備をしている。 (思・判・表) ・意見を出し合っよりよい方法を導き出している。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート振り返り	・事前学習で目的、移動方法、役割を確認する。
2 学期	27	(知及技) ・様々な分野の本に触れるなかで、多様な価値観を学ぶことができる。 (思判表力) ・好きな本の良さを伝えることができる。 (学・人) ・紹介された作品に興味を示して読書しようとする態度をもつ。	(知・技) ・図書館の活用方法について理解している。 ・おすすめ本の紹介等、様々な読書の楽しみ方を理解している。 (思・判・表) ・好きな本の良さを他者に伝えるように話したり書きまとめている。 (主学) ・紹介された作品に共感しようとしている。	・読書週間 ・キャリアパスポート見直し	・図書館から1人1冊以上借り、本の紹介や作品に関する感想を述べる。
		(知及技) ・過去に経験した行事で身に付けた経験や知識を活用できる。 (思判表力) ・課題を解決するための方法を皆で判断し、優先順位を決めることができる。 (学・人) ・仲間とコミュニケーションを図りながら活動しようすることができる。	(知・技) ・過去の行事を振り返り、自分の考えを伝えている。 ・森川フェスの活動内容を理解している。 (思・判・表) ・森川フェスを楽しむためにどうするか自分の意見をもっている。 ・それぞれの役割を皆で話し合っ決めていく。 (主学) ・森川フェスの成功に向けて、仲間とコミュニケーションを取りながら主体的に取り組もうとしている。	・森川フェス	・森川フェス事前、事後学習 ・森川フェス参加
		(知及技) ・生徒会の活動を理解することができる。 (思判表力) ・学校をより良くするための課題をまわりが理解できるように発言することができる。 (学・人) ・自分たちで進んで話し合い、環境をより良くしようすることができる。	(知・技) ・役員としての自覚と責任について理解している。 ・選挙の方法を理解している。 (思・判・表) ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもっている。 ・人の話をしっかり聞いて自分なりの意見をもっている。 (主学) ・投票することで自らの問題として考えようとしている。	・生徒会役員選挙 ・児童生徒会新旧役員交付式 ・キャリアパスポート振り返り	・生徒会役員選挙の企画、実施、開票を行う。 ・学校をより良くするための意見を記入する。
3 学	18	(知及技) ・各教科や行事で身に付けた知識及び技能を活用応用できる。 (思判表力) ・情報を集めながら、校外学習の計画をたてることことができる。 (学・人) ・規律や社会とのつながりを感じることができる。	(知・技) ・様々な余暇の過ごし方があることを理解している。 (思・判・表) ・インターネット等を活用し、余暇活動に関する情報を調べている。 (主学) ・自分で判断し責任をもって行動しようとしている。	・校外学習 ・キャリアパスポート見直し ・おもてなし ・くらしとお金（消費者教育）	・校外学習の企画、実施、振り返り ・暮らしとお金の関わりについて学習する。（外部人材の活用）

期	<p>(知及技)          ・卒業式の意義を理解することができる。          (思判表力)          ・卒業生の立場になって、贈る言葉などを考え、文章にすることができる。          (学・人)          ・卒業式にふさわしい身なり、態度で参加しようとする事ができる。</p>	<p>(知・技)          ・卒業式や卒業することの意味を理解している。          (思・判・表)          ・それぞれの役割を皆で決め、卒業式に向け取り組んでいる。          (主学)          ・卒業式にふさわしい身なり、態度で参加しようとしている。</p>	<p>・キャリアパスポート          振り返り          ・卒業式</p>	<p>・卒業式に関する取り組み</p>
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 高等部 2年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
1/35	高等部2年		無し		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思判表力) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生との交流
		(知及技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思判表力) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知及技) ・平和について考えることができる。 (思判表力) ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 (学・人) ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	(知・技) ・ニュース等から平和について学ぼうとしている。 (思・判・表) ・自分ができていることを考えようとしている。 (主学) ・他人事でなく、自分の事として行動しようとする。	・平和集会 ・平和祈念資料館、ひめゆりの塔見学	・ニュースや新聞、インターネットを通して、世界中で起こっている争いについて調べる。
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・那覇文化芸術劇場「なは一と」、国立劇場おきなわ見学 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・校外学習事前学習 ・学期末反省
2 学期	15	(知及技) ・行事に向けて役割を把握することができる。 (思判表力) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・行事に向けて協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
		(知及技) ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 ・学期を振り返り自己評価できる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 ・しっかり学期の振り返りをしようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・校外学習 ・JICA見学 ・終業式	・校外学習事前学習 ・学期末反省
3 学期	9	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・キャリア教育を振り返ることができる。 ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・客観的に自己評価をすることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・次年度にむけた課題を見つけることができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・キャリアパスポートで振り返ろうとする。 ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・まわりの意見を聞きながらを自己分析をする。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりの意見などを参考にして目標を見つける。 ・周りを意識した行動をしようとする。	・キャリアパスポート振り返り ・校外学習 ・沖縄県立博物館、美術館見学	・ファイルをまとめ、整理する。 ・校外学習事前学習

	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生への門出の言葉を考える事ができる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を祝福する気持ちで式に参加することができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。</li> </ul> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生への門出の言葉を考えようとしている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を祝福する気持ちで参加しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の会場設営、歌の練習。</li> <li>・卒業する先輩への門出の言葉や感謝の思いを伝える。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 高等部 2年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
1/35	高等部2年		無し		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) ・学級での役割を果たすことができる。 (思判表力) ・自分と学級の目標を決めることができる。 (学・人) ・学級で自己の役割を振り返ることができる。	(知・技) ・他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・自分と学級の課題を発見しようとする。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・始業式 ・入学式 ・新入生歓迎会	・掲示物や時間割作成 ・学期の目標決め ・新入生との交流
		(知及技) ・災害時の避難方法を知ることができる。 ・生徒会の活動内容を理解することができる。 (思判表力) ・避難経路の判断ができる。 ・学校生活を充実させるために何が必要か考えることができる。 (学・人) ・集団の中で命を守る行動ができる。 ・自分だけでなく、皆のことも考えることができる。	(知・技) ・火災発生時の避難方法を学ぼうとしている。 ・年間の活動内容がわかる。 (思・判・表) ・自分で考えて判断しようとしている。 ・学校を楽しむ為に、自分の意見をもつ。 (主学) ・まわりの人に合わせて行動しようとしている。 ・学校の課題等を自らの問題として考えようとする。	・火災避難訓練 ・生徒総会	・避難経路、避難方法の事前学習 ・生徒総会の企画、実施
		(知及技) ・平和について考えることができる。 (思判表力) ・世の中が平和になるためにどうすべきか考える。 (学・人) ・世界平和に向けた行動につなげることができる。	(知・技) ・ニュース等から平和について学ぼうとしている。 (思・判・表) ・自分ができていることを考えようとしている。 (主学) ・他人事でなく、自分の事として行動しようとする。	・平和集会 ・平和祈念資料館、ひめゆりの塔見学	・ニュースや新聞、インターネットを通して、世界中で起こっている争いについて調べる。
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習について情報を集めることができる。 ・学期の反省をすることができる。 (思判表力) ・目的の為によりよい方法を考えることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・実践的な集団行動ができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義が理解できる。 ・校外学習先について調べようとする。 ・学期の振り返りをする。 (思・判・表) ・意見を出し合ってよりよい方法を導き出している。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりをよく見て合わせて行動しようとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・那覇文化芸術劇場「なは一と」、国立劇場おきなわ見学 ・終業式	・自身の身の守り方などを学習する ・校外学習事前学習 ・学期末反省
2 学期	15	(知及技) ・行事に向けて役割を把握することができる。 (思判表力) ・目標を決定することができる。 (学・人) ・自己実現に向け、課題を改善することができる。	(知・技) ・行事に向けて協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・目標を設定しようとしている。 (主学) ・学級集団とより良く関わろうとしている。	・始業式	・学期の目標決め
		(知及技) ・行事の意義を理解し、成功に向けて頑張る。 (思判表力) ・参加方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人) ・行事に積極的に参加する。	(知・技) ・行事の成功に向けて知恵を出し合う。 (思・判・表) ・役割分担を相談して取り組もうとする。 (主学) ・自分たちが主役であるという自覚をもつ。	・森川フェス	・森川フェスに向けて、それぞれの役割に責任を持たせる。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・安全に身を守る方法などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・危ないことに巻き込まれない意識をもつようにする。	・薬物乱用防止教室	・県内と県外の現状を知る。
		(知及技) ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・集団の中で判断して行動することができる。 ・学期を振り返り自己評価できる。 (学・人) ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 ・しっかり学期の振り返りをしようとする。 (主学) ・周りを意識した行動をしようとする。	・校外学習 ・JICA見学 ・終業式	・校外学習事前学習 ・学期末反省
3 学期	9	(知及技) ・院内生徒の作品を鑑賞し良さを知ることができる。 (思判表力) ・自分の課題を発見し、目標を決めることができる。 (学・人) ・院内生徒の作品に触れ、交流を図ることで所属感を感じることができる。	(知・技) ・自分と他人の感性の違いを理解しようとする。 (思・判・表) ・自分をしっかりと分析し、改善しようとする。 (主学) ・お互いの作品を鑑賞し、みんなで協力して展示会の準備をしようとする。	・始業式 ・ハートアート展	・新年の目標 ・ハートアート展に向けた作品準備と鑑賞
		(知及技) ・キャリア教育を振り返ることができる。 ・校外学習について情報を集めることができる。 (思判表力) ・客観的に自己評価をすることができる。 ・集団の中で判断して行動することができる。 (学・人) ・次年度にむけた課題を見つけることができる。 ・公共のマナー等、周りに合わせた行動ができる。	(知・技) ・キャリアパスポートで振り返ろうとする。 ・校外学習先について調べようとする。 (思・判・表) ・まわりの意見を聞きながらを自己分析をする。 ・日程を把握して、次の行動を考えようとする。 (主学) ・まわりの意見などを参考にして目標を見つける。 ・周りを意識した行動をしようとする。	・キャリアパスポート振り返り ・校外学習 ・沖縄県立博物館、美術館見学	・ファイルをまとめ、整理する。 ・校外学習事前学習

	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式における身なりや振る舞いを理解することができる。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生への門出の言葉を考える事ができる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を祝福する気持ちで式に参加することができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の意義や参加の仕方について理解しようとしている。</li> </ul> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生への門出の言葉を考えようとしている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を祝福する気持ちで参加しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の会場設営、歌の練習。</li> <li>・卒業する先輩への門出の言葉や感謝の思いを伝える。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等				